au

G'zOne

4G LTE

取扱説明書 詳細版

ごあいさつ

このたびは、G'zOne TYPE-L(以下、「G'zOne」または「本製品」と表記します。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『設定ガイド』『取扱説明書』(付属品)または本書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』(付属品)を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『設定ガイド』/『取扱説明書』(付属品)

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本製品で利用できる『取扱説明書』アプリケーションやauホームページより『取扱説明書詳細版』(本書)をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書』アプリケーション

本製品では、画面上で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリケーションを利用できます。
ホーム画面→ →[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意ください。(ただし、LTE/CDMA/GSM/UMTS方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

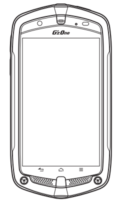
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

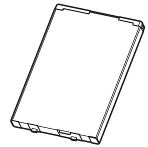
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品について

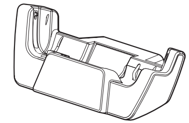
ご利用いただく前に下記の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。



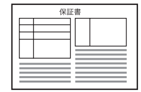
本体



電池パック
（CAL21UAA）



卓上ホルダ
（CAL21PUA）



保証書

- ● 取扱説明書
- ● 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSBケーブル

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話や周辺機器のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

目次

インターネット 111

ツール･アプリケーション 117

auのネットワークサービス・海外利用 197

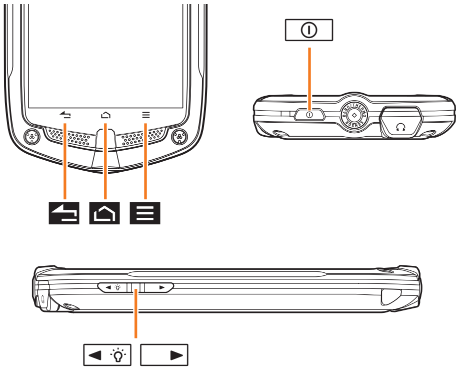
付録・索引 223

安全上のご注意／防水・防塵のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。



■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を次のように表記しています。

タップとは、ディスプレイに表示されている項目やアイコンなどを指で軽く触れて、すぐに指を離す動作です。

本書の表記	詳しい操作内容
ホーム画面→ →［1］［4］［1］ →	ホーム画面の下部にある をタップします。続けて 1 、4 、1 の順にタップして、最後に をタップします。
ホーム画面→ →［設定］→［音/バイブレーション］	ホーム画面の下部にある をタップします。続けて、表示されたアプリトレイで「設定」アイコンをタップし、表示された設定メニューの「音/バイブレーション」をタップします。
ホーム画面→ →［アプリの管理］	ディスプレイの下にあるメニューキー（ ）をタップします。続けて、画面下部に表示されたオプションメニューの「アプリの管理」をタップします。

■掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

実際の画面　　**本書の表記例**

本書の表記では、画面の上部のアイコン類などは、省略されています。



memo

◎本書では「microSD™メモリカード(市販品)」、「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書では、画面が縦表示になっている状態での操作を説明しています(「カメラを利用する」「テレビ(ワンセグ)を利用する」を除く)。横表示では、メニューの項目/アイコン/キーボードのキーなどが異なる場合があります。
◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
◎本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎当社が関与しない接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:カシオ計算機株式会社

memo

◎本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
◎乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図記号の説明	図記号の説明
行ってはいけない(禁止)内容を示しています。	水に濡らしてはいけない(禁止)内容を示しています。
分解してはいけない(禁止)内容を示しています。	必ず実行していただく(強制)内容を示しています。
濡れた手で扱ってはいけない(禁止)内容を示しています。	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、au Micro IC Card(LTE)、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険　必ず、次の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
- 高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害・低温やけどの原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
- 充電端子や外部接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。
- ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。(おサイフケータイ®の機能をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。)
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。
- 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

⚠警告　必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 本製品は防水・防塵性能を有する機種ですが、万一、水などの液体や粉塵が外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタなどから本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。
- 本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は保証外となり、修理ができません。
- 充電端子や外部接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生、テレビ(ワンセグ)視聴などには使用しないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意 必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

湿度の高い場所で使用しないでください。身に着けている場合は汗の付着が故障の原因となる場合があります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば指定の充電用機器(別売)をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますのでご注意ください。長時間肌に触れた状態やズボンのポケットなどに入れたまま放置していると、低温やけどになるおそれがあります。

外部から電源が供給されている状態の本体・指定のACアダプタ(別売)に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

本体から電池フタを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■本体について

⚠警告　必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。

🚫 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

🚫 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

❗ 本製品のディスプレイパネルには強化ガラスを使用しています。破損してしまった場合、破損部でけがをするおそれがあります。万一、破損の際には破損部に手を触れずにauショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

❗ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

❗ 高精度な電子機器の近くでは本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知機・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

❗ 通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、テレビ（ワンセグ）を見たり、音楽を聴くときは周囲の安全をご確認ください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

🚫 撮影ライト（フラッシュライト）を目に近付けて点灯させないでください。また、撮影ライト（フラッシュライト）点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に撮影ライト（フラッシュライト）を他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

🚫 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト（フラッシュライト）を点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

🚫 ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師とご相談ください。

🚫 赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

⚠注意　必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。

🚫 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときには直ちに使用をやめ、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(カメラ面)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース(ディスプレイ面)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
内装ケース(電池部)	PA+GF樹脂	—
カメラパネル	PC-GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電池フタ	PC-GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ロックスイッチ(電池フタ内部)	PC樹脂	—
ロックノブ(電池フタ部)	ＰＯＭ樹脂	—
ディスプレイパネル	強化ガラス	—
センサーピース	エラストマー樹脂	シボ処理
ストラップピース	エラストマー樹脂	シボ処理
イヤホン端子キャップ	PC樹脂/エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ	PC樹脂/エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
受話口カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
送話口/スピーカーカバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
サイドキー(音量UP/DOWN)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電源キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
撮影ライト/赤外線ポートカバー	PMMA樹脂	ハードコート処理
レンズカバー	PMMA樹脂	ハードコート処理
レンズリング	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
TV用アンテナ先端キャップ	ABS	シボ処理
TV用アンテナ根元ジョイント	ステンレス	Niメッキ
ネジ	ステンレス	クロムメッキ
充電端子	ステンレス	金メッキ

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びた物を近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

通常は外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり、水などが入り、故障の原因となります。

外部接続端子、イヤホン端子、microSDメモリカードスロットに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。外部接続端子、イヤホン端子を使用しないときは、ほこりなどが入らないようキャップをお閉めください。

イヤホン(別売)、ストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因となることがあります。また、ヒモが傷付いているなど、傷んだストラップは取り付けないでください。

テレビ(ワンセグ)視聴時以外ではTV用アンテナを収納してください。TV用アンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

TV用アンテナを折り曲げたり、TV用アンテナを伸ばしたり、立てた状態で本製品を振り回さないでください。傷害やアンテナの変形・破損の原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。受話口やスピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口やスピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

心臓の弱い方はバイブレータ(振動)や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

通話・通信中やテレビ(ワンセグ)視聴中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。やけど・故障・火災の原因となります。

microSDメモリカードの取り付けの際は、カードが飛び出すのを防ぐため、急に指を離したりせず、指定の方向にmicroSDメモリカードがロックされるまで押し込んでください。取り外しの際は、同様にロックが解除されるまで押し込んでください。また、顔などを近付けないでください。カードが勢いよく飛び出し、けがや破損の原因となります。

方位を計測する機能を使用する際は、計測を行う場所により、計測誤差が大きくなるおそれがあります。建物や乗り物の中／永久磁石（磁気ネックレスなど）／高圧線、架線／金属（鉄製の机、ロッカーなど）／家庭用電化製品（テレビ・パソコン・スピーカーなど）の近くでの計測にはご注意ください。

本製品を永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭用電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。本製品本体そのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。

■電池パックについて

Li-ion 00

（本製品の電池パックはリチウムイオン電池です）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず、次の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス（＋）とマイナス（−）をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部を十分に確認してから接続してください。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。また、電池パックのラベルをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏みつけたり、破損や漏液した電池パックを使用しないでください。漏液したり、異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックは防水・防塵性能を有しておりません。電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告 **必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
- 共通ACアダプタ01（別売）；AC100V（日本国内家庭用）
  単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ（別売）；AC100V～240V
- DCアダプタ（別売）；DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器（別売）が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ01／03（別売）のヒューズが切れたときは、指定（定格250V、1A）のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01／03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

指定の充電用機器（別売）のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・電子回路のショート・火災の原因となります。

接続端子に手や指などの身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や電子回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

指定の充電用機器（別売）は防水・防塵性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに電源プラグを抜いてください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

皮膚に異常を感じたときにはすぐに使用をやめ、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

卓上ホルダで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外側ケース（上下）	ABS樹脂	—
端子カバー	POM樹脂	—
接点端子	りん青銅	金メッキ
接続端子（microUSB）	SUS	Niメッキ
ネジ	冷間圧造用炭素鋼	三価クロメート
ロックツメ	POM樹脂	—
スイッチボタン	POM樹脂	—
ゴム足	ポリウレタン樹脂	—

⚠注意 **必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。本体が外れたり、火災や故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01/03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

卓上ホルダを車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより故障の原因となります。卓上ホルダは室内の安定した場所での使用を前提としています。

■au Micro IC Card(LTE)について

⚠警告　必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card(LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Micro IC Card(LTE)の取り付け・取り外しの際はご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Micro IC Card(LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Micro IC Card(LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体・au Micro IC Card(LTE)・電池パック・充電用機器・周辺機器共通

- 本製品は防水・防塵性能を有しておりますが、本製品本体内部に水や粉塵を浸入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。
- 本製品は、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタをしっかり閉じた状態でIPX5相当、IPX8相当の防水性能およびIP5X相当の防塵性能を有しておりますが、完全な防水・防塵というわけではありません。雨の中や水滴、汚れが付いたままでの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食したり、故障の原因となります。また、付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れや粉塵の浸入による故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  充電用機器・周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。(周囲温度5℃～35℃、湿度は35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  G'zOne本体・電池パック・au Micro IC Card(LTE)(G'zOne本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。掃除の際は強い力を加えて電源端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- カメラ起動中や音声通話中、テレビ(ワンセグ)視聴中、充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックは本製品の電源を切ってから取り外してください。
  電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がお使いになるときは、保護者のかたが本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ポケットおよびかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。また金属などの硬い部材を使用しているストラップは、ディスプレイに触れると傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- ポケットおよびかばんなどに収納するときは、必ずTV用アンテナを収納してください。また、TV用アンテナを故意に強く引っ張ったり曲げたりしないでください。傷や破損の原因となります。
- TV用アンテナを伸ばしたり、立てた状態でテレビ(ワンセグ)を視聴している際に電話に出る場合は、特にTV用アンテナの先端部分が周囲の方々へ危害などを及ぼさないよう、またお客様や幼児の目に入らないように取り扱いには十分ご注意ください。
- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本体が損傷するおそれがあります。
- 本製品には、お買い上げ時にディスプレイ部に傷防止のためのシートが貼り付けられています。必ずはがしてからお使いください。はがさずにお使いになると画面の確認やタッチ操作に支障があります。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 電池フタを外したところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が本製品の銘板シールに表示されております。
  本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料・無料は問わない)などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 動画での撮影・テレビ(ワンセグ)・ブラウザを繰り返し長時間連続動作させた場合や、静止画撮影で静止画撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えができないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能（メール、カメラなど）の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- 磁石やスピーカー、テレビなど磁力を有する機器に近付けると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わる場合がありますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 電池フタ内側の黒いシートは、はがさないでください。シートをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- かばんやポケットに入れているときにキーが誤作動しないように、画面ロックを設定しておくことをおすすめします。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーを指でふさいだり、近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤作動し通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、画面ロックした状態で収納してください。画面ロックを解除したまま収納すると誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作をしないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護シートや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先や爪を立てた状態でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合やタッチパネルに触れても動作しないなど誤動作の原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

■ 電池パックについて

- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、本体から外して高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや、長時間使用しなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。（充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。）
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 周囲の温度が高いもしくは低いため保護機能が働き、充電できない場合があります。周囲温度が5℃～35℃の場所に置いてください。充電を開始します。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを、電源プラグおよび卓上ホルダに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあり、その場合、当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影、公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない文字情報の記録には、使用しないでください。

■ 音楽／動画／テレビ（ワンセグ）機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ（ワンセグ）を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気をとられ事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン（別売）からの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ au Micro IC Card（LTE）について

- au Micro IC Card（LTE）はauからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card（LTE）の取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- au Micro IC Card（LTE）の取り付け、取り外しでは、IC（金属）部分に触れないようにご注意ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにau Micro IC Card（LTE）を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは柔らかい乾いた布などで拭いてください。
- au Micro IC Card（LTE）にラベルなどを貼り付けないでください。
- au Micro IC Card（LTE）以外のカードを本製品に挿入しないでください。au Micro IC Card（LTE）以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- 変換アダプタを取り付けたau Micro IC Card（LTE）を挿入しないでください。故障の原因になります。

＜本製品の記録内容の控え作成のお願い＞

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
本製品のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。

※ 控え作成の手段
連絡先や音楽データなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信することで、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

防水・防塵・耐衝撃性能のご注意

本製品は外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX8※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております。また、日常生活におけるハードな使用にも耐えうる耐衝撃性能(MIL規格準拠※4)を実現しております。(当社試験方法による)

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

※4 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.6 Procedure IVに準拠した独自規格において、高さ1.22mから合板(ラワン材)に製品を26方向で落下させる試験を実施しています。

※日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をする等、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますので、ご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項



❶ 外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップをしっかり閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。
- 完全に閉まっていることで防水・防塵・耐衝撃性能が発揮されます。
- 接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
- 手や本体が濡れている状態での外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタの開閉は絶対にしないでください。
- 電池フタの閉じかたについては「電池パックを交換する」(▶P.33)をご参照ください。
- 外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップの閉じかたについては「外部接続端子キャップ/イヤホン端子キャップを開閉する」(▶P.32)をご参照ください。



石けん/洗剤/入浴剤　海水



温泉　砂/泥

❷ 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。

❸ 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。

❹ 水以外の液体(アルコールなど)に浸けないでください。

❺ 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

❻ 水中で使用(タッチ操作、キー操作含む)しないでください。

❼ お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本体のすきまに水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。(水がたまったまま持ち運ぶと、水が漏れて服やかばんの中などを濡らすおそれがあります。また、濡れたままですと、音量が小さくなる場合があります。)

- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 受話口、送話口、スピーカーに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。（▶P.23「水に濡れたときの水抜きについて」）
- ディスプレイが汚れていたり汗や水で濡れていると、タッチパネルが誤動作する場合があります。その場合はディスプレイの表面をきれいに拭き取ってください。

■利用シーン別注意事項

『雨の中』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合。（1時間の雨量が20mm未満まで）
- 雨がかかっている最中、本製品に水滴が付いているとき、または手が濡れている状態での外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタの開閉は絶対にしないでください。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。

『シャワー』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『洗う』：やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池フタをしっかり閉じた状態で、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『お風呂』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿設計ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- 卓上ホルダをお風呂場へ持ち込まないでください。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。

『キッチン』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- テレビ（ワンセグ）を見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

『水面に落とす』：うっかり水面に落としても電話機としての機能を保ちます。

- 水面から1.5m以下の高さより自然落下、水深10cm～50cmを想定しています。

■共通注意事項

- **外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタについて**
  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップはしっかりと閉じ、電池フタは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップを開閉したり、電池フタを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。キャップを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池フタに劣化・破損があるときは、防水・防塵・耐衝撃性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

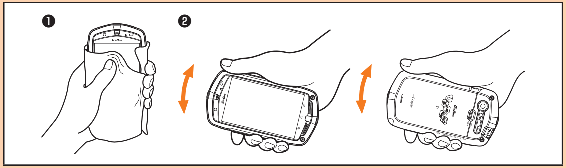
- **水以外が付着した場合**
  万一、水以外(海水･洗剤･アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
  やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池フタ、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- **水に濡れた後は**
  水濡れ後は水抜きをし、電池フタを外さないで、本体、電池フタとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
  寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。)
- **ゴムパッキンについて**
  
  外部接続端子キャップ周囲のゴムパッキン、電池フタのゴムパッキンは、防水･防塵性能を維持するため大切な役割をしています。指で触れたり、傷付けたり、はがしたりしないでください。
  外部接続端子キャップ、電池フタを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水･防塵性能が維持できなくなる場合があります。
  接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
  水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
  外部接続端子キャップ、電池フタのすきまに、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損･変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、水や粉塵が浸入する原因となります。
  防水･防塵性能を維持するため、電池フタ、外部接続端子キャップのゴムパッキンは、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。ゴムパッキンの交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。
- **充電について**
  本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- **防水性能について**
  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口･シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル／分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
  本製品は水に浮きません。
- **耐熱性について**
  熱湯･サウナ･熱風(ドライヤーなど)は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- **衝撃について**
  投げつけたり、無理な落としかたをするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

■水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。下記手順で水抜きを行ってください。

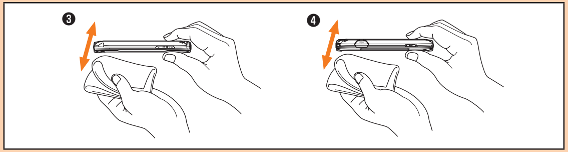
❶ 本体に付着した水分を乾いたタオル･布などでよく拭き取ってください。

❷ 本製品をしっかり持ち、図のように矢印の方向に各20回位振ってください。
※本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。



❸ 本製品をしっかり持ち、送話口、スピーカー部を乾いたタオル・布などに軽く当てながら、図のように矢印の方向に5回位振ってください。

❹ 本製品をしっかり持ち、受話口を乾いたタオル・布などに軽く当てながら、図のように矢印の方向に5回位振ってください。



❺ 本体内部より出てきた水分を乾いたタオル・布などで拭き取ってください。

❻ 各キーを乾いたタオル・布などでおおい、2〜3回押します。

❼ 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置して乾燥させてください。（30分程度）

■充電のときは

付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。外部接続端子キャップからの水や粉塵の浸入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロック解除パターン／ロックNo.／パスワード

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	登録なし

● PIN1コード

使用例	第三者によるau Micro IC Card(LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

- おサイフケータイ ロック設定
- 画面ロック
- SIMカードロック

PINコードについて

PIN1コードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PIN1コード

第三者によるau Micro IC Card(LTE)の無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPIN1コードの入力を必要にすることができます。また、PIN1コードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

- お買い上げ時のPIN1コードは「1234」、入力要否は不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPIN1コードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は必要な設定に変更できます。

■PINロック解除コード

PIN1コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card(LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPIN1コードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎「PIN1コード」は、本体を初期化してもリセットされません。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内の無線規格、FCC規格、およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 本製品の5GHz帯無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内の無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用いただくことはできません。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ視聴画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi®対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH1/XX4

- **Bluetooth®機能：2.4FH1/XX4**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4DS/OF4

- **無線LAN機能：2.4DS/OF4**
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。
  与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN機能は5GHz帯を使用します。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n			
J52	W52	W53	W56

- J52 ：5.170〜5.230GHz（34，38，42，46ch）は使用できません。
- W52：5.180〜5.240GHz（36, 40, 44, 48ch、および、38, 46ch）は使用できます。
- W53：5.260〜5.320GHz（52, 56, 60, 64ch、および、54, 62ch）は使用できます。
- W56：5.500〜5.700GHz（100，104，108，112，116，120，124，128，132，136，140ch、および、102，110，118，126，134ch）は使用できます。

電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯（W52/W53）の屋外利用は禁止されています。

パケット通信料についてのご注意

◎本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）
※Wi-Fi®接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play™／au Market／アプリケーションについて

◎アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。

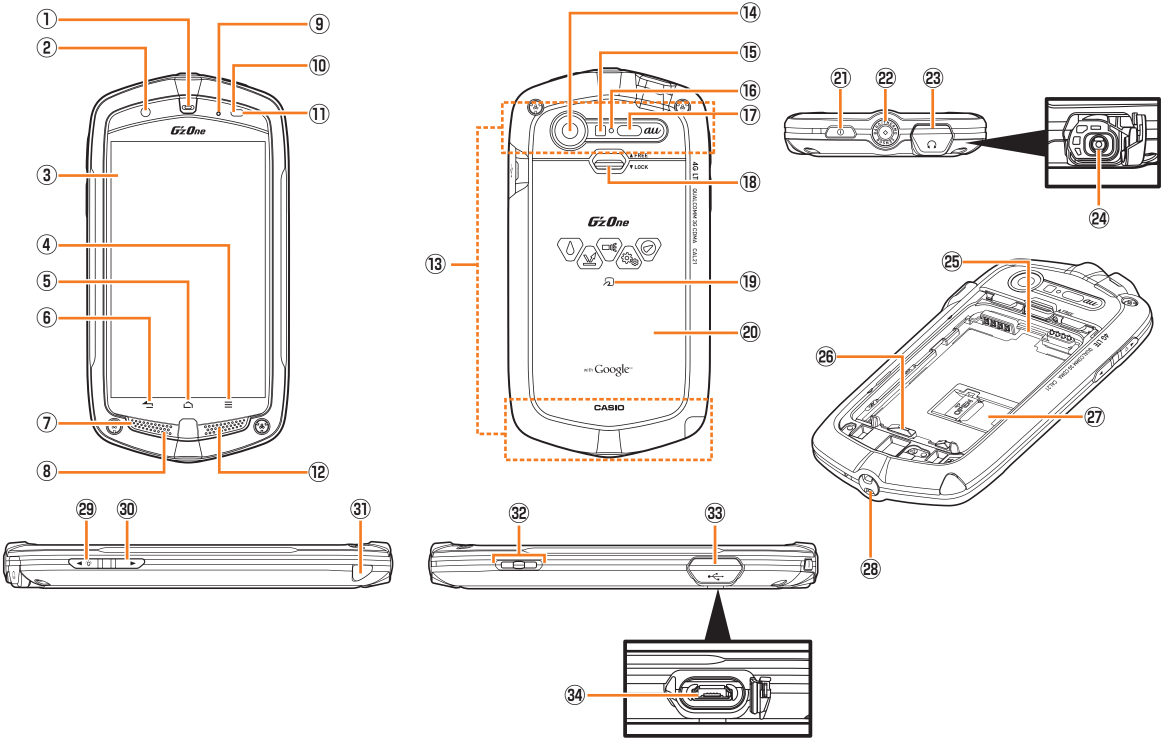
◎アプリケーションによっては、動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。

◎本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードにインストールされる場合と、本体メモリにインストールされる場合があります。

ご利用の準備

各部の名称と機能


①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
G'zOne
au
FREE
LOCK
4G LTE
QUALCOMM 3G CDMA CAL21
with Google
CASIO

① **受話口(レシーバー)**
通話中の相手の声などが聞こえます。
② **内側カメラ**
③ **ディスプレイ**
④ **☰ メニューキー**
オプションメニューを表示します。
⑤ **⌂ ホームキー**
ホーム画面を表示するときなどに使用します。
⑥ **↩ バックキー**
1つ前の画面に戻ります。
⑦ **LEDランプ**
充電中に点灯します。
着信時やメール受信時などには設定内容に従って点滅します。
⑧ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。
⑨ **サブマイク**
⑩ **近接センサー**
通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
⑪ **光センサー**
周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
⑫ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。
⑬ **内蔵アンテナ部**
通話時、インターネット利用時、Wi-Fi®利用時、Bluetooth®機能利用時、GPS情報を取得する場合は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください(Bluetooth®機能、無線LAN機能、GPS測位機能は本体上部のみ)。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。
⑭ **カメラ**
⑮ **撮影ライト／フラッシュライト**
⑯ **カメラお知らせランプ**
カメラ起動時に点灯、点滅します。
⑰ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
⑱ **電池フタロック**
⑲ **FeliCaマーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
⑳ **電池パック／電池フタ**
㉑ **[ⓘ] 電源キー**
電源ON／OFFやスリープモードの起動／解除に使用します。
㉒ **気圧センサー／温度センサー**
G'zGEAR®で気圧、温度を計測するときに使用します。
㉓ **イヤホン端子キャップ**
㉔ **イヤホン端子**
イヤホン接続時に使用します。
㉕ **microSDメモリカードスロット**
㉖ **ロックスイッチ**
㉗ **au Micro IC Card(LTE)**
㉘ **ストラップ取付口**
㉙ **[◄ ☼] 音量UP／ライトキー**
音量をアップします。
ホーム画面表示中、ロック解除画面表示中、または画面消灯中に長押しすると、フラッシュライトを点灯します(音楽などの再生時を除く)。
㉚ **[►] 音量DOWNキー**
音量をダウンします。
㉛ **TV用アンテナ**
テレビ(ワンセグ)を視聴・録画するときに伸ばします。TV用アンテナはテレビ(ワンセグ)の視聴・録画時のみアンテナの役割をします。

㉜ **充電端子**
卓上ホルダを使用して充電するときの端子です。

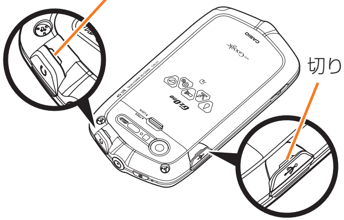
㉝ **外部接続端子キャップ**

㉞ **外部接続端子**
microUSBケーブル01（別売）や18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）などの接続時に使用します。

外部接続端子キャップ／イヤホン端子キャップを開閉する

外部接続端子キャップ／イヤホン端子キャップを開く

外部接続端子キャップ／イヤホン端子キャップは下図のとおり、切り欠きより正しく開けてください。



memo

◎ 指定以外の開けかたをすると、キャップを破損し、防水・防塵・耐衝撃性能が損なわれます。

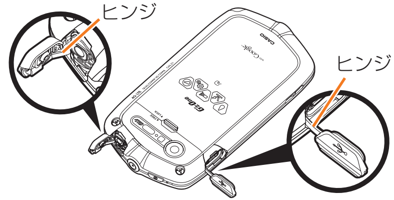
◎ 手や本製品が濡れている状態でのキャップの開閉は絶対にしないでください。

外部接続端子キャップ／イヤホン端子キャップを閉じる

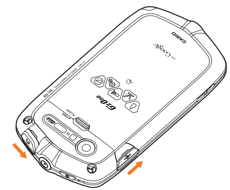
1 **外部接続端子キャップ／イヤホン端子キャップのヒンジを収納してから、キャップ全体を指の腹で押し込む**

2 **矢印の方向になぞり、キャップが浮いていることのないように確実に閉じる**

1



2



memo

◎ キャップは、完全に閉まっていることで防水・防塵・耐衝撃性能が発揮されます。

◎ 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。

電池パックを交換する

電池パックは、G'zOne専用のものを使用して正しく取り付けてください。

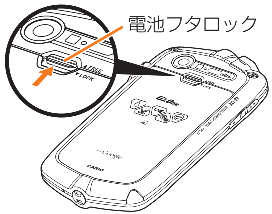
memo

◎電池パックを交換する際は、必ず指定の方法で行ってください。指定以外の取り外しかたや取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池フタが破損する原因となります。

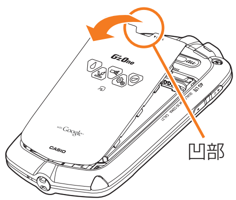
電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本製品の電源を切ってください。

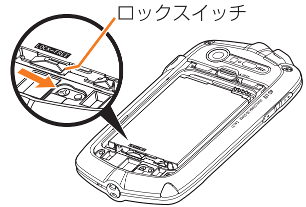
1 電池フタロックをFREE側にスライドする



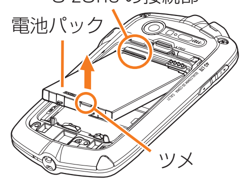
2 G'zOne本体の凹部から電池フタを矢印の方向へ引き上げる



3 ロックスイッチをFREE側にスライドする



4 電池パック下部のツメを矢印の方向に引き、取り出す

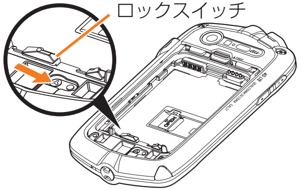


memo

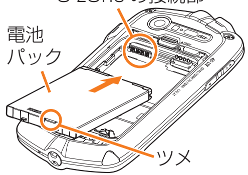
◎電池パックを取り外すときは、ツメを上に引くようにしてください。ツメ以外の方向から持ち上げようとすると、本体の接続部を破損するおそれがあります。

電池パックを取り付ける

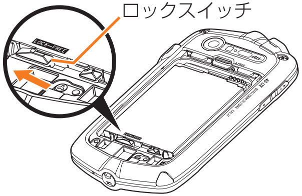
1 ロックスイッチを矢印の方向にスライドする



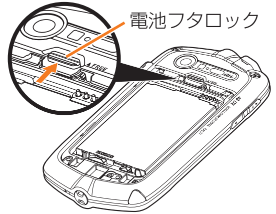
2 電池パックのツメが上に出るようにして、G'zOne本体の接続部の端子位置を確かめて、電池パックを矢印の方向に押しながら取り付ける



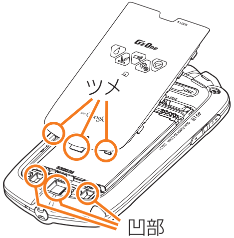
3 ロックスイッチをLOCK側にスライドする



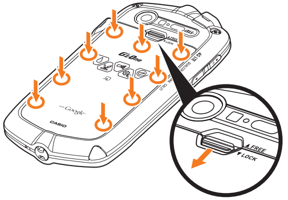
4 電池フタロックを矢印の方向(FREE側)にスライドする



5 電池フタの下端3箇所のツメを図のように斜めにして本体の凹部へ入れ、電池フタを閉じる



6 電池フタの図中○マーク位置9箇所を確実に押し、電池フタ全体に浮きがないことを確認してから電池フタロックをLOCK側にスライドする



memo

◎microSDメモリカード、au Micro IC Card(LTE)が確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。不完全な場合、microSDメモリカードやau Micro IC Card(LTE)、電池パックが破損するおそれがあります。
◎電池フタのツメが本体に乗り上げた状態で電池フタを指で強く押し込むと、ツメが破損するおそれがあります。

au Micro IC Card(LTE)について

au Micro IC Card(LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Micro IC Card(LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードを差し替えてのご利用はできません。

au Micro IC Card(LTE)



IC(金属)部分

memo

◎au Micro IC Card(LTE)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au Micro IC Card(LTE)着脱時は、必ずmicroUSBケーブル01(別売)などのmicroUSBプラグを本体から抜いてください。
◎取り外したau Micro IC Card(LTE)はなくさないようにご注意ください。

■au Micro IC Card(LTE)が挿入されていない場合

au Micro IC Card(LTE)を挿入しないで電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。

- 電話をかける/受ける※
- Eメール/SMSの送受信
- SIMカードロック設定
- 本製品の電話番号の確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報、157(お客さまセンター)への発信もできません。

■PINコードによる制限設定

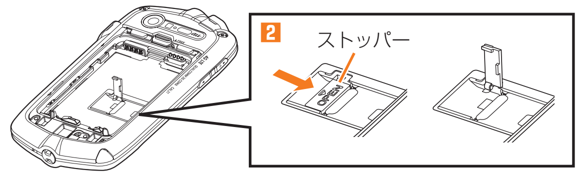
au Micro IC Card(LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PIN1コードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。

au Micro IC Card(LTE)を取り外す

1 本製品の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す

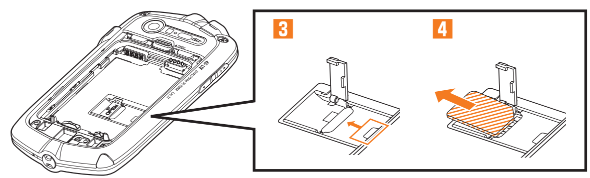
電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」(▶P.33)をご参照ください。

2 図中の矢印の方向に指を入れ、ストッパーを開く



3 図中□部から、au Micro IC Card(LTE)を指先で矢印の方向にスライドさせる

4 au Micro IC Card(LTE)の図中▨部を指の腹で軽く押さえながら、矢印の方向へスライドさせて取り外す



memo

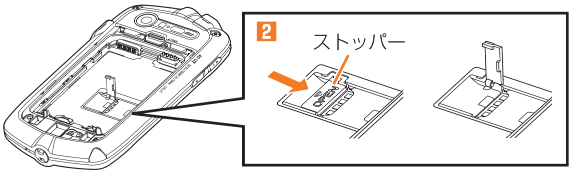
◎ au Micro IC Card(LTE)は必ず指で取り外してください。ボールペンや先が鋭いものなどを使用すると、本体のICカード用端子やau Micro IC Card(LTE)が破損し故障の原因となります。
◎ 皮脂などにより指先が滑りau Micro IC Card(LTE)が取り外しにくい場合は、指先を拭いてから取り外してください。

au Micro IC Card(LTE)を取り付ける

1 本製品の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」(▶P.33)をご参照ください。

2 図中の矢印の方向に指を入れ、ストッパーを開く



3 au Micro IC Card(LTE)のIC面を下にして切り欠きの位置を確認し、矢印の向きでガイドの下に挿入し、軽く上から押しながらゆっくりスライドさせて奥まで押し込む

4 ストッパーをカチッと音がするまで閉じる



充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。点灯していたLEDランプが消灯したら充電完了です。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約460時間(3Gエリア)
	約350時間(LTEエリア)
連続通話時間	約630分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」(▶P.230)をご参照ください。

memo

◎ 充電中、本体と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 指定のACアダプタ(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
◎ 海外での充電には必ず共通ACアダプタ04(別売)／共通ACアダプタ03(別売)／共通ACアダプタ02(別売)※をご使用ください。共通ACアダプタ04(別売)／共通ACアダプタ03(別売)／共通ACアダプタ02(別売)はAC100VからAC240Vまで対応しています。
共通ACアダプタ01(別売)※では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
※共通ACアダプタ01(別売)、共通ACアダプタ02(別売)で充電する際は、18芯-microUSB変換アダプタ01(別売)が必要です。
◎ 外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップは、しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。

◎連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。

- （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi®機能、メール機能、カメラ機能、LISMO機能、テレビ（ワンセグ）、位置情報などの使用
- アプリケーションなどでスリープモードにならないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

◎充電中、LEDランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、（十分）が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、使用時間も充電完了時より短くなります。

スリープモードについて

◎お買い上げ時の設定では、充電中に一定時間操作しない場合でも、自動的にスリープモードになりません。（[⏻]を押すと、スリープモードになります。）

◎スリープモードにせずに充電した場合は、充電時間が長くなる場合があります。

◎充電中に自動的にスリープモードにするには、ホーム画面→ →［設定］→［開発者向けオプション］→［スリープモードにしない］と操作して、チェックを外します。

■ 卓上ホルダと指定のACアダプタ（別売）を使用して充電する

共通ACアダプタ04（別売）を使用して充電する方法を説明します。

指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器のご紹介」（▶P.224）をご参照ください。

充電時間は約110分です

1 卓上ホルダの端子に共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBプラグを接続する

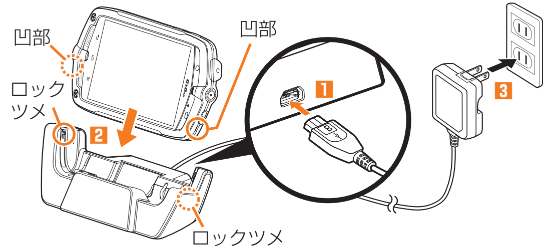
USBプラグの向きを確認し、まっすぐに差し込む

2 本製品を卓上ホルダに差し込む

卓上ホルダのロックツメと本製品の凹部を合わせて差し込む

3 共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントに差し込む

本製品のLEDランプが点灯し、充電ピクトが表示されます。充電が完了すると、LEDランプが消灯します。



4 充電が終わったら本製品を卓上ホルダから取り外し、共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

卓上ホルダから本製品を取り外すときは、卓上ホルダを押さえながら外してください。

卓上ホルダから共通ACアダプタ04を取り外すときは、まっすぐに引き抜いてください。

memo

卓上ホルダメニューについて

◎卓上ホルダを使用して充電を開始すると、卓上ホルダメニューが表示されます。

◎卓上ホルダメニューからは、YouTube、テレビ、ギャラリー、ブラウザを起動できます。

◎卓上ホルダメニュー表示中に をタップすると、ホーム画面が表示され、上記以外のアプリを起動することもできます。再度 をタップすると、卓上ホルダメニューが表示されます。

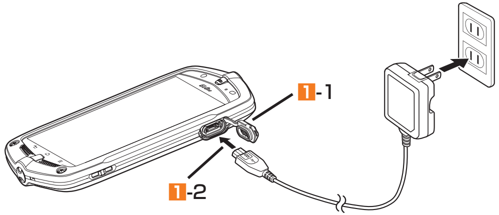
■指定のACアダプタ(別売)を使用して充電する

共通ACアダプタ04(別売)を使用して充電する方法を説明します。
指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.224)をご参照ください。

充電時間は約150分です

1 本製品に共通ACアダプタ04(別売)を接続する

外部接続端子キャップ(1-1)を開け、コネクタ先端の向きを確認し、まっすぐに差し込みます(1-2)。



2 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントに差し込む

本製品のLEDランプが点灯し、充電ピクトが表示されます。
充電が完了すると、LEDランプが消灯します。

3 充電が終わったら、本製品からまっすぐ引き抜く

4 本製品の外部接続端子キャップを閉じる

5 共通ACアダプタ04(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

◎電池が切れた状態で充電すると、LEDランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎共通ACアダプタ01(別売)、共通ACアダプタ02(別売)と18芯-microUSB変換アダプタ01(別売)を使用して充電することもできますが、充電時間は長くなります。

■パソコンを使用して充電する

パソコンに本製品のUSBドライバがインストールされている場合は、パソコンの充電可能なUSBポートに接続することで本製品を充電できます。

- USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。

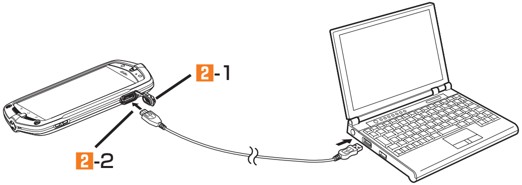
auのホームページ：http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続

USBプラグの向きを確認し、まっすぐに差し込みます。

2 本製品にmicroUSBケーブル01(別売)を接続する

外部接続端子キャップ(2-1)を開け、microUSBプラグの向きを確認し、まっすぐに差し込みます(2-2)。
本製品のLEDランプが点灯し、充電ピクトが表示されます。
充電が完了すると、LEDランプが消灯します。



3 **充電が終わったら、microUSBプラグをまっすぐ引き抜く**

4 **本製品の外部接続端子キャップを閉じる**

memo

◎電池が空になっている場合、LEDランプが点灯せず充電が開始されないことがあります。その場合は、指定のACアダプタ(別売)を使用して充電してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

1 **[⏻](5秒以上長押し)**

ロック解除画面が表示されます。

- 🔒をダブルタップすると、ロックが解除されます。
- 📷をダブルタップすると、ロックが解除され、カメラが起動します。



《ロック解除画面》

memo

◎電源を入れてからロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面には触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは初期設定が開始されます。

電源を切る

1 **[⏻](2秒以上長押し)**

携帯電話オプション画面が表示されます。

2 **[電源を切る]→[OK]**

スリープモードについて

[⏻]を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。スリープモードを解除するには、[⏻]を押してください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたとき、本製品の初期化後に再起動したときは、自動的に初期設定が開始されます。
初期設定について、詳しくは『設定ガイド』をご参照ください。

1 **[⏻]を5秒以上長押しして電源を入れる**

使用する言語を選択する画面が表示されます。

2 **[日本語]/[English]→[次へ]**

初期設定の説明が表示されます。

3 画面の指示に従って次の初期設定を行う

「Googleアカウントの設定」「Google位置情報の利用」「auかんたん設定」を行います。

Google™ アカウントをセットアップする

本製品にGoogle アカウントをセットアップすると、Google が提供するオンラインサービスを利用できます。
Google アカウントのセットアップ画面は、初期設定を行うときや、Google アカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときに表示されます。

1 Google アカウントの設定画面→[設定する]

Google アカウントのセットアップ画面が表示されます。

2 [既存のアカウント]/[新しいアカウント]

Google アカウントをすでにお持ちの場合は「既存のアカウント」をタップし、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」をタップし、画面の指定に従って登録を行ってください。
Google アカウントをお持ちではない場合は「新しいアカウント」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

■ Google パスワードを再取得する場合

1 ホーム画面→ → [ブラウザ] →URL表示欄が表示されていない場合は、画面を下向きにフリック/ドラッグ→URL表示欄をタップ →「http://www.google.co.jp/」を入力→ 実行

2 [ログイン]

Google アカウント画面が表示されます。

3 [アカウントにアクセスできない場合]

アカウント再設定画面が表示されます。

4 画面の指示に従って操作する

memo

◎ Google アカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Google トーク、Gmail、Google Play などのGoogle サービスがご利用になれません。
◎ ログインするためにはGoogle アカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定するとau MarketやGoogle Play に掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、auが提供しているさまざまなサービスがご利用になれます。

1 auかんたん設定画面→[次へ]→[登録]

パケット通信に関する確認画面が表示されます。
「今後表示しない」を有効にすると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK]→[au IDの設定・保存]

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

memo

◎ 初期設定の後でau IDの設定などを行う場合は、ホーム画面→ →[auかんたん設定]と操作すると、auかんたん設定画面を表示できます。

基本操作

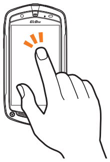
基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

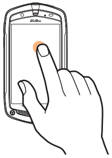
■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



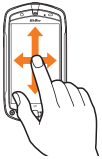
■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。



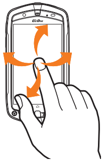
■ スライド

画面に軽く触れたまま目的の方向へなぞります。



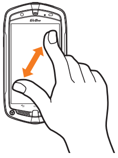
■ フリック

画面を指で上下左右にはらうように操作します。



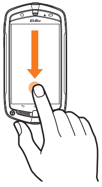
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。



■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



memo

◎次のような場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をした指での操作
- 爪先や爪を立てた状態での操作
- ボールペン、鉛筆など先が鋭いものでの操作
- 異物を画面上に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- 画面を強く押しての操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 水中での操作

◎フリック操作は、最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

◎タッチパネル設定の「高感度タッチ」を有効にした場合、タッチパネルに指を近づけると直接触れなくても反応することがあります。タッチパネル設定については、「画面・ランプを設定する」（▶P.188）をご参照ください。

ホーム画面を利用する

ホーム画面では、本製品の状態や現在の設定を確認したり、アイコンからアプリケーションの起動などができます。また、お好みのウィジェットを配置して利用することもできます。

① ステータスバー
② 通知アイコン
③ ステータスアイコン
④ ウィジェット
⑤ ショートカットアイコン
⑥ アプリボタン
⑦ フォルダ
⑧ クイックメニュー



《ホーム画面》

※画面は各機能の説明のためのもので、お買い上げ時の状態とは異なります。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面→ →［ウィジェット］

ウィジェットトレイにウィジェットの一覧が表示されます。
左右にスライド／フリックすると、一覧が切り替わります。

2 ウィジェットをロングタッチ

縮小版のホーム画面が表示されます。
画面の左右の端までドラッグすると、左右のホーム画面が表示されます。

3 追加する位置へドラッグして、指を離す

■ウィジェットの一覧

名称	説明
Analog clock	アナログ時計を表示します。
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。
auウィジェット	auのウィジェットです。周辺地域の情報を表示したり、ニュースを表示することなどができます。
auお客さまサポート	auケータイや電話・インターネットサービスの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
Digital clock	デジタル時計を表示します。
Facebook	Facebookを利用できます。
Flashlight	フラッシュライトを点灯します。 • 最大で約5分経過すると、自動的に消灯します。
Friends Note	本製品の連絡先とFacebookやmixiなど複数のソーシャル・ネットワーキング・サービスの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。
G'zGEAR BAROMETER	現在の気圧を表示します。
G'zGEAR EARTH COMPASS	コンパスを表示します。 • タップすると、約10分間、方位を表示します。
G'zGEAR MOONRISE MOONSET	月の出、月の入りの時刻や月の方角などを表示します。
G'zGEAR PEDOMETER	計測した歩数や消費カロリーの目安などを表示します。
G'zGEAR SUNRISE SUNSET	日の出、日の入りの時刻や太陽の方角などを表示します。

名称	説明
G'zGEAR TIDES	潮の潮位のグラフと、満潮時刻、干潮時刻などを表示します。
G'zGEAR VIRTUAL TREK	VIRTUAL TREKの達成度などを表示します。
G'zWORLD	G'zWORLDを利用できます。
Gmail	Gmail のメールを表示します。
Gmailのラベル	選択したラベルのメールを表示するためのショートカットです。
Google+投稿	Google+™ の投稿内容を表示します。
Google検索	クイック検索ボックスを表示します。
HOT!チャンネル	テレビのチャンネルの盛り上がりが、ツイート数でわかるウィジェットです。
LISMO Player	音楽を再生したり、再生中の音楽に関する情報を調べることができます。
PCメール	PCメールを表示します。
Playストア	Google Play を利用できます。
WEATHER	天気予報を表示します。
Wi-Fiテザリング	Wi-FiテザリングのON／OFFを切り替えられます。
YouTube	YouTube の動画を簡単に再生できます。
カレンダー	カレンダーや近日中の予定を表示できます。
ニュースと天気	最新のニュースと天気を確認できます。
フォトギャラリー	保存されている画像を表示します。
ブックマーク	ブラウザ／Chrome™ のブックマークのショートカットです。
ミュージックプレイリスト	プレイリストの音楽を再生するためのショートカットです。
メモ	ホーム画面上でメモを入力できます。
一括設定	マナーモード、画面の自動回転、GPSなどの設定をあらかじめ設定しておいた内容に一括で切り替えられます。
音楽	音楽ファイルを再生できます。

名称	説明
経路とナビ	Google マップで経路を検索するためのショートカットです。
交通状況	Google マップで交通状況を表示するためのショートカットです。
時計	2カ国世界時計／アナログ時計／コンパス時計／デジタル時計を表示します。
設定をショートカットとする	「設定」の特定の項目を表示するためのショートカットです。
直接Eメールを送る	特定の連絡先にEメールを送信するためのショートカットです。
直接メッセージを送る	特定の連絡先にSMSを送信するためのショートカットです。
直接発信	特定の連絡先に電話をかけるためのショートカットです。
電源管理	Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、GPS、自動同期のON／OFFを切り替えられます。また、画面の明るさを調節できます。
連絡先	特定の連絡先を表示するためのショートカットです。

memo

◎ウィジェットによっては、ホーム画面上でロングタッチすると青色の枠が表示される場合があります。青色の枠をドラッグすると、ウィジェットのサイズを変更できます。

ホーム画面にフォルダを追加する

1つのフォルダには、最大16個のアイコンを格納できます。

1 ホーム画面→アイコンをロングタッチ

2 他のアイコンにドラッグして、指を離す

アイコンがフォルダに変化します。

memo

◎アイコンをフォルダにドラッグすることで、フォルダに追加できます。
◎フォルダをタップ→「名前のないフォルダ」をタップすると、フォルダ名を変更できます。

アイコン／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

ホーム画面上のアイコンなどをロングタッチすると、移動や削除ができます。

1 ホーム画面→移動したいアイコン／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

■移動する場合

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■削除する場合

2 「×削除」までドラッグして、指を離す

memo

◎画面の左右の端までドラッグすると、左右のホーム画面に移動できます。

クイックメニューについて

◎ホーム画面下部のクイックメニューには、最大4件までアイコン／フォルダを配置できます。
◎クイックメニューのアイコン／フォルダをホーム画面にドラッグすると、ホーム画面上に移動することができます。
◎ホーム画面のアイコン／フォルダをクイックメニューにドラッグすると、クイックメニューに移動することができます。あらかじめ登録されていたアイコンがある場合は、フォルダになります。

ホーム画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→☰

2

壁紙	ホーム画面の背景に表示する壁紙を変更できます。
アプリの管理	▶P.189「アプリケーションを管理する」
システム設定	▶P.184「設定メニューを表示する」

アプリトレイを利用する

1 ホーム画面→ ▦

アプリトレイが表示されます。

左右にスライド／フリックすると、左右のアプリトレイに切り替えられます。

ウィジェットトレイが表示された場合は、画面切替タブの「アプリ」をタップします。



《アプリトレイ画面》

① **画面切替タブ**
　アプリトレイ／ウィジェットトレイに切り替えます。

② **カテゴリ名**
　タップすると、カテゴリ一覧が表示されます。一覧のカテゴリ名をタップすると、タップしたカテゴリのアプリトレイが表示されます。
　▦→カテゴリ名をタップすると、編集できます。

③ **アプリケーションアイコン**
　タップするとアプリケーションが起動します。

④ **Google Play アイコン**
　タップするとGoogle Play 画面が表示されます。

⑤ **編集モードアイコン**
　タップするとアプリトレイが編集モードになります。

2 アイコンをタップ

アプリケーションが起動します。

■ アプリケーションの一覧

コミュニケーション		
ユーザー	名前や電話番号、メールアドレスなどを連絡先に登録して管理できます。	P.118
電話	電話をかけたり、通話履歴を確認できます。	P.68
Eメール	(@ezweb.ne.jp)のアドレスでメールを送受信できます。	P.74
SMS	SMS(ショートメッセージ)を送受信できます。	P.99
PCメール	普段パソコンなどで利用しているメールアカウントでメールを送受信できます。	P.104
Gmail	Gmail を利用できます。	P.108
Facebook	Facebookを利用できます。	P.146
Friends Note	ケータイ電話のアドレス帳とFacebookやTwitterなど複数のSNSの友人やメッセージを管理、投稿できるサービスです。	P.146
Google+	友だちや家族をフォローして、共有しているコンテンツを見たり、自分のコンテンツを共有できるサービスです。	－
メッセンジャー	Google+ に登録してある知り合いを招待して、テキストチャットができます。	－
トーク	Google トークを利用してチャットができます。	P.143
ツール		
カレンダー	カレンダーを表示して、予定を管理できます。	P.153
アラーム	アラームの設定ができます。	－
電卓	電卓で計算できます。	P.156
時計	時計を表示します。アラームを設定できます。	P.155

バーコードリーダー	進化するバーコードリーダー/アイコニット！ QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキスト…などのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。	－
赤外線受信	連絡先や静止画を赤外線通信で受信できます。	P.172
ハンドミラー	本製品を手鏡のように利用できます。	P.152
おサイフケータイ	おサイフケータイ®を利用できます。	P.138
マップ	地図を表示して現在地を確認できます。	P.142
ナビ	現在地から目的地までのルートを検索したり、ナビゲーションを利用できます。	P.144
ローカル	現在地周辺のレストランや観光スポットなどを検索できます。	P.144
Latitude	Google Latitude を利用して友人と位置を確認しあったり、メールを送信できます。	P.143
Quickoffice	Microsoft® Wordファイルなどのドキュメントを表示、編集できます。	P.147
ファイルマネージャー	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されたファイルを操作できます。	P.168
メディア		
テレビ	地上デジタル放送「ワンセグ」を見ることができます。	P.131
auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにワンセグ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。	P.134
カメラ	カメラで静止画と動画の撮影ができます。	P.121
ギャラリー	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存された静止画や動画を再生できます。	P.128
YouTube	YouTube の動画の再生や、検索ができます。	P.145
ニコニコ動画(au) ※	ニコニコ動画を利用するためのアプリです。	－
LISMO Player	LISMO Playerを利用して音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴・購入も可能なアプリです。	P.131
au Cloud※	スマートフォンに保存されている写真や動画をau Cloudにアップロードするアプリです。アップロードは自動・手動どちらでもできます。ただし、自動アップロードは、無線LAN（Wi-Fi®）接続中のみとなります。	－
Photo Album※	au Cloudに保存した写真や動画を見たり、アルバムを作って整理するアプリです。また、作成したアルバムは友達や家族と共有することができます。	－
うたパス	多彩な音楽チャンネルから流れてくる音楽を一人で楽しめるだけでなく、離れた友達と一緒に聴くことができるサービスです。	－
ビデオパス※	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品がお楽しみいただけるアプリです。	－
音楽	本体メモリやmicroSDメモリカードに保存された音楽ファイルを再生できます。	P.130
Movie Studio	撮影した動画を編集できます。	－
Playムービー	映画をレンタルして、Google Play ムービーですぐにご覧いただけます。	－
DiXiM Player	DLNAに準拠したホームネットワークプレーヤーです。	P.136

インターネット／情報		
Chrome	ウェブサイトを閲覧できます。パソコンのChrome と同期させることができます。	―
ブラウザ	ウェブサイトを閲覧できます。	P.113
検索	本製品内やウェブサイトの情報を検索できます。	P.53
ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示できます。	―
ニュースと天気	ニュースと天気予報を閲覧できます。	―
マーケット		
auスマートパス	月額390円で500本以上のアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心･快適なスマホライフが楽しめるサービスです。	P.152
Playストア	Google Play からAndroid アプリをインストールしたり、映画をレンタルできます。	P.141
au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroid アプリをインストールできます。	P.142
GREE マーケット	GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。	―
メーカーアプリ		
G'zWORLD	フィールドアクティビティを記録して、世界中の仲間と共有できるサービスです。	P.159
G'zGEAR	アウトドアや街中のさまざまなシーンで活用できる、G'zOneのために開発されたマルチツールです。	P.156
★GET CA★ by CASIO	カシオ公式会員制ファンサイトに接続します。	―
CA'zCAFE	CA'zCAFE（カシオ専用サイト）に接続します。	―
G-SHOCK App※	G-SHOCKが誇るタフな世界観や時計機能を楽しめます。	―
ついっぷる※	Twitterを簡単に利用できるアプリです。	―
設定		
設定	本製品の設定ができます。	P.184
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。	―
ATOK	ATOKの設定ができます。	P.61
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fi SPOTの利用可能なスポットで簡単にWi-Fi®を利用できます。また、「かんたん接続」搭載の無線LANアクセスポイントと簡単にWi-Fi®が設定できます。	―
らくらく無線スタートEX for Android※	Atermシリーズの無線LAN親機とスマートフォンの接続設定が簡単にできるアプリです。セキュリティ設定も同時に行いますので安心です。	―
LAWSON※	ローソンのおトクな最新情報をいつでも手に入れられるアプリです。Ponta会員の方なら、ログインするだけで「Pontaポイント残高」「アプリ限定クーポン」無料公衆無線LANサービス「LAWSON Wi-Fi」をご利用いただけます。	―
au ID 設定	au IDの設定ができます。	P.40
GLOBAL PASSPORT※	海外でご利用の際、接続中の事業者と海外ダブル定額の適用有無、電話のかけ方などをチェックできるアプリです。	―

サポート		
3LM Security	本製品を盗難･紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。	P.150
リモートサポート	スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のG'zOneの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.150
auお客さまサポート	auケータイの契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるアプリです。	P.149
安心アクセス※	お子さまがスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	－
取扱説明書※	画面上で詳しい操作方法を確認できるアプリ版の取扱説明書です。	－
ウイルスバスター※	不正アプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックできるアプリです。	－
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害･避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができます。	P.147
おすすめ		
LISMO WAVE※	全国のFMラジオやミュージッククリップなどの映像が楽しめます。	－
LISMO Book Store※	コミック･小説･写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	－
逆転裁判※	弁護士となり、無実の罪をはらせ！法廷を舞台に推理と駆け引きが交錯するアドベンチャーゲーム！「探偵パート」で集めた情報や証拠品を武器に、「法廷パート」で証言の矛盾を見破り無罪を勝ち取れ！	－
スマホカバー※	人気ファッションブランドのオリジナルデザインが選べるスマートフォンカバーをお買い求めいただけます。	－
SATCH※	「SATCH VIEWER」はARコンテンツをより便利に、楽しく体験できるアプリケーションです。誰でも簡単にオリジナルのARコンテンツを作ることが出来る「なんでもAR」機能はお試しの価値ありです。	－
TOLOT フォトブック※	スマートフォンで撮影した写真で、おしゃれなフォトブックが簡単に作れます！旅行や記念日の思い出に、家族や友人へのプレゼントにもおすすめ。	－
LINE※	LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。	－
Skype※	音声通話や、インスタントメッセージ(チャット)が利用できます。	－
おはなしアシスタント※	スマートフォンに向かって話しかけることで、電話発信、メール作成、スケジュール管理、アラーム設定などが簡単に行えます。さらに、アシスタントキャラクターとの楽しい会話も可能です。	－
GREE※	2500万人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREE公式アプリです。	－
お買い物サーチ※	人気モールなどいろいろなサイトの商品をまとめて検索できます。	－
じぶん銀行※	入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます	－

Dolphin Browser for au※	Google Play で人気があるブラウザ！インターネットをサクサク快適に見ることができます。また、他のブラウザアプリにないジェスチャー機能やスピードダイアル等の便利な機能もあります。	－
Paper Camera※	様々な撮影モードやエフェクトが選べ、機能も充実したカメラアプリ。	－
PicCollage for au※	PicCollageを使うだけで、簡単に楽しいコラージュを思いのままに作ることができます！ FacebookやEメールで共有すれば、家族や友達と一緒に楽しめます。	－
自転車NAVITIME for auスマートパス※	「自転車NAVITIME for auスマートパス」はサイクリングに適したアプリです。坂道が少ない･多い、大通り優先など自転車ならではの5種類のルートから検索でき、音声案内つきでナビゲーションします。	－

※ショートカットアプリです。利用するにはダウンロードが必要です。

memo

◎アプリケーションを使用すると、アプリケーションによっては通信料が発生する場合があります。
◎アイコンなどのデザイン、名称は予告なく変更する場合があります。

ホーム画面にショートカットアイコンを追加する

1 アプリトレイ→アイコンをロングタッチ

縮小版のホーム画面が表示されます。
画面の左右の端までドラッグすると、左右のホーム画面が表示されます。

2 追加する位置へドラッグして、指を離す

アプリトレイのアイコンを移動する

1 アプリトレイ→

アプリトレイが編集モードになります。

2 アイコンをロングタッチ

画面の左右の端までドラッグすると、左右のアプリトレイが表示されます。

3 移動する位置へドラッグして、指を離す→[完了]

アプリケーションを削除する

1 アプリトレイ→

アプリトレイが編集モードになります。
削除可能なアプリケーションのアイコンにはが表示されます。

2 削除したいアイコンをタップ→[OK]→[OK]→[完了]

アプリトレイのメニューを利用する

1 アプリトレイ→

2

アプリの管理	▶P.189「アプリケーションを管理する」
システム設定	▶P.184「設定メニューを表示する」

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

画面上部のステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり(Eメール)
	新着メールあり(SMS)/着信お知らせサービスの伝言お知らせ･着信お知らせあり
	新着メールあり(PCメール)
	新着メールあり(Gmail)
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中
	発信中/着信中
	本体メモリの空き容量が少ないとき
	赤外線通信中
	Bluetooth®通信でファイル着信あり
	USB接続中
	データのアップロード中/アップロード完了
	データ、アプリケーションのダウンロード中/ダウンロード完了/インストール中
	インストール完了
	USBテザリング利用中
	Wi-Fiテザリング利用中/Wi-Fi Direct利用中
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中
	GPS利用中
	VPNに接続中

アイコン	概要
	利用可能なアップデートあり
	メジャーアップデート更新あり
	充電完了
	緊急速報メールあり
	通知アイコンを表示しきれないとき
	新着伝言メモあり

■ステータスアイコンの例

アイコン	概要
10:30	時刻
	アラーム設定あり
	電池レベル状態 ～ 残量表示/ 残量なし • 充電中のアイコンは が表示されます。
	機内モード設定中
	ecoモード設定中
	電波の強さ(受信電界) ～ レベル表示/ 圏外 • データ通信で使用しているネットワークを示すアイコンが左上に表示されます。 • 通信中は が重なって表示されます。
	au Micro IC Card(LTE)が未挿入
	マナーモード状態 マナーモード中(バイブレーションあり) マナーモード中(バイブレーションなし)

アイコン	概要
(Wi-Fiアイコン)	Wi-Fi®の電波の強さ (アイコン)～(アイコン) レベル表示
(Bluetoothアイコン)	Bluetooth®待機中／接続中／利用中
(LOCKアイコン)	おサイフケータイ®ロック設定利用中
(伝言メモアイコン)	伝言メモ設定中

基本操作

通知パネルを利用する

通知パネルでは、通知アイコンやステータスアイコンの詳細や接続中のネットワークの通信事業者名を確認したり、アイコンに対応するアプリケーションを起動できます。

1 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

① **機能スイッチ**
「マナーモード」「画面の自動回転」「ecoモード」「GPS機能を使用」「Bluetooth」「Wi-Fi」「画面の明るさ」「自動同期」「サラウンド設定」を設定できます。
「タップサーチ」については、「タップサーチを利用する」(▶P.52)をご参照ください。
(アイコン) をタップすると、機能スイッチに表示するアイコンを変更したり、アイコンの表示順を変更できます。



《通知パネル》

② **通知エリア**
本製品の状態や通知の内容を確認できます。
通知によって、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

③ **通知を消去**
タップすると、通知内容を消去します。ただし、通知内容よっては消去できない場合があります。

④ **設定**
タップすると、本製品の設定ができます。

⑤ **閉じるタブ**
上向きにフリックまたはドラッグすると、通知パネルを閉じます。

タップサーチを利用する

画面上に検索したい文字がある場合は、文字をタップすることで検索できます。また、カメラで撮影したり、本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存されている画像を選択すると、文字認識によって検索することもできます。

1 通知パネルの (タップサーチアイコン) をタップ

タップサーチメニューが表示されます。

- 画面内の文字を検索する場合は、「画面内検索」をタップします。
- カメラで撮影して文字を検索する場合は、「カメラで検索」をタップします。
- 保存されている画像の文字を検索する場合は、「画像データから検索」をタップします。

■ 画面内の文字を検索する場合

2 ［画面内検索］

3 検索したい文字をタップ

選択された文字がマーカー表示されます。
マーカー表示の左右のポインタをドラッグすると、検索する文字を調整できます。

4 (検索アイコン)

クイック検索ボックスに文字が入力されます。

memo

◎タップサーチの文字認識の条件は、次の通りです。手書きの文字やフォントによっては認識されない場合があります。
認識可能な文字の種類:漢字/ひらがな/カタカナ/英字/数字/記号(白背景に黒文字推奨)
推奨文字サイズ:20～40ドット
◎画面によっては、タップサーチモードでは画面が正しく表示されないことがあります。

クイック検索ボックスを利用する

本製品内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面→ [アイコン] →[検索]
クイック検索ボックス画面が表示されます。

2 入力欄にキーワードを入力
入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目をタップ/キーボードの [検索アイコン]

4 [Chrome]/[ブラウザ]
Chrome/ブラウザが起動してGoogle 検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションをタップした場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎一覧表示された項目の [矢印アイコン] をタップすると、選択した項目が、入力欄に追加されます。

Google 音声検索™を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面→ [マイクアイコン]
Google 音声検索画面が表示されます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す
ブラウザが起動してGoogle 検索の検索結果が表示されます。

Google 検索を設定する

1 クイック検索ボックス画面→ [メニューアイコン] →[設定]

2

検索対象	クイック検索の対象を設定します。
Google検索	Google アカウントのウェブ履歴を使用するかどうかや、現在地情報をGoogle の検索結果に利用するかどうかなどの設定を行います。

共通の操作を覚える

メニューを表示する

オプションメニューとコンテキストメニューの2種類のメニューがあります。

■オプションメニューを表示する

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で [メニューアイコン] をタップすると表示されるメニューです。

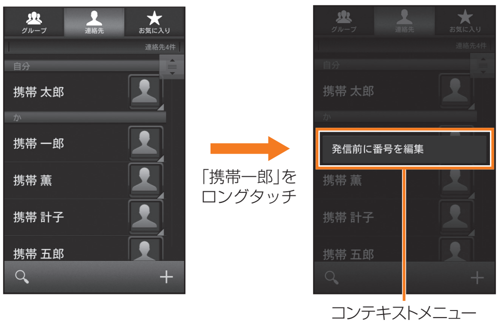
例：連絡先一覧画面の場合



■コンテキストメニューを表示する

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：連絡先一覧画面の場合



縦横表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦（横）表示から左（右）に90°回転した場合



《横表示》　《縦表示》　《横表示》

memo

◎本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。

◎縦横表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」（▶P.188）で設定できます。

◎アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

実行中のアプリケーションを確認する

1 [ホーム]をロングタッチ

最近利用したアプリケーションの一覧が表示されます。実行中のアプリケーションには「実行中」と表示されます。

アプリケーションをタップ：選択したアプリケーションに切り替え
「終了」をタップ：アプリケーションを終了
「実行中のアプリを終了する」をタップ：実行中のアプリケーションをすべて終了

memo

◎一覧でアプリケーションを左右にスライド／フリックすると、一覧からアプリケーションを削除できます。実行中の場合は、アプリケーションが終了し、一覧から削除されます。
◎バックグラウンドでアプリケーションが起動していると、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。こまめに終了することで、電池の消費を抑えることができます。

ロックを解除する

「ロック解除セキュリティの設定」（▶P.191）で、ロック解除パターン／ロックNo.／パスワードを登録すると、ロック解除（▶P.39）するときや、重要な操作を行うときに、ロック解除パターン／ロックNo.／パスワードの入力を求められます。「フェイスアンロック」で顔を登録している場合は、内側カメラで顔を認識させる必要があります。

■ロック解除パターンを入力する

1 ロック解除が必要な操作をする

ロック解除パターン入力画面が表示されます。

2 ロック解除パターンを入力

■ロックNo.／パスワードを入力する

1 ロック解除が必要な操作をする

ロックNo.入力画面／パスワード入力画面が表示されます。

2 ロックNo.／パスワードを入力→［OK］

■顔を認識させる

1 ロック解除が必要な操作をする

内側カメラの映像が画面に表示されます。

2 顔を内側カメラに向けて認識させる

memo

◎ロック解除パターン／ロックNo.／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」をタップし、入力可能になったら再入力してください。
◎顔認識に失敗した場合は、「フェイスアンロック」で顔を登録する際、同時に登録したロック解除パターン／ロックNo.でロックを解除できます。
◎「フェイスアンロック」で顔を登録している場合でも、最初からロック解除パターン／ロックNo.の入力を求められる場合があります。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存できます。

1 [電源]と[▶]を同時に長押し

memo

◎保存した画像はギャラリーの「Screenshots」アルバムで閲覧できます。
◎画面によっては、画面の一部または全部が保存できない場合があります。

文字入力

キーボードについて

本製品では、画面に表示されたATOKのキーボードを使って文字を入力します。
キーボードは画面上の文字入力エリアをタップすると表示され、⬅ をタップすると非表示になります。
ATOKには、2種類のキーボードが用意されています。

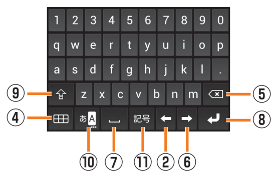
■テンキーキーボード

一般的な携帯電話と同じように文字を入力できるキーボードです。ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力、T9入力、2タッチ入力の5種類の入力方式を使用できます。



■QWERTYキーボード

一般的なパソコンのキーボードと同じように文字を入力できるキーボードです。



番号	キー	説明
①	戻す	直前に確定した文字を確定前の文字に戻します。
	⮌	文字を逆順で表示します。
②	←	カーソルを左に移動したり、変換対象を選択します。
③	あA／あA1	文字種をひらがな入力／英字入力／数字入力に切り替えます。 • 数字入力では、半角数字のみ入力できます。 • 「数字テンキー」(▶P.62)を無効に設定した場合は、タップすると、文字種をひらがな入力／英字入力に切り替えます。 • ロングタッチすると、「ATOKの設定」「単語登録」を選択できます。
	英語	T9入力中に表示されます。英語入力に切り替えます。
	日本語	T9入力中に表示されます。日本語入力に切り替えます。
④	⊞	• テンキーキーボードを表示中に ⊞ → ⌨ と操作すると、QWERTYキーボードに切り替わります。 • QWERTYキーボードを表示中に ⊞ → ▯ と操作すると、テンキーキーボードに切り替わります。 • ⊞ → (^_^)(顔文字)／#!?"(記号)／定型文(定型文)／文字コード(文字コード)と操作すると、それぞれのパネルに切り替えます。 • ⊞ → 🍄(ATOKダイレクト)と操作すると、マッシュルーム対応アプリの一覧が表示されます。
	後変換	変換 をタップした後、後変換 をタップすると、一覧からひらがな／全角カタカナ／半角カタカナ／全角英字／半角英字を選択して確定できます。

基本操作

番号	キー	説明
④	カナ英数	ひらがなを入力して カナ英数 をタップすると、入力時にタップしたキーに対応したカタカナ／数字／英字／年月日の変換候補が表示されます。 ・「半角」／「全角」をタップすると、変換候補の半角／全角を切り替えることができます。
	読み編集	T9入力中に表示されます。読み編集モードになり、カーソルが未確定の文字の先頭に移動します。カーソルの位置のひらがなの行の文字が表示され、タップすると、その文字に置き換わります。 ・ ← ／ → をタップすると、カーソルを移動できます。 ・ ゛ をタップすると、濁音／半濁音が表示されます。
⑤	⌫	カーソルの左側の文字を削除します。 ・「文字削除キー」（▶P.62）を「クリア」に設定した場合は、 CLR が表示されます。タップするとカーソルの右側の文字を削除します。 ・「文字削除フリック」（▶P.62）を有効にした場合は、上向きにフリックすると、全削除／右全削除ができます。左向きにフリックすると、文（単語）削除／左全削除ができます。
⑥	→	カーソルを右に移動したり、変換対象を選択します。
⑦	␣	スペースを入力します。
	変換	未確定のひらがなが変換されます。変換 をタップするたびに、次の候補に変換されます。
	漢字かな	T9入力中に表示されます。予測･変換候補の漢字／かなを切り替えます。

番号	キー	説明
⑧	実行	入力した内容で操作を実行します。
	確定	入力した内容で操作を確定します。
	次へ	次の入力項目に移動します。
	↵	可能な場合は、改行します。変換中の場合は、変換を確定します。
	🔍	入力した内容で検索します。
⑨	⇧ ／ ⬆	タップするたび、キーが大文字→大文字（ロック）→小文字と切り替わります。 ・大文字（ロック）のときは、 ⬆ の左上が点灯します。大文字や記号を続けて入力できます。
⑩	あA	文字種をひらがな入力／英字入力に切り替えます。 ・ロングタッチすると、「ATOKの設定」「単語登録」を選択できます。
⑪	記号	「数字キー表示（縦画面）」（▶P.62）を有効にした場合、縦画面のQWERTYキーボードに表示されます。タップすると、キーボードが記号のみに切り替わります。もう一度タップすると、通常のQWERTYキーボードに戻ります。

※入力項目や入力状態によっては、表示されないキーがあります。

テンキーキーボードで入力する

1 文字入力エリアをタップ

QWERTYキーボードが表示された場合は、⊞ → ▯ と操作すると、テンキーキーボードに切り替わります。

2 文字を入力

テンキーキーボードの入力方式を切り替える

テンキーキーボードでは、ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力、T9入力、2タッチ入力といった入力方式のいずれかを利用できます。

1 キーボードの あA1 または あA をロングタッチ→[ATOKの設定]

ATOKの設定画面が表示されます。

2 [入力方式]→[ケータイ入力]／[ジェスチャー入力]／[フリック入力]／[T9入力]／[2タッチ入力]

■ フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力での入力操作

■ フリック入力での入力操作

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチすると、フリックガイドが表示されます。画面から指を離さずに、フリックガイドで示されている文字の方向にフリックすると、文字を入力できます。



フリックガイド

- フリックしなかった場合は、中央の文字が入力されます。
- かな入力では、文字を入力した後、゛゜小 をロングタッチしてフリックすると、濁音／半濁音／拗音にできます（可能な文字のみ）。
- 英字入力では、文字を入力した後、A/a をタップすると、大文字と小文字を切り替えられます。

■ ケータイ入力での入力操作

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで繰り返しタップします。



繰り返しタップ

- かな入力では、文字を入力した後、゛゜小 をタップすると、濁音／半濁音／拗音にできます（可能な文字のみ）。
- 英字入力では、文字を入力した後、A/a をタップすると、大文字と小文字を切り替えられます。
- フリック入力／ジェスチャー入力でも、ケータイ入力と同じ方法で文字を入力できます。

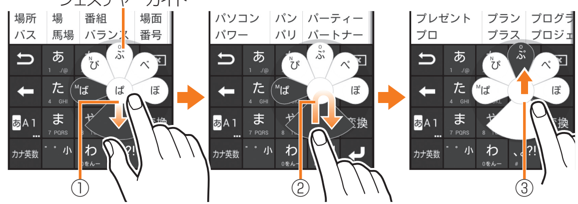
■ ジェスチャー入力での入力操作

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチすると、ジェスチャーガイドが表示されます。画面から指を離さずに、目的の文字まで指を移動して離すと、文字を入力できます。

- 濁音／半濁音／拗音をジェスチャーガイドで入力することができます。

例：「ぷ」を入力する場合

ジェスチャーガイド



① タッチした指を離さずに下に移動すると、濁音の表示に切り替わります。
② 指を離さずに中央に戻して、もう一度下に移動すると半濁音の表示に切り替わります。

③ 指を離さずに「ぷ」に移動してから離すと、「ぷ」を入力できます。

- 英字入力では、上記と同様の操作で大文字／小文字を切り替えることができます。

■ 推測・漢字変換

ひらがなを入力するごとにキーボードの上部には、推測変換候補が表示されます。

- 推測変換候補をタップすると、変換が確定されます。
- 変換 をタップすると、未確定のひらがなが漢字変換されます。変換 をタップするたびに、次の候補に変換されます。このとき変換候補には、推測変換候補は含まれません。
  ↵ をタップするか、一覧の変換候補をタップすると、変換が確定されます。
- 変換候補は、左右にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。

■ 2タッチ入力での入力操作

2回キーをタップして1つの文字を入力します。1回目にキーをタップすると、キーの表示が切り替わります。2回目にキーをタップすると、文字が入力されます。

- 例：「う」を入力する場合
  ① あ をタップ
  ② う をタップ

■ T9入力での入力操作

少ないキー操作（1文字1回のタップ）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の単語を選択します。



- 例：「春」を入力する場合
  ① 「は行」の は をタップ
  ② 「ら行」の ら をタップ
  「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測・変換候補が表示されます。
  ③ 「春」をタップ
  ④ 「春」をタップ
- 予測・変換候補は、左右にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。
- グレーの文字で表示された予測・変換候補をタップした場合は、もう一度同じ予測・変換候補をタップするか、「変換」タブまたは「予測」タブの単語をタップした時点で確定されます。
  黒の文字で表示された予測・変換候補をタップした場合は、その時点で確定します。
- 英字入力の際も、同様に少ないキー操作（1文字1回のタップ）で単語を入力できます。

QWERTYキーボードで入力する

1 文字入力エリアをタップ

テンキーキーボードが表示された場合は、⊞ → ⌨ と操作すると、QWERTYキーボードに切り替わります。

2 文字を入力

数字キーを非表示に設定した場合は、英字キーを下向きにフリックすると、キーの下部に表示されている数字／記号を入力できます。上向きにフリックすると、英字が入力される場合は大文字／小文字を入力できます。

顔文字／記号パネルで入力する

一覧から顔文字／記号を選んで入力できます。

1 キーボードの ▦ → (^_^)（顔文字）／ #!?"（記号）

顔文字／記号パネルが表示されます。

- カテゴリーや一覧を左右にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。
- カテゴリーをタップすると、そのカテゴリーの一覧が表示されます。
- ▯／⌨ をタップすると、テンキーキーボード／QWERTYキーボードに戻ります。

2 一覧の顔文字／記号をタップ

定型文／文字コードパネルで入力する

定型文を選んで入力したり、文字コード表から文字を選んで入力できます。

1 キーボードの ▦ → 定型文（定型文）／ 文字コード（文字コード）

定型文／文字コードパネルが表示されます。

- カテゴリーをタップすると、一覧からカテゴリーを選択できます。
- 一覧を上下にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。
- ▯／⌨ をタップすると、テンキーキーボード／QWERTYキーボードに戻ります。

2 一覧の定型文／文字をタップ

ATOKダイレクトを利用して入力する

あらかじめ用意されているATOKダイレクトプラグイン「電話帳／ATOKダイレクト」、およびマッシュルームアプリを呼び出して利用できます。

例：連絡先の登録内容を入力する場合

1 キーボードの ▦ →

ATOKダイレクトプラグイン「電話帳／ATOKダイレクト」、およびマッシュルームアプリの一覧が表示されます。

2 ［電話帳／ATOKダイレクト］

連絡先の一覧が表示されます。

3 連絡先をタップ→入力したい項目のチェックボックスをタップしてチェックを付ける→［OK］

切り取り／コピー／貼り付けをする

1 文字入力エリアをロングタッチ

2 ◢／◣ をドラッグして選択範囲を変更

▦ をタップすると、文字をすべて選択できます。

3 ✂（切り取り）／ ▤（コピー）

4 文字入力エリアをタップ→ ⬟ をドラッグして貼り付ける位置に移動

5 ⬟ をタップ→［貼り付け］

ATOKを設定する

1 キーボードの または をロングタッチ→［ATOKの設定］

ATOKの設定画面が表示されます。

2

入力方式		▶P.58「テンキーキーボードの入力方式を切り替える」
入力補助		▶P.61「入力補助を設定する」
変換・候補	推測変換	推測変換の変換候補を表示するかどうかを設定します。
	未入力時の推測候補表示	文字を確定したときに次に続く文字の入力予測候補を表示するかどうかを設定します。
	学習データの初期化	学習データの初期化を行います。 • 一度入力した語句は「学習データ」として自動的に記憶され、変換候補として表示されます。学習データの初期化を行うと、記憶された内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。 • 顔文字／記号パネルの履歴も消去されます。
辞書・定型文・Myコレ	辞書ユーティリティ	▶P.63「よく使う単語を辞書に登録する」
	定型文ユーティリティ	▶P.63「よく使う文章を定型文として登録する」
	Myコレユーティリティ	▶P.64「Myコレによく使う顔文字／記号を登録する」
	ATOK拡張辞書	ATOK拡張辞書の追加や削除ができます。
	ATOK Sync	Windows／Mac版のATOKで登録した単語を共有するかどうかを設定します。
画面・表示	テーマ	画面デザインのテーマを選択します。
	キーボードのサイズ調整	キーボードのサイズを調整するためのバーを表示するかどうかを設定します。 • 有効にした場合は、キーボード上部のバーをドラッグすると、キーボードのサイズを変更できます。
	文字サイズ	変換候補の一覧の文字サイズを設定します。
	表示行数（縦画面）	縦画面表示のときの変換候補の一覧の行数を設定します。
	表示行数（横画面）	横画面表示のときの変換候補の一覧の行数を設定します。
設定の初期化		ATOKの設定を初期化します。 • 学習データや、ユーザー辞書、定型文は初期化されません。
日本語入力システムATOK		ATOKのバージョンが表示されています。

入力補助を設定する

1 ATOKの設定画面→［入力補助］

2

キー操作音	キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。

トグル入力	トグル入力をケータイ入力以外でも有効にするかどうかや、トグル入力時に自動カーソル移動を有効にするかどうかを設定します。 • 自動カーソル移動を有効にすると、文字を入力した後に一定時間操作しないとカーソルが自動的に右へ移動します。自動でカーソルを移動するまでの時間も設定できます。
文字削除キー	テンキーキーボードに表示する文字削除キーを設定します。 •「バックスペース」に設定すると、が表示され、タップするとカーソルの左側の文字が削除されます。 •「クリア」に設定すると、が表示され、タップするとカーソルの右側の文字が削除されます。
数字テンキー	数字のテンキーキーボードを使用するかどうかを設定します。
ジェスチャーガイド	キーをタップしたときにジェスチャーガイドを表示するかどうかを設定します。キーをタップしてからジェスチャーガイドが表示されるまでの時間も設定できます。 •「入力方式」を「ジェスチャー入力」に設定しているときの動作を設定する項目です。
フリックガイド	キーをタップしたときにフリックガイドを表示するかどうかを設定します。 •「入力方式」を「フリック入力」に設定しているときの動作を設定する項目です。
フリック感度	フリック入力の感度を設定します。 •「入力方式」を「フリック入力」に設定しているときの動作を設定する項目です。

修飾キーフリック	フリック操作で濁音や半濁音にするかどうかを設定します。
英字キーフリック	英字入力時の右フリックに割り当てる文字を設定します。
切り替え時は英字	テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに英字入力に切り替えるかどうかを設定します。
英字は確定入力	英字入力時に1文字ごとに確定入力するかどうかを設定します。
数字キー表示（縦画面）	縦画面／横画面のQWERTYキーボードを表示したとき、数字キーを表示するかどうかを設定します。 • 数字キーを非表示に設定した場合は、英字キーを下向きにフリックすると、キーの下部に表示されている数字／記号を入力できます。上向きにフリックすると、英字が入力される場合は大文字／小文字を入力できます。
数字キー表示（横画面）	
マルチタッチ	と文字キーの同時タッチを有効にするかどうかを設定します。
初期選択カテゴリー	顔文字／記号パネルを表示したときに最初に表示されるカテゴリーを設定します。
スペースは半角で出力	日本語入力時にも半角のスペースを入力するかどうかを設定します。
自動スペース入力	英語入力時に単語を確定したとき、自動的にスペースを挿入するかどうかを設定します。
文字削除フリック	／をフリックすることで、まとめて文字を削除するかどうかを設定します。

タッチ位置補正	キーボードがタップされたときにタップ位置を補正するかどうかを設定します。
自動全画面化(横画面)	横画面表示のとき、選択している文字入力エリアとキーボードのみを全画面表示にするかどうかを設定します。

よく使う単語を辞書に登録する

よく使う単語をあらかじめATOKの辞書に登録しておくと、読みを入力したとき変換候補に表示されます。

1 キーボードの あA1 または あA をロングタッチ→[ATOKの設定]

ATOKの設定画面が表示されます。

2 [辞書・定型文・Myコレ]→[辞書ユーティリティ]

ATOK辞書ユーティリティ画面が表示されます。

3 ☰→[新規登録]

4 単語、読みを入力→「品詞」欄をタップ→単語の品詞をタップ→[登録]

memo

◎ATOK辞書ユーティリティ画面で単語をタップすると、登録内容を編集できます。

◎ATOK辞書ユーティリティ画面で単語をロングタッチ→[削除]→[はい]と操作すると、単語を削除できます。

■ATOK辞書ユーティリティ画面のメニューを利用する

1 ATOK辞書ユーティリティ画面→☰

2

新規登録	▶P.63「よく使う単語を辞書に登録する」
全削除	登録されている単語をすべて削除します。
一括登録	microSDメモリカードに保存されている辞書データを読み込みます。 ・「場所」欄に「sdcard」以外が表示されているときは、「場所」欄をタップ→「/」をタップ→一覧の「sdcard」をタップしてください。
一覧出力	名前を付けて単語データをmicroSDメモリカードに保存します。 ・単語データは、テキストデータとして保存されます。 ・「場所」欄に「sdcard」以外が表示されているときは、「場所」欄をタップ→「/」をタップ→一覧の「sdcard」をタップしてください。

よく使う文章を定型文として登録する

1 キーボードの あA1 または あA をロングタッチ→[ATOKの設定]

ATOKの設定画面が表示されます。

2 [辞書・定型文・Myコレ]→[定型文ユーティリティ]

ATOK定型文ユーティリティ画面が表示されます。

3 ☰→[新規作成]

4 定型文を入力→「カテゴリー」欄をタップ

カテゴリーの一覧が表示されます。

5 定型文を登録するカテゴリーをタップ→[登録]

memo

◎ATOK定型文ユーティリティ画面で定型文をタップすると、登録内容を編集できます。

■ATOK定型文ユーティリティ画面のメニューを利用する

■オプションメニューを利用する場合

1 **ATOK定型文ユーティリティ画面→☰**

2

新規作成	▶P.63「よく使う文章を定型文として登録する」
初期化	定型文をお買い上げ時の内容に戻します。 ・新規に作成した定型文はすべて削除されます。
カテゴリー	カテゴリーの一覧が表示され、タップするとカテゴリーの名称を変更できます。 ・カテゴリーの一覧で☰→[新規作成]と操作すると、カテゴリーを追加できます。

■コンテキストメニューを利用する場合

1 **ATOK定型文ユーティリティ画面で定型文をロングタッチ**

2

タイトル変更	定型文のタイトルを変更します。 ・新規に作成した定型文の本文を編集するとタイトルも連動して変更されますが、「タイトル変更」でタイトルを変更すると連動しなくなります。
削除	定型文を削除します。
カテゴリー移動	カテゴリーを変更します。
上に移動	定型文の一覧での表示位置を1つ上に移動します。
下に移動	定型文の一覧での表示位置を1つ下に移動します。

Myコレによく使う顔文字／記号を登録する

顔文字／記号パネルの「Myコレ」カテゴリーに表示する内容を登録できます。

1 **キーボードの あA または あA1 をロングタッチ→[ATOKの設定]**

ATOKの設定画面が表示されます。

2 **[辞書・定型文・Myコレ]→[Myコレユーティリティ]**

ATOK Myコレユーティリティ画面が表示されます。

3 **画面左上の「▼」をタップ→[顔文字]／[記号]**

登録されている顔文字／記号の一覧が表示されます。

4 **☰→[新規登録]→顔文字／記号を入力→[OK]**

memo

◎ATOK Myコレユーティリティ画面で顔文字／記号をタップすると、登録内容を編集できます。

◎顔文字／記号パネルで顔文字／記号をロングタッチ→[OK]と操作しても、Myコレに登録できます。

■ATOK Myコレユーティリティ画面のメニューを利用する

■オプションメニューを利用する場合

1 **ATOK Myコレユーティリティ画面→ ≡**

2

新規登録	▶P.64「Myコレによく使う顔文字／記号を登録する」
全削除	登録されている顔文字／記号をすべて削除します。

■コンテキストメニューを利用する場合

1 **ATOK Myコレユーティリティ画面で顔文字／記号をロングタッチ**

2

削除	顔文字／記号を削除します。
上に移動	顔文字／記号の一覧での表示位置を1つ上／1つ下／先頭／末尾に移動します。
下に移動	
先頭に移動	
末尾に移動	

※登録状況によって選択できる項目は異なります。

電話

電話をかける

1 ホーム画面→ →

電話番号入力画面が表示されます。



《電話番号入力画面》

① **画面切替タブ**
電話番号入力画面／通話履歴一覧画面／連絡先一覧画面に切り替えます。

② **電話番号入力欄**

③ **ダイヤルキー**
をロングタッチすると、お留守番サービスに電話をかけて、伝言･ボイスメールを再生します。
※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

④ **伝言メモキー**
伝言メモ設定を表示します。
ロングタッチすると、伝言メモのON／OFFを切り替えます。

⑤ **訂正キー**
入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除できます。

⑥ **発信キー**

⑦ **検索アイコン**
連絡先を検索します。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 →通話→

通話中に［◄ ☼］／［ ►］を押すと、通話音量（相手の声の大きさ）を調節できます。

memo

◎発信中／通話中に顔などが近接センサーに近づくと、誤作動を防止するため画面上のキーが非表示になります。

◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。

◎送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。

◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。

◎通話中に をタップするとダイヤルキー画面が表示されます。タップした番号のプッシュ信号を送信できます。
※送信するプッシュ信号の音は、本製品側では鳴りません。

マイクをOFFにするには

◎通話中に をタップすると、相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。もう一度 をタップすると元に戻ります。

ハンズフリーで通話するには

◎通話中に をタップすると、スピーカーから相手の声が聞こえるようになり、ハンズフリーで通話できます。もう一度 をタップすると元に戻ります。

◎ハンズフリーご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

■電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→≡

2

連絡先に追加	電話番号を連絡先に登録します。
発信者番号通知	電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。 ・「通知する」をタップすると、電話番号に「186」が付加されます。 ・「通知しない」をタップすると、電話番号に「184」が付加されます。
国際電話発信	国番号の一覧が表示されます。選択すると、「+」と国番号が入力されます。 ・国際電話については、「au電話から海外へかける（au国際電話サービス）」（▶P.71）、「グローバルパスポート」（▶P.212）をご参照ください。 ・国番号の一覧には、「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号設定」（▶P.216）で設定した一覧が表示されます。
2秒間の停止を追加	電話番号に「,」を付加します。 ・「,」の後に送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておくことで、プッシュ信号を自動的に送信できます。
待機を追加	電話番号に「;」を付加します。 ▶P.69「ポーズダイヤルで電話をかける」
設定	▶P.185「通話関連機能の設定をする」

※ 電話番号の入力状態によって表示される項目は異なります。

ポーズダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」をタップすると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例：「03-0001-XXXX（銀行の電話番号）」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号入力画面→電話番号を入力→≡→[待機を追加]

「;」（ポーズ）を入力できます。「;」（ポーズ）を含めて32桁まで入力できます。

2 送信するプッシュ信号を入力

店番号		「;」（ポーズ）		口座番号
22X	➡	≡→[待機を追加]	➡	123XX

※「;」（ポーズ）を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

電話

3

電話番号「030001XXXX」に電話がかかり、プッシュ信号（22X;123XX）を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

4 ［はい］

最初のプッシュ信号（22X）が送信され、2番目のプッシュ信号（123XX）を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

5 ［はい］

2番目のプッシュ信号（123XX）が送信されます。
プッシュ信号の送信が終わると通常の通話中画面に戻ります。

memo

◎ 電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

通話履歴を利用して電話をかける

通話履歴を呼び出して利用できます。

**1 ホーム画面→ → **

通話履歴一覧画面が表示されます。

① **電話番号**
電話番号と名前が連絡先に登録されている場合は、名前が表示されます。
発信番号が通知されなかった場合は、その理由が表示されます。
auのネットワークサービスを利用した場合は、そのサービス内容が表示されます。

② **発着信状態**
（緑）：発信履歴
（青）：通話着信
（赤）：不在着信



《通話履歴一覧画面》

③ **連絡先に登録されている画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます。電話番号が登録されていない場合や、画像が登録されていない場合は、 ／ が表示されます。

④ **全履歴表示アイコン**
すべての履歴が表示されます。

⑤ **発信アイコン**
タップすると発信します。

⑥ **発信履歴表示アイコン**
発信履歴が表示されます。

⑦ **着信履歴表示アイコン**
着信履歴が表示されます。

⑧ **検索アイコン**
連絡先を検索します。

2 電話番号または名前をタップ

通話履歴詳細画面が表示されます。

① **戻るアイコン**
通話履歴一覧画面に戻ります。

② **連絡先に登録されている画像と名前**
連絡先に登録されている画像と名前が表示されます。タップすると連絡先詳細画面が表示されます。
電話番号が登録されていない場合は、タップすると電話番号を連絡先に追加できます。

③ **XXXXXXXXXXに発信**
タップすると発信します。

④ **通話履歴詳細**

⑤ **SMSアイコン**
タップするとSMSを作成できます。



《通話履歴詳細画面》

3 「XXXXXXXXXXに発信」をタップ

■通話履歴のオプションメニューを利用する

■ 通話履歴一覧画面のオプションメニューの場合

1 通話履歴一覧画面→☰

2

通話履歴を全件消去	通話履歴をすべて削除します。
設定	▶P.185「通話関連機能の設定をする」

■ 通話履歴詳細画面のオプションメニューの場合

1 通話履歴詳細画面→☰

2

通話履歴から消去	通話履歴を削除します。
発信前に番号を編集	電話番号が入力された状態で電話番号入力画面が表示されます。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面でアクセス番号、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力→📞

国際アクセス番号※1	➡	国番号（アメリカ）	➡	市外局番※2	➡	相手の電話番号
001010または010		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「+」が入力されアクセス番号（001010）が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。（イタリア、モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります。）

memo

◎ 国際アクセス番号は国によって異なります。

◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

◎ 海外へ電話を転送できます。（▶P.200「海外の電話へ転送する」）

電話を受ける

1 着信中に画面の📞をタップ

画面ロック中に着信があった場合は📞をダブルタップします。

2 通話→[終話]

電話

memo

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグすると、着信のあった時間や電話番号または連絡先に登録されている名前などが通知パネルに表示されます。

着信時に着信音を消音にするには

◎着信中に［◄ ☼］／［ ►］を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎メールやブラウザなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。

◎音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

電話がかかってきた場合の表示について

◎相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。

「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信を拒否する

1 着信中に画面の をタップ

画面ロック中に着信があった場合は をダブルタップします。

着信音が止まって電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

memo

◎お留守番サービス※（▶P.204）を開始しているか、着信転送サービスの「無応答転送」（▶P.199）を設定している場合は、着信拒否をしても、お留守番サービス※または着信転送サービスが優先されます。

※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

着信中のメニューを利用する

1 着信中に ☰

2

伝言メモ	伝言メモで応答して、相手の方の伝言を録音できます。
着信転送	かかってきた電話に出ずに、「手動で転送する（選択転送）」（▶P.200）で登録した転送先の電話番号へ転送します。 ・国際ローミング中は、ご利用になれません。 ・お留守番サービスを設定している場合、転送先が登録されていないときはお留守番サービスに転送されます。 ※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

メール

Eメールを利用する

Eメールは、(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、『設定ガイド』および「初期設定を行う」(▶P.39)をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「グローバルパスポート(▶P.212)」をご参照ください。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。
◎Eメールの送受信は無線LAN(Wi-Fi®)通信で利用できますが、初期設定はLTE/3Gネットワークにて行ってください。

Eメールを送る

1 **ホーム画面→ [アプリ] →[Eメール]→[新規作成]**

送信メール作成画面が表示されます。

2 [アドレス帳アイコン]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3

アドレス帳引用	連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	グループに登録されている連絡先のEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を越えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すれば、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリをホーム画面→ [アプリ] →[auスマートパス]→[アプリ]と操作してダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	送信メール履歴/受信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスにチェックを付ける→[選択]** • [メニュー]→[削除]→Eメールアドレスにチェックを付ける→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを選択して宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

4 **件名入力欄をタップ→件名を入力**

件名は、全角50/半角100文字まで入力できます。

5 **本文入力欄をタップ→本文を入力→[完了]**

本文は、全角5,000/半角10,000文字まで入力できます。

6 **[送信]→[送信]**

memo

◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー(長音)゛(濁点)゜(半濁点)、。・「」』は入力できません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
◎送信時確認表示は非表示に設定することもできます。(▶P.92)

宛先を追加・削除する

宛先を追加／削除したり、宛先の種類(To／Cc／Bcc)を変更したりできます。

1 送信メール作成画面を表示

■ 宛先を追加する場合

2 未入力のアドレス入力欄の をタップ

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送る」(▶P.74)の操作3をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

2 入力済みのアドレスの × をタップ→[削除]

■ 宛先の種類を変更する場合

2 入力済みのアドレスの To をタップ

3

To	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Cc	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bcc	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。

memo

◎一番上の宛先は種類を変更することはできません。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→添付データ欄をタップ

2

ストレージ	ファイル種別を選択して、microSDメモリカードまたは内部ストレージのデータを添付します。内部ストレージのデータを添付する場合は、「Up」を複数回タップして「sdcard」フォルダを選択してください。
ギャラリー(静止画)	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	カメラで静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	カメラで動画を撮影して添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

memo

◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎データを添付したあとに、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。

添付データを削除する

1 送信メール作成画面→削除したいデータの ✕ をタップ

2 [削除]

絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[絵文字]

2 [D絵文字]／[ピクチャ]→[▲]

3

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ microSDメモリカードや内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [microSD]→[ダウンロード]

3

メニューリストから探す	auポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	本体メモリとmicroSDメモリカードに保存されているデコレーション絵文字を検索し、表示します。

本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます（デコレーションメール）。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

デコレーションメニューが表示されます。

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→ ⇦ ／ ⇨ で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。
☰→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置/効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDメモリカードや内部ストレージに保存された画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

◎本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
◎本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
◎「Eメールにデータを添付する」（▶P.75）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎Eメールの「サーバ転送」では、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したりフォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめ［auポータル］→［メニューリスト］と操作し、対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 ［速デコ］

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 ［確定］

■テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。

1 ホーム画面→ →［Eメール］→［テンプレート］

テンプレート一覧画面が表示されます。
→［ストレージから読み込み］と操作すると、本体メモリとmicroSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体に読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→［メール作成］

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面（▶P.74）→本文入力欄をタップ→

2

アドレス帳引用	連絡先の電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.92）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文の入力を終了します。

Eメールを受け取る

1 Eメールを受信すると

Eメールの受信が終了すると、ステータスバーに E が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

・ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ステータスバーを下向きにフリック/ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

4 フォルダを選択→受信したEメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに E が点灯し、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.91)を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。

◎「メール自動受信」(▶P.91)を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り E が点灯します。「新着メールを問い合わせて受信する」(▶P.78)操作を行い、Eメールを受信してください。

◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。

◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき全角約5,000文字/半角約10,000文字(約10KB)までです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。

◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 受信メール内容表示画面(▶P.82)を表示

■受信済みの添付データを再生する場合

2 添付データをタップ→[表示]

■未受信の添付データを受信して再生する場合

2 未受信の添付データをタップ

受信が開始されます。

3 受信した添付データをタップ→[表示]

memo

◎受信メール内容表示画面で添付データをタップ→[ストレージへ保存]と操作すると、添付データを本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存できます。

◎通常のEメール(テキストメール)では、添付データがメール内容表示画面にインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」のファイルです。

※データによっては、インライン再生されない場合があります。

◎デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」(▶P.91)を自動受信しないように設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面→ ▦ →[Eメール]→[新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

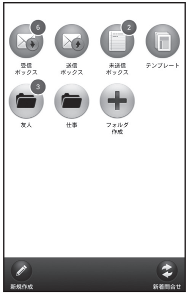
Eメールを確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面→ → [Eメール]

Eメールトップ画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。



《Eメールトップ画面》

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]またはフォルダをタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。
[返信]：返信のEメールを作成
[転送]：転送のEメールを作成
[保護]：Eメールを保護
[フラグ]：Eメールにフラグを付ける
：前のEメールを表示
：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]またはフォルダをタップ

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール内容表示画面が表示されます。
[保護]：Eメールを保護
[フラグ]：Eメールにフラグを付ける
：前のEメールを表示
：次のEメールを表示

- 「再送信」をタップすると同じEメールをもう一度送信できます。
- 「コピー編集」をタップするとコピーして編集できます。

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。

3 Eメールをタップ

未送信メール内容表示画面が表示されます。
[保護]：Eメールを保護
[フラグ]：Eメールにフラグを付ける
：前のEメールを表示
：次のEメールを表示

- 「編集」をタップすると編集できます。
- 保護されたEメールの場合は、「コピー編集」をタップするとコピーして編集できます。
- 宛先が入力されているEメールの場合は、「送信」をタップすると送信できます。

memo

◎宛先が不明で相手に届かなかった場合は、エラーメッセージを受信します。

◎Eメールトップ画面→☰→[au oneメール]→[au one メールTop]と操作すると、au one メールを利用できます。(▶P.97「au one メールを利用する」)

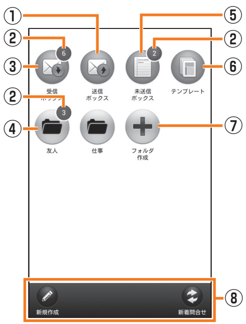
◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。

◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。

◎送信ボックス･未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、サーバに元のメールがなく転送に失敗したEメール、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。

■Eメールトップ画面の見かた

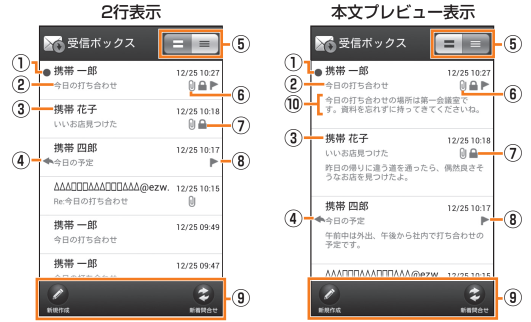
Eメールトップ画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



《Eメールトップ画面》

① 送信ボックス
② フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
③ 受信ボックス
④ フォルダ
⑤ 未送信ボックス
⑥ テンプレート
⑦ フォルダ作成
⑧ アクションバー

■Eメール一覧画面の見かた



《メール一覧画面(受信ボックス)》



《メール一覧画面(送信ボックス)》

2行表示　　本文プレビュー表示



《メール一覧画面（未送信ボックス）》

2行表示　　本文プレビュー表示



《メール一覧画面（フォルダ）》

① ●：未読のEメール
　○：本文を未受信のEメール
　⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール／送信に失敗したEメール／サーバに元のメールがなく（受信メール）、転送に失敗したメール

② 件名

③ 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス

　Eメールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。

　受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

　連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。

　※連絡先にEメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

④ （返信アイコン）：返信したEメール
　（転送アイコン）：転送したEメール
　（返信／転送アイコン）：返信／転送したEメール

⑤ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン

⑥ 添付データあり

⑦ 保護されたEメール

⑧ フラグあり

⑨ アクションバー

⑩ 本文

⑪ （返信アイコン）：返信のEメール
　（転送アイコン）：転送のEメール

⑫ 送信に失敗したEメール／サーバに元のメール（受信メール）がなく転送に失敗したEメール

⑬ 受信／送信切替スライダー

　フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

memo

◎横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■Eメール内容表示画面の見かた



《受信メール内容表示画面》



《送信メール内容表示画面》

① **送信メール**

To／CC／BCC：宛先の名前またはEメールアドレス

受信メール

From：差出人の名前またはEメールアドレス

To／CC：宛先の名前またはEメールアドレス

※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。⌄をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。

② ○：本文を未受信のEメール

⚠：サーバにメールがなく本文を受信できないEメール／送信に失敗したEメール／サーバに元のメールがなく（受信メール）、転送に失敗したメール

③ **送信メール**

返信アイコン：返信のEメール

転送アイコン：転送のEメール／転送したEメール

受信メール

返信アイコン：返信したEメール

転送アイコン：転送したEメール

返信／転送アイコン：返信／転送したEメール

④ Sub **：件名**

⑤ **添付アイコン：通常の添付データ（本体メモリ保存）**

添付アイコン：通常の添付データ（ストレージ保存）

添付アイコン：通常の添付データ（保存失敗）

添付アイコン：インライン添付データ（本体メモリ保存）

添付アイコン：インライン添付データ（ストレージ保存）

添付アイコン：未受信の添付データ

※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。⌄をタップすると、その他の添付データを表示できます。

⑥ **本文**

⑦ **次のEメール／前のEメールを表示**

※本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。

⑧ **添付データあり**

⑨ **フラグあり**

⑩ **保護されたEメール**

⑪ **アクションバー**

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面（▶P.80）／送信メール一覧画面（▶P.80）／未送信メール一覧画面（▶P.81）／検索結果一覧画面（▶P.90）→☰**

2

検索	▶P.89「Eメールを検索する」
移動	Eメールを移動します。 **移動したいEメールにチェックを付ける→［移動］→移動先のフォルダを選択** ・あらかじめフォルダを作成してください（▶P.87）。 ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。

削除	Eメールを削除します。 **削除したいEメールにチェックを付ける→[削除]→[削除]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 ・保護されたEメールは選択できません。	
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除したいEメールにチェックを付ける→[保護]／[解除]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 ・送信･未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。	
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付けたい／外したいEメールにチェックを付ける→[つける]／[解除]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
その他	ストレージへ保存	Eメールを本体メモリに保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合は、microSDメモリカードに保存します。 **コピーしたいEメールにチェックを付ける→[保存]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 ・保存したEメールは、Eメール設定メニューの「バックアップ･復元」で本体に読み込むことができます(▶P.94)。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.87「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信したいEメールにチェックを付ける→[受信]** ・「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.90「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面(▶P.80)／送信メール一覧画面(▶P.80)／未送信メール一覧画面(▶P.81)／検索結果一覧画面(▶P.90)→操作したいEメールをロングタッチ

2

返信	Eメールに返信します。 ・送信メール作成画面(▶P.74)が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 ・宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。	
全員に返信	同報されている全員に返信します。 ・送信メール作成画面(▶P.74)が表示されます。 ・宛先が複数ある場合のみ選択できます。	
転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面(▶P.74)が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。

転送	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.74）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
送信	未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。	
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.74）が表示されます。	
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面（▶P.74）が表示されます。	
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。	
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。	
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。	
削除	Eメールを削除します。	
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.87）。	
拒否リスト登録	差出人のEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.95「迷惑メールフィルターを設定する」	

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール内容表示画面でできること

1 **受信メール内容表示画面（▶P.82）／送信メール内容表示画面（▶P.82）→ ☰**

2

転送	本文転送	本文を転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面（▶P.74）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。
	サーバ転送	サーバに保存されているEメールを本文の最後に引用して転送します。 • 送信メール作成画面（▶P.74）が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • サーバにある元のEメール（受信メール）を転送するため、受信できなかった添付データもすべて転送されます。 • デコレーションメールはサーバ転送できません。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.87）。	
削除	Eメールを削除します。	

メール

本文選択		Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーしたい文字列の開始位置をタップする、または⇦／⇨でカーソルを移動→[選択開始]→⇦／⇨で選択範囲を指定→[コピー]** • 本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→／をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。
文字サイズ		本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール内容表示画面を閉じると、「受信･表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
その他	ストレージへ保存	EメールをEメールを本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存します。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ･復元」で本体に読み込むことができます（▶P.94）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール内容表示画面でのみ一時的に適用されます。

※画面により選択できる項目は異なります。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 受信メール内容表示画面（▶P.82）／送信メール内容表示画面（▶P.82）を表示

■ 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3

Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します。
アドレス帳登録	連絡先へ登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **[新規振分けフォルダ作成]／[「×××」（×××はフォルダ名）に追加]→[保存]** • ロックされたフォルダ（▶P.89）を選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.87「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.95「迷惑メールフィルターを設定する」

■ 件名をコピーする場合

2 件名を選択→[コピー]

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけ方については、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.99「SMSを送る」
アドレス帳登録	連絡先へ登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像をmicroSDメモリカードまたは本体メモリに保存できます。

1 受信メール内容表示画面（▶P.82）／送信メール内容表示画面（▶P.82）→本文をロングタッチ

2 ［画像保存］

3 保存したい画像にチェックを付ける

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 ［保存先選択］

保存先選択画面が表示されます。

5 保存先のフォルダを選択→［保存］

選択した画像が保存されます。

memo

◎保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
◎未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください（▶P.78）。

Eメールトップ画面でできること

1 Eメールトップ画面（▶P.79）→ ☰

2

検索	▶P.89「Eメールを検索する」	
フォルダ編集	▶P.87「フォルダを作成／編集する」	
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除したいフォルダにチェックを付ける→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護メールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護メールが残り、フォルダは削除されません。	
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。	
Eメール設定	▶P.90「Eメールを設定する」	
au one メール	au one メールTop	▶P.97「au one メールを利用する」
	au one メールへ自動保存	Eメール（@ezweb.ne.jp）で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存する設定をします。 **[Chrome]／[ブラウザ]→[次へ]→セキュリティパスワード入力欄をタップ→セキュリティパスワードを入力→[OK]→画面に従って設定する** • あらかじめau one メールの会員登録を行ってください（▶P.97）。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

■ フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成できます。

1 Eメールトップ画面（▶P.79）→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。



《フォルダ編集画面》

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ

4 アイコンを選択→[OK]→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 画面左上のフォルダアイコンをタップ→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]

■フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信/送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 Eメールトップ画面(▶P.79)→ ☰ →[フォルダ編集]→フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■振分け条件を追加する場合

2 [振分け条件追加]→ ▼

3

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • 👤をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • 👤をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

■アドレス帳登録外/不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」にチェックを付ける→[保存]

memo

◎振分け条件を設定/編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
◎全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
◎同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
◎「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある ⊗ をタップして、条件を編集したり削除することができます。
◎振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
◎一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス/ドメイン>2番目のメールアドレス/ドメイン>・・・>最後のメールアドレス/ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、LEDランプを設定できます。

1 Eメールトップ画面(▶P.79)→ ☰ →[フォルダ編集]→受信ボックス/フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3

着信音	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音を設定します。 **[OFF]／着信音を選択→[OK]→[OK]→[保存]**
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]→[OK]→[保存]**
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのLEDランプを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]→[OK]→[保存]**
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめEメール設定メニューの「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.90）。

1 **Eメールトップ画面（▶P.79）→ ☰ →[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダをタップ**

フォルダ編集画面が表示されます。

2 **[フォルダロック]→フォルダロックパスワード入力欄をタップ→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]**

「フォルダロック」にチェックが付きます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 **[保存]**

フォルダを並び替える

1 **Eメールトップ画面（▶P.79）→移動したいフォルダをロングタッチ**

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 **そのまま指を離さず、移動したい位置にドラッグ**

memo

◎「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」「テンプレート」は移動できません。

Eメールを検索する

1 **Eメールトップ画面（▶P.79）→ ☰ →[検索]**

受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックス／フォルダ内のEメールを検索するには、それぞれのEメール一覧画面→ ☰ →[検索]と操作します。

2 **キーワードを入力**

半角と全角を区別して入力してください。

3 🔍

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

Eメールトップ画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。



《検索結果一覧画面》

■検索結果を絞り込む場合

4 **[From]／[To]／[件名]／[本文]**

検索条件を差出人、宛先、件名、本文のいずれかに絞り込んで検索した結果が表示されます。

Eメールを設定する

1 **Eメールトップ画面（▶P.79）／受信メール一覧画面（▶P.80）／送信メール一覧画面（▶P.80）／未送信メール一覧画面（▶P.81）／検索結果一覧画面（▶P.90）→ ☰ →[その他]→[Eメール設定]**

Eメール設定メニューが表示されます。

Eメールトップ画面では「その他」は表示されません。



《Eメール設定メニュー》

2

受信·表示設定	▶P.91「受信·表示に関する設定をする」	
送信·作成設定	▶P.92「送信·作成に関する設定をする」	
通知設定	▶P.93「通知に関する設定をする」	
添付ファイル保存設定※	保存場所の設定	添付データの保存場所を設定します。 **本体メモリに保存**：本体メモリに保存する。 **ストレージに保存**：microSDメモリカードに保存する。 ※microSDメモリカードが挿入されていない場合は内部ストレージに保存されます。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付データを別のストレージにまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動**：本体メモリからmicroSDメモリカードへ移動する。 **本体メモリへ一括移動**：microSDメモリカードから本体メモリへ移動する。 ※microSDメモリカードが挿入されていない場合は内部ストレージに保存されます。
パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック解除パスワードを設定／変更します。 **入力欄をタップ→フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力→[OK]→入力欄をタップ→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→入力欄をタップ→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。

パスワード設定	パスワード設定／パスワード変更	• フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	フォルダロック解除パスワードをリセットします。 **入力欄をタップ→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック設定も解除されます。
アドレス変更･その他の設定	▶P.93「アドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ･復元	▶P.94「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。	

※受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信･再生する」(▶P.78)にてご確認ください。

受信･表示に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー→[受信･表示設定]

2

メール自動受信	サーバに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してOFFに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバに到着したことをお知らせします。	
メール受信方法	全受信	差出人･件名と本文を受信します。
	指定全受信	指定したアドレスからのEメールは、差出人･件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人･件名のみを受信します。 **アドレス帳**：連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人･件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト**：「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人･件名と本文を受信する。 **個別アドレスリスト編集**：個別アドレスを登録する。 • (icon)をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ※「貼り付け」はクリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除したいアドレスの(×)をタップ→[削除]と操作します。
	差出人･件名受信	差出人･件名のみを受信します。 • 受信メール一覧画面(▶P.80)で本文が未受信のEメールをタップすると、本文を取得できます。

メール受信方法	差出人・件名受信	本文未受信のままEメール内容表示画面が表示されたときは、☰→[その他]→[本文受信]→[本文取得]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。
添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてONに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。OFFに設定すると、添付データを別途取得します。	
添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」	
アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。	
文字サイズ	Eメール内容表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」	
テーマ設定	Eメールの画面表示のテーマを設定します。	

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール設定メニュー→[送信・作成設定]**

2

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→入力欄をタップ→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→入力欄をタップ→差出人名称(全角12／半角24文字まで)を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文(全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** ・冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名(全角1,250／半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** ・署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてONに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。
送信時確認表示	Eメール送信時に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定メニュー→[通知設定]

2

着信音	Eメール受信時の着信音を設定します。 **[OFF]／着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**
LED	Eメール受信時のLEDランプを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンと共に差出人・件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定メニュー→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2

Eメールアドレスの変更	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. [承諾する]** **3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力→[送信]→[OK]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター	▶P.95「迷惑メールフィルターを設定する」
オススメの設定はこちら	

メール

自動転送先	本製品で受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]** **2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[終了]** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。
閉じる	Eメール設定メニューに戻ります。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールをフォルダごとにmicro SDメモリカード(mnt/sdcard/external_sd/private/au/email/BU)にバックアップできます。ただし、microSDメモリカードが挿入されていない場合は内部ストレージ(/mnt/sdcard/private/au/email/BU)にバックアップされます。
バックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

• バックアップしたデータ(復元できるデータ)はmicroSDメモリカード、内部ストレージいずれからも読み込むことができます。

Eメールをバックアップする

1 Eメール設定メニュー(▶P.90)→[バックアップ・復元]

2 [バックアップ]

3 バックアップしたいフォルダにチェックを付ける→[OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

バックアップデータを復元する

1 Eメール設定メニュー(▶P.90)→[バックアップ・復元]

2 [メールを復元]

3 [受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]／[ストレージから探す]→[OK]

メール

4 **復元したいバックアップデータにチェックを付ける→[OK]**

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 **[追加保存]／[上書き保存]→[OK]**

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎添付ファイルはバックアップされません。
◎バックアップデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メール、ロックされたフォルダ内のEメールも削除されます。)、バックアップしたEメールを復元します。
◎復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得したり、復元したEメールを転送することはできません。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 **Eメール設定メニュー(▶P.90)→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]**

■ おすすめの設定にする場合

2 **[オススメの設定はこちら]→[登録]**

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 **[迷惑メールフィルター]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]**

3

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
個別設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのメールを一括で受信／拒否します。
	迷惑メールおまかせ規制	パソコンからメールについて迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	ウィルスメール規制	メールの添付ファイルがウィルスに感染している場合に受信規制を行います。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するかどうかを設定します。

指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをOFF（受信拒否）にしてください。 • 「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」を設定すると、「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信できます。
指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
アドレス帳受信設定	Friends Noteまたはauアドレス帳に登録したEメールアドレスからのメールを受信します。
設定確認／設定解除	迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行	▶P.97「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって	迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎ 迷惑メールフィルターは、次の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定>アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信＞迷惑メールおまかせ規制＞ウィルスメール規制
◎「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト（なりすまし･転送メール許可）に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話･PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれているドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」に登録してください。
※「指定受信リスト設定（なりすまし･転送メール許可）」でezweb.ne.jpやその一部を登録すると、すべてのメールを受信するためご注意ください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCからメールフィルター設定」にアクセスし、PC設定用ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
PC設定用ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとPC設定用ワンタイムパスワードは無効となります。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のWEBメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動保存したりできます。
また、PCメールでau one メールを利用することができます。
PCメールで利用する場合は、au oneメールの会員登録を行った後、次の設定を行う必要があります。

- au one メールのデスクトップ画面(▶P.98)→[設定]→[メール転送とPOP/IMAP設定]と操作し、「IMAPを有効にする」に設定する。
- au one メールのデスクトップ画面(▶P.98)→[設定]→[アカウント]→[Google アカウントの設定]→[メールパスワード設定]と操作し、メールパスワードを設定する。

memo

◎au one メールの機能や設定については、au one メールのデスクトップ画面(▶P.98)→[ヘルプ]と操作し、ヘルプの各項目をご参照ください。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、最初にau one メールの会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「@auone.jp」のアドレスを取得できます。
会員登録するにはau IDが必要です。「au IDを設定する」(▶P.40)をご参照ください。

1 Eメールトップ画面→☰→[au oneメール]→[au one メールTop]→[Chrome]/[ブラウザ]

2 au IDとパスワードを入力→[ログイン]

3 [保存しない]/[保存]/[今は保存しない]

会員登録画面が表示されます。
「保存しない」/「保存」をタップした場合、次回から確認画面が表示されなくなります。

4 画面に従って必要項目を入力し、利用規約を読む

5 [規約に同意して登録する]

登録内容の確認画面が表示されます。

6 [上記の内容で登録する]

会員登録が完了します。

memo

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。
◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

会員登録後は次の操作でau one メールを確認できます。

1 Eメールトップ画面→ ☰ →[au oneメール]→[au one メールTop]

au one メールのデスクトップ画面(受信トレイ)が表示されます。

2 「au one メール 表示:」の「標準」をタップ

受信トレイがディスプレイに合わせた表示形式で表示されます。
「デスクトップ」をタップすると、デスクトップ画面に戻ります。

■au one メールの機能について

機能	説明
メール検索	入力されたキーワードをもとに、差出人名や件名、メール本文などから対象となるメールを検索できます。
メール送信	新規メールを作成して送信します。返信や転送もできます。
メール受信	受信したメールは、スレッド(最初のメールへの返信)単位で表示されます。重要なメールにスター(星印)を付けて保存したり、ラベルを付けることでメールやスレッドの分類ができます。
au one メールへ自動保存機能	Eメール(@ezweb.ne.jp)で送受信したEメールをau one メールに自動的に保存できます(▶P.87)。

メール

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送る

漢字･ひらがな･カタカナ･英数字･記号･絵文字･顔文字のメッセージ（SMS本文）を送信できます。送信完了時には、相手の方にSMSが届いたかどうかが分かります。
海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

「010」+「国番号」+「相手先電話番号」

※連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。
※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

1 ホーム画面→ →[SMS]→[新規作成]

SMS作成画面が表示されます。

2

「宛先を入力」欄をタップして電話番号を直接入力することもできます。

3

アドレス帳引用	連絡先を選択して電話番号を宛先に入力します。
送信履歴引用	送信履歴の一覧から電話番号を選択して宛先に入力します。
受信履歴引用	受信履歴の一覧から電話番号を選択して宛先に入力します。

4 「メッセージを入力」欄に本文を入力

メッセージは全角最大70／半角最大160文字まで送信できます。

5 [送信]

memo

◎SMS作成画面で「保存」をタップすると、SMSを送信せずに送信ボックスに保存できます。
◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信できませんでした」と表示される場合があります。
◎国際SMSの詳細については、auホームページをご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/kokusai_sms/index.html

SMSを受け取る

1 SMSを受信すると

SMSの受信を完了すると、ステータスバーに SMS が表示され、通知音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 電話番号または名前をタップ

受信メール一覧画面が表示されます。
未読のSMSが複数あるときは「新着メッセージ（×件）」と表示されます。

4 受信したSMSをタップ

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎本体メモリの空き容量がなくなるとSMSを受信できなくなります。SMSを受信できない場合は、保存しているSMSを削除するなどして、本体メモリの空き容量を増やしてください。
◎SMSの受信料は、無料です。
◎受信したSMSの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを確認する

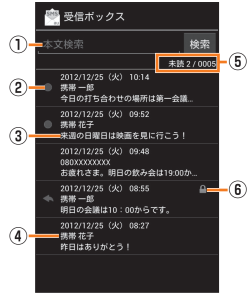
受信したSMSは、受信ボックスに保存されます。送信済みのSMSや送信せずに保存したSMSは、送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面→ [アプリ] →[SMS]

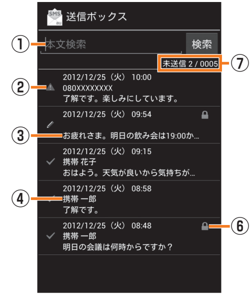
SMSメニュー画面が表示されます。

- 受信ボックスに未読メールがある場合は、右側に合計の件数が表示されます。
- 送信ボックスに未送信メールや送信に失敗したメールがある場合は、右側に合計の件数が表示されます。

2 ［受信ボックス］／［送信ボックス］



《受信メール一覧画面》



《送信メール一覧画面》

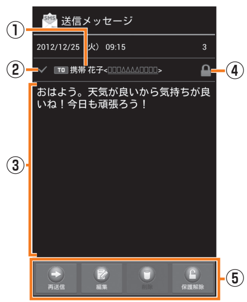
① 本文検索欄
キーワードを入力して「検索」をタップすると、SMSの本文を検索できます。検索結果は、日時が新しい順に表示されます。

② :未読のSMS
:返信したSMS
:送達確認済みのSMS
:未送信のSMS
:送信に失敗したSMS
③ 本文プレビュー
④ 宛先／差出人の名前または電話番号
電話番号が連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
⑤ 未読メール件数／受信ボックス内のメール件数
⑥ 保護されたSMS
⑦ 未送信・送信失敗メール件数／送信ボックス内のメール件数

2 SMSを選択



《受信メール内容表示画面》



《送信メール内容表示画面》

① 宛先／差出人の電話番号または名前と電話番号
電話番号が連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
② :返信したSMS
:送達確認済みのSMS
:未送信のSMS
:送信に失敗したSMS
③ 本文
本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することができます。
④ 保護されたSMS
⑤ アクションバー

memo

◎ メール受信件数が上限（1,000件）を超えると、既読、未読の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。本体（システム）の空き容量が不足すると、上限に達していない場合でも自動的に削除されます。
◎ メール送信件数が上限（1,000件）を超えると、送信済み、送信失敗、未送信の順で古いメールから自動的に削除されます。その際、保護メールは自動削除の対象外です。

SMS一覧表示画面のメニューを利用する

1 SMSメニュー画面→［受信ボックス］／［送信ボックス］

■ オプションメニューの場合

2 ☰

3

設定	▶P.102「SMSを設定する」
削除	SMSを選択削除／全件削除します。

■ コンテキストメニューの場合

2 SMSをロングタッチ

3

アドレス帳へ登録	連絡先に電話番号を登録します。
音声電話	SMSの差出人に電話をかけます。
受信フィルター登録	受信フィルターの指定番号リストに電話番号を登録します。
送達結果情報表示	送達結果を表示します。

※画面により選択できる項目は異なります。

SMS内容表示画面の操作

1 SMSメニュー画面→[受信ボックス]／[送信ボックス]→SMSをタップ

2

返信	返信のSMSを作成します。
送信	未送信のSMSを送信します。
再送信	送信済み／送信に失敗したSMSを再送信します。
編集	SMSを編集して送信します。
削除	SMSを削除します。
保護／保護解除	SMSを保護／保護解除します。 • 受信ボックス／送信ボックスのメールは、それぞれ500件まで保護できます。

※表示しているSMSにより選択できる項目は異なります。

■差出人／宛先／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 SMSメニュー画面→[受信ボックス]／[送信ボックス]→SMSをタップ

■差出人／宛先／本文中の電話番号にSMSを送信／電話をかける場合

2 差出人／宛先／本文中の電話番号をタップ

3 [SMS]／[電話]

■差出人／宛先／本文中の電話番号を連絡先に登録する場合

2 差出人／宛先／本文中の電話番号をロングタッチ

3 [新しい連絡先を作成]／電話番号を追加する連絡先をタップ

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 Eメールを作成

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

memo

◎本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります。

SMSを設定する

1 SMSメニュー画面→[SMS設定]

2

通知設定	SMS受信時に通知アイコン、着信音、バイブレータ、LEDでお知らせするかどうかを設定します。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。
バイブレーション	SMS受信時のバイブレータの動作を設定します。
LED	SMS受信時にLEDを点灯するかどうかを設定します。

項目		説明
文字サイズ		SMS作成画面／SMS内容表示画面の本文の文字サイズを設定します。
署名		SMSの新規作成時に、本文に署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集		署名の内容を編集します。
受信フィルター	指定番号	指定番号リストに登録した電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。
	指定番号リスト	指定番号リストを表示します。 •「指定番号を入力」欄をタップ→電話番号を入力→[追加]と操作すると、電話番号を登録できます。 • をタップすると、連絡先／送信履歴／受信履歴から電話番号を選択して入力できます。 • [削除]→削除したい電話番号にチェックを付ける→[削除]→[はい]と操作すると、指定番号リストから電話番号を削除できます。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。 • 受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信したことになります。送信料もかかります。
	アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。
送達確認		相手の方にSMSが届いたかどうかを、メッセージやアイコンで確認するかどうかを設定します。 •「確認する」を選択した場合は、確認方法を選択します。 **送信画面／送信ボックス**：送信が完了すると、相手の方にSMSが届いた旨のメッセージが表示され、送信ボックスに送達確認のアイコンが表示される。 **送信ボックス**：送信ボックスに送達確認のアイコンが表示される。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

memo

◎ SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎ 機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ ブロック対象のSMSは、通常のSMS（ぷりペイド送信含む）です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX（伝言お知らせ）※、待ちうた情報お知らせサービスは対象外です。
※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

操作	方法
設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※設定時のSMS送信は無料です。
※設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示され、送信はされません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを設定すると、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます。

memo

◎ PCメールを利用するには、パケット通信接続または無線LAN（Wi-Fi®）通信接続が必要です。

メールアカウントを登録する

PCメールを利用してメールを送受信するには、メールアカウントを設定する必要があります。

1 ホーム画面→ [アイコン] →[PCメール]

初めてPCメールを起動したときはメールアカウントの登録画面が表示されます。

2 「メールアドレス」欄にメールアドレスを入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[次へ]

メールサーバを自動的に設定します。

メールサーバが自動的に設定されない場合、または「手動セットアップ」をタップした場合は、ユーザー名やメールサーバを設定する必要があります。詳しくは、「手動でメールアカウントを登録する」（▶P.104）をご参照ください。

4 受信トレイを確認する頻度などを設定→[次へ]

設定は後で変更できます。（▶P.105「メールアカウントの設定を変更する」）

5 「このアカウントに名前を付ける」欄にアカウント名を入力

省略した場合は、メールアドレスがアカウント名になります。

6 「あなたの名前」欄をタップ→名前を入力→[次へ]

「あなたの名前」に入力した名前は、このメールアカウントでメールを送信する際、差出人欄に表示される名前になります。

memo

◎ 2件目以降のアカウントを登録する場合は、[メニュー]→[設定]→[アカウントを追加]と操作してください。

手動でメールアカウントを登録する

メールサーバが自動的に設定されない場合や、手動でメールアカウントを設定する場合は、メールサーバの情報を設定します。

memo

◎ あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面→ [アイコン] →[PCメール]

初めてPCメールを起動したときはメールアカウントの登録画面が表示されます。

2 「メールアドレス」欄にメールアドレスを入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[手動セットアップ]

アカウントの種類を「POP3」「IMAP」「Exchange」から選択します。

au one メールを利用する場合は、「IMAP」をタップします。

ここでは、POP3／IMAPのアカウントを登録する場合について説明します。

4 [POP3]／[IMAP]→受信サーバの設定をする

ユーザー名	あらかじめ入力したメールアドレスのユーザー名が、自動的に入力されています。必要に応じて変更してください。
パスワード	あらかじめ入力したパスワードが、自動的に入力されています。必要に応じて変更してください。
POP3サーバー※1	あらかじめ入力したメールアドレスのサーバ名が、自動的に入力されています。必要に応じて変更してください。
IMAPサーバー※2	
ポート	必要に応じてポート番号を変更します。
セキュリティの種類	セキュリティの種類を選択します。 • セキュリティの種類を選択すると、ポート番号が自動的に変更されます。
サーバーからメールを削除※1	受信したメールをPOP3サーバに残すかどうかを設定します。
IMAPパスのプレフィックス※2	必要な場合に入力します。

※1 POP3のアカウントを登録する場合に表示されます。
※2 IMAPのアカウントを登録する場合に表示されます。

5 [次へ]→送信サーバの設定をする

SMTPサーバー	あらかじめ入力したメールアドレスのサーバ名が、自動的に入力されています。必要に応じて変更してください。
ポート	必要に応じてポート番号を変更します。
セキュリティの種類	セキュリティの種類を選択します。 • セキュリティの種類を選択すると、ポート番号が自動的に変更されます。
ログインが必要	メールの送信時にログインが必要かどうかを設定します。
ユーザー名	あらかじめ入力したメールアドレスのユーザー名が、自動的に入力されています。必要に応じて変更してください。
パスワード	あらかじめ入力したパスワードが、自動的に入力されています。必要に応じて変更してください。

6 [次へ]→受信トレイを確認する頻度などを設定する

設定は後で変更できます。（▶P.105「メールアカウントの設定を変更する」）

7 [次へ]→アカウント名などを設定する

このアカウントに名前を付ける	省略した場合は、メールアドレスが設定されます。
あなたの名前	このメールアカウントでメールを送信する際、差出人欄に表示する名前を入力します。

8 [次へ]

受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎LTE NET／LTE NET for DATAを使用する場合、送信メールサーバのポート番号を25番に設定しているとメールを送信できません。送信メールサーバの設定について詳しくは、ご利用のサービスプロバイダへお問い合わせください。

◎新着メール自動確認の設定によっては、通信の頻度が高くなり、使用時間が短くなります。

◎POP3サーバを利用してメールを受信する場合、ご利用のプロバイダによっては本製品に保存されたメールが消える場合があります。Gmail 、au oneメールをPCメールで受信する場合は、IMAPサーバを利用してください。

メールアカウントの設定を変更する

1 設定を変更するメールアカウントの受信トレイを表示

「受信トレイを表示する」（▶P.106）をご参照ください。

2 ▤→[設定]→アカウントをタップ

3

アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	名前を設定します。
署名	メール作成時に本文にあらかじめ入力される署名を設定します。
クイック返信	クイック返信のメッセージを編集します。
優先アカウントにする	統合受信トレイからメールを新規作成した場合などに、優先して利用されるメールアカウントにするかどうかを設定します。
受信トレイの確認頻度	新着メールの自動確認を、何分ごとに行うかを設定します。 ・新着メールの自動確認を設定すると、擬似的にメールを自動受信できますが、従量制データ通信をご利用の場合、メールを確認するたびに料金がかかります。
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi®接続時に最近のメールの添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
メール着信通知	新着のメールを受信したとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	新着のメールを受信したときの着信音を設定します。
バイブレーション	新着のメールを受信したとき、バイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。
受信設定	受信サーバの設定をします。
送信設定	送信サーバの設定をします。
アカウントを削除	アカウントを削除します。 ・本製品に保存されたメールなども削除されます。

受信トレイを表示する

1 ホーム画面→ [アプリ] →[PCメール]

受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎ [メニュー]→[設定]と操作すると、アカウント一覧画面が表示されます。
アカウント一覧画面でメールアカウントをタップすると、タップしたメールアカウントの受信トレイが表示されます。
複数のメールアカウントを登録している場合、受信トレイ画面上部のアカウント名をタップ→[統合ビュー]と操作すると、登録されているすべてのアカウントの受信メールが表示されます。

メールを送る

memo

◎ 複数のメールアカウントを登録している場合は、メールの送信に利用するメールアカウントの受信トレイを表示してから操作してください。（▶P.106「受信トレイを表示する」のmemo）
◎ 複数のメールアカウントを登録していて、受信トレイ画面が「総合ビュー」で表示されている場合は、アカウントの設定で「優先アカウントにする」が有効なメールアカウントが送信に利用されます。

1 受信トレイ画面→ [新規作成]

メール作成画面が表示されます。

2 「To」欄に相手のメールアドレスを入力

CcやBccを追加する場合は、[メニュー]→[Cc/Bccを追加]と操作します。

3 「件名」欄をタップ→件名を入力

メール

4 「メールを作成します」欄をタップ→本文を入力

ファイルを添付する場合は、☰→[ファイルを添付]と操作し、ファイルを選択します。

5 ➤

memo

◎送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「パソコンからの受信拒否」の設定をしているとメールが届きません。

メールを受け取る

1 メールを受信すると

メールの受信を完了すると、ステータスバーに✉が表示され、通知音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 読みたいメールをタップ

メールの内容が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「受信トレイの確認頻度」(▶P.106)を「自動確認しない」に設定している場合や、メールの受信に失敗した場合は、受信トレイを更新することでメールを受信することができます。

1 受信トレイ画面→🔄

2 読みたいメールをタップ

メールの内容が表示されます。

メールを返信／転送する

1 受信トレイ画面→メールをタップ

メールの内容が表示されます。

2 ↩

返信画面が表示されます。

全員に返信／転送する場合は、画面左上の「返信」をタップ→[全員に返信]／[転送]と操作してください。

3 メールを作成→➤

Gmail™を利用する

Gmail とは、Google が提供するメールサービスです。本製品からGmail の確認・送受信などができます。

- Gmail の利用にはGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.40)をご参照ください。
- Gmail の連絡先は、本製品の連絡先と同期します。
- 利用方法などの詳細については、Google のホームページをご参照ください。

Gmail を起動する

1 ホーム画面→ →[Gmail]

アカウント設定したGmail の受信トレイ画面が表示されます。

- →[ラベルの設定]と操作すると、同期と通知設定画面が表示されます。
- をタップすると、受信トレイや送信トレイなどが一覧できるラベル画面が表示されます。

Gmail を送る

1 受信トレイ画面→

メール作成画面が表示されます。

2 「To」欄をタップ→宛先を入力

3 「件名」欄をタップ→件名を入力

4 「メールを作成」欄をタップ→本文を入力

5

memo

◎Gmail で送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「パソコンからの受信拒否」を設定していると、メールが届きません。

◎送信済みのメールを表示するには、受信トレイ画面→ →[送信済みメール]と操作してください。

◎操作5で →[下書き保存]と操作すると、メールは下書きとして保存されます。下書きのメールを表示するには、受信トレイ画面→ →[下書き]と操作してください。

Gmail を受け取る

1 Gmail を受信すると

Gmail を受信すると、ステータスバーに が表示され、通知音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにフリック/ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 読みたいメールをタップ

メールの内容が表示されます。

memo

◎受信トレイ画面→ と操作すると、Gmail のサーバと同期して、新着メールを受信できます。

Gmail を返信／転送する

1 返信したいメールに表示されている をタップ

返信画面が表示されます。
全員に返信／転送する場合は、画面左上の「返信」をタップ→[全員に返信]／[転送]と操作してください。

2 メールを作成→

インターネット

インターネットに接続する

本製品では、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信（LTE NET、LTE NET for DATA）（▶P.112「パケット通信を利用する」）
- Wi-Fi®（▶P.173「Wi-Fi®を利用する」）

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→ ▦ →［設定］→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→［モバイルネットワーク］→［auネットワーク設定］→［高度な設定］→［接続モード］→［LTE NET for DATA］と操作してください。

memo

◎最大通信速度受信75Mbps／送信25Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。
※ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。

◎LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogle サービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額になることがありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

WEBページを表示する

1 ホーム画面→ →[ブラウザ]

auポータルが表示されます。

memo

◎非常に大きなWEBページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

ブラウザ画面での基本操作

◎次の操作ができます。

- タップ:リンクやキーを選択･実行できます。
- スライド/フリック:画面をスクロールできます。
- ピンチアウト/ピンチイン:画面を拡大/縮小できます。
- ダブルタップ:タップした位置をズームイン/ズームアウトできます。

※WEBページによっては操作できない場合があります。

URL表示欄を利用する

キーワードを入力してウェブサイトの情報を検索したり、URLを入力してサイトを表示したりできます。

URL表示欄



《ブラウザ画面》

1 ブラウザ画面でWEBページの先頭を表示中に、画面を下向きにフリック/ドラッグ

URL表示欄が表示されます。

- をタップすると、ブックマーク画面が表示されます。
- をタップすると、現在開いているタブの一覧が表示されます。

2 URL表示欄をタップ

- をタップすると、表示中のWEBページを再読み込みします。
- をタップすると、Google 音声検索を利用できます。

3 URL表示欄にキーワード/URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

4 一覧表示から項目をタップ/キーボードの 実行

ブラウザ画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 ブラウザ画面→

2

再読み込み	表示中のWEBページを再読み込みします。
停止	WEBページの読み込みを中止します。
進む	をタップして前のWEBページを表示している場合に、次のページに進みます。
ブックマーク	▶P.114「ブックマーク/履歴/保存したページを利用する」
ブックマークを保存	表示中のWEBページをブックマークに保存します。
ページを共有	表示しているWEBページのURLをBluetooth® 機能やメール添付などで送信できます。
ページ内を検索	表示しているWEBページ内でテキストを検索します。
PC版サイトを表示	PC版のウェブサイトを表示するかどうかを設定します。
オフラインで読めるよう保存	表示中のWEBページを保存します。
ダウンロード一覧	ダウンロード一覧画面を表示します。
設定	▶P.115「ブラウザを設定する」

※表示している画面によっては、操作できない場合があります。

■コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンク/画像をロングタッチ

2

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいタブで開く	選択したリンク先を新しいタブで表示します。
リンクを保存	選択したリンク先を本体メモリ/microSDメモリカードに保存します。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
テキストを選択してコピー	WEBページの文字列をコピーします
画像を保存	選択した画像を本体メモリ/microSDメモリカードに保存します。
画像を表示	選択した画像を表示します。
壁紙として設定	選択した画像を壁紙に設定します。 • 壁紙に設定した画像は保存されないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を利用することもできません。
メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
コピー	選択したメールアドレスや電話番号などの情報をコピーします。
発信...	選択した電話番号に電話をかけたり、SMSを送信したりします。
連絡先を追加	選択した電話番号を連絡先に登録します。
地図	選択した位置情報の地図を表示します。

※表示している画面によっては、操作できない場合があります。

ブックマーク/履歴/保存したページを利用する

ブックマークや履歴を表示して、ブックマークや履歴のWEBページにアクセスできます。また、保存したWEBページを表示できます。

1 ブラウザ画面→ ☰ →[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

■ブックマークのWEBページを表示する場合

2 ブックマークをタップ

■履歴のWEBページを表示する場合

2 [履歴]→履歴のグループをタップ→履歴をタップ

■保存したWEBページを表示する場合

2 [保存したページ]→保存したページをタップ

memo

◎履歴の☆/★をタップすると、履歴をブックマークに登録/削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のWEBページをブックマークに登録します。

1 ブラウザ画面→ ☰ →[ブックマークを保存]→[OK]

ブラウザを設定する

1 ブラウザ画面→ ☰ →[設定]

ブラウザ設定画面が表示されます。

2

全般	ホームページを設定	ブラウザを起動したときや、新しいウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。
	フォームの自動入力	WEBページの入力欄をタップして登録したテキストを自動入力するかどうかを設定します。
	自動入力テキスト	入力欄に自動入力するテキストを設定します。
プライバシーとセキュリティ	キャッシュを消去	サイトの閲覧時に保存したページデータ（キャッシュ）を削除します。
	履歴消去	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
	セキュリティ警告	サイトの安全性に問題があるときに警告を表示するかどうかを設定します。
	Cookieを受け入れる	サイトによるCookieの保存と読み取りを許可するかどうかを設定します。
	Cookieをすべて消去	本製品に保存されているCookieをすべて削除します。
プライバシーとセキュリティ	フォームデータを保存	サイトの閲覧中に入力したフォームデータを保存するかどうかを設定します。
	フォームデータを消去	本製品に保存されているフォームデータをすべて削除します。
	位置情報を有効にする	位置情報のアクセスを許可するかどうかを設定します。
	位置情報アクセスをクリア	サイトからの位置情報アクセスをすべて削除します。
	パスワードを保存	サイトの閲覧中に入力したユーザー名とパスワードを保存するかどうかを設定します。
	パスワードを消去	本製品に保存されているサイトのユーザー名とパスワードをすべて削除します。
ユーザー補助	拡大縮小設定の上書き	ウェブサイトの設定にかかわらず表示を拡大縮小するかどうかを設定します。
	テキストの拡大縮小	ブラウザ画面に表示される文字サイズを設定します。
	ダブルタップでズーム	ダブルタップで表示を拡大する倍率を設定します。
	最小フォントサイズ	最小の文字サイズを設定します。
	反転レンダリング	画面の表示を白黒反転させるかどうかを設定します。
	コントラスト	「反転レンダリング」を有効にした場合のコントラストを設定します。

高度な設定	検索エンジンの設定	検索時に利用する検索エンジンを選択します。
	バックグラウンドで開く	リンクを新しいウィンドウで開くとき、現在表示しているウィンドウのバックグラウンドで開くかどうかを設定します。
	JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
	プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。
	ウェブサイト設定	各サイトごとに、位置情報アクセスやダウンロードしたデータを削除します。 • 選択したサイトによっては、操作できない場合があります。
	デフォルトの倍率	ブラウザ画面を表示したときのWEBページの倍率を設定します。
	ページを全体表示で開く	新しく開いたWEBページを全体表示するかどうかを設定します。
	ページの自動調整	画面に合わせてWEBページの表示やサイズを自動調整するかどうかを設定します。
	ポップアップをブロック	ポップアップウィンドウの表示をブロックするかどうかを設定します。
	テキストエンコード	文字コードを変更します。
	初期設定にリセット	ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 • ブックマークや履歴、キャッシュなどの本製品に保存されたデータは削除されません。
帯域幅の管理	検索結果のプリロード	検索結果をあらかじめバックグラウンドで読み込むかどうかを設定します。
	ビデオプリロード	ビデオをあらかじめバックグラウンドで読み込むかどうかを設定します。
	画像の読み込み	WEBページの画像を表示するかどうかを設定します。
Labs	クイックコントロール	画面の右端または左端にタッチすることでクイックコントロールを表示するかどうかを設定します。
	全画面	ステータスバーを非表示にするかどうかを設定します。
	スライド操作によるタブ切替え	画面の右端または左端から中央に向かってスライドすることで、タブを切り替えるかどうかを設定します。
	WebGL	WebGLで三次元のグラフィックスを表示するかどうかを設定します。

ツール・アプリケーション

ユーザーを利用する

memo

◎ユーザーに登録された連絡先の電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎Google アカウントが登録されていない場合は、初回起動時にGoogle アカウントの登録を促す画面が表示されます。
「既存のアカウント」／「新しいアカウント」をタップした場合は、アカウントの登録後、連絡先一覧画面が表示されます。
「今は設定しない」をタップした場合は、次のメニューが表示されます。

新しい連絡先を作成	「ローカルに保存」をタップすると、連絡先編集画面が表示されます。この場合、連絡先はオンラインでバックアップされず、本体メモリのみに保存されます。「アカウントを追加」をタップすると、アカウントを追加できます。追加が完了すると、連絡先編集画面が表示されます。
アカウントにログイン	登録先のアカウントを追加します。追加が完了すると、連絡先一覧画面が表示されます。
連絡先のインポート／エクスポート	▶P.119「連絡先をインポート／エクスポートする」

連絡先を登録する

1 ホーム画面→ ▦ →[ユーザー]→ ＋

連絡先編集画面が表示されます。
登録先のアカウントを選択する画面が表示された場合は、タップして選択してください。

2 必要な項目を入力→[完了]

memo

◎連絡先編集画面で項目を入力した後、「新しく追加」をタップすると、同じ項目を追加できます。 ☒ をタップすると、項目を削除できます。

連絡先編集画面のオプションメニューを利用する

1 連絡先編集画面→ ☰

2

分割	連絡先を分割します。 ・「分割」は、統合された連絡先の編集中のみ選択できます。
統合	連絡先を選択して統合します。
破棄	編集内容を破棄して連絡先画面に戻ります。

プロフィールを編集する

ご自分の名前や住所、電話番号などの情報を登録できます。

1 ホーム画面→ ▦ →[ユーザー]→[プロフィールを設定]

プロフィール画面が表示されます。

2 必要な項目を入力→[完了]

memo

◎ホーム画面→ ▦ →[ユーザー]→プロフィールをタップ→ ☰ →[共有]と操作すると、プロフィールをBluetooth®機能や、赤外線、メール添付などで送信できます。

連絡先の登録内容を利用する

1 ホーム画面→ →[ユーザー]

連絡先一覧画面が表示されます。

① **画面切替タブ**
グループ一覧画面／連絡先一覧画面／お気に入り一覧画面に切り替えます。

② **プロフィール**
タップすると、プロフィールの登録内容が表示されます。

③ **連絡先一覧**
タップすると、連絡先詳細画面が表示されます。

④ **検索アイコン**
連絡先を検索します。

⑤ **スライダー**
上下にドラッグすると、連絡先の一覧がスクロールします。



《連絡先一覧画面》

⑥ **画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます。画像が登録されていない場合は、が表示されます。

⑦ **連絡先追加アイコン**
連絡先編集画面を表示して、連絡先を追加できます。

2 連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

① **画像**
連絡先に画像が登録されている場合は、画像が表示されます。

② **登録項目**
登録内容をタップすると、登録項目に対応したアプリケーションが起動して、電話をかけたり、メールを作成することなどができます。

③ **お気に入りアイコン**
連絡先をお気に入りに登録します。

④ **SMSアイコン**
表示されている電話番号に宛てたSMSを作成できます。



《連絡先詳細画面》

連絡先をインポート／エクスポートする

1 連絡先一覧画面→ →[インポート／エクスポート]

2

ストレージからインポート※	本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存されている連絡先のvCardファイルを読み込みます。
ストレージにエクスポート※	すべての連絡先をvCardファイルとしてmicroSDメモリカードに保存します。
表示可能な連絡先を共有	連絡先をBluetooth®機能やメール添付などで送信します。

※microSDメモリカードが取り付けられていない場合は、ご利用になれません。

連絡先のメニューを利用する

■ 連絡先一覧画面のオプションメニューを利用する

1 連絡先一覧画面→ ☰

2

表示する連絡先	表示する連絡先を設定します。 • 「カスタマイズ」をタップすると、連絡先のグループごとに表示するかどうかを設定できます。
インポート/エクスポート	▶P.119「連絡先をインポート/エクスポートする」
アカウント	▶P.190「アカウントと同期を設定する」
Eメール作成	連絡先に登録されているEメールアドレスを選択して、メールを作成できます。

■ 連絡先詳細画面のオプションメニューを利用する

1 連絡先詳細画面→ ☰

2

編集	連絡先を編集します。
共有	連絡先をBluetooth®機能やメール添付などで送信します。
削除	連絡先を削除します。
着信音を設定	連絡先から着信があった場合の着信音を変更できます。
着信ランプを設定	連絡先から着信があった場合のLEDランプの点灯色を設定します。

グループを設定する

グループを追加する

1 連絡先一覧画面→ [グループ]

グループ一覧画面が表示されます。

2 ＋

グループ編集画面が表示されます。

登録先のアカウントを選択する画面が表示された場合は、タップして選択してください。

3 「グループの名前」欄に名前を入力→[完了]

memo

◎ グループ一覧画面→グループ名をロングタッチ→[Eメール作成]と操作すると、グループの連絡先に登録されているEメールアドレスを選択してメールを作成できます。

グループに連絡先を追加する

1 連絡先一覧画面→ [グループ]

グループ一覧画面が表示されます。

2 グループをタップ→ ☰ →[編集]

グループ編集画面が表示されます。

3 「名前を入力」欄をタップ→連絡先の名前を入力

該当する連絡先がある場合は、「名前を入力」欄の下に表示されます。

4 表示された連絡先をタップ

連絡先がグループに追加されます。

☒ をタップするとグループから削除できます。

5 [完了]

memo

◎ 登録先のアカウントが異なる連絡先をグループに追加することはできません。

◎ 連絡先編集画面でグループを登録しても、グループに追加することができます。

お気に入りに連絡先を登録する

1 **連絡先一覧画面→お気に入りに登録したい連絡先をタップ**

連絡先詳細画面が表示されます。

2 **グレーの★をタップ**

memo

◎お気に入りに登録されている連絡先の場合は連絡先詳細画面に黄色の★が表示され、★をタップするとお気に入りから削除できます。

◎連絡先一覧画面→★と操作すると、お気に入り一覧画面が表示されます。

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- microSDメモリカードの状態によっては、動画を正常に撮影できない場合や、データ再生時に音声の音飛びや映像のコマ落ちなどが発生し、正常に再生できない場合があります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 動画の撮影中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。

- 本製品で撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。
- 次のような被写体の撮影ではピントが合いにくいため、「オートフォーカス」を「AF OFF」に設定して撮影することをおすすめします。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・本製品からの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
  - ・本製品を右から左、あるいは左から右へと振りながら撮影するとき
- 撮影ライトを目に近付けて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、静止画の撮影時にシャッター音が鳴ります。動画の撮影時も、撮影開始時、終了時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- 静止画撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画の撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、カメラを使用中に本体が温かくなるとアプリが終了する場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 被写体によっては、オートフォーカス動作中に、うすい縞模様が入ることがありますが、保存する画像には影響ありません。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた画像などになる可能性があります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 静止画撮影画面／動画撮影画面を切り替えたり、設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- カメラ起動後、撮影できる状態になると◎（シャッター）が表示されます。
- 電池残量が少ない場合や冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

静止画を撮影する

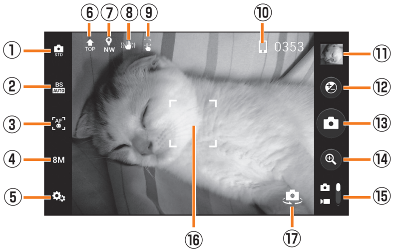
本製品は有効画素数約808万画素（内側カメラは約136万画素）のCMOSカメラを搭載しており、最大8M（3,264×2,448ドット）で撮影できます。撮影したデータはギャラリーなどで閲覧できます。

静止画撮影画面の見かた

1 ホーム画面→ [アイコン] →［カメラ］

静止画撮影画面が表示されます。

※掲載されている画面は、[アイコン]が右側になるように本製品の向きを縦表示から左に90°回転させた場合の表示例です。本製品の向きによってアイコンの表示位置は異なります。



《静止画撮影画面》

① **撮影モードアイコン**

② **ベストショットアイコン**

- 撮影するシーンに合わせ、最適なホワイトバランス、明るさなどの撮影条件が設定されます。
  「オートベストショット」「人物」「風景」「夜景」「逆光」「人物+風景」「人物+イルミ」「人物＋逆光」「料理」「オークション」「パーティー」「ペット」「スポーツ」「ビーチ」「スノー」「OFF」
- 被写体の条件によっては、十分な効果が得られなかったり、正しく撮影がされない場合があります。

③ **オートフォーカスアイコン**

④ **サイズアイコン**

⑤ **共通設定アイコン**

⑥ **天地情報アイコン**

- 撮影したデータを表示するとき上側になる方向を確認できます。

⑦ **位置情報アイコン**

⑧ **手ブレ補正アイコン**

⑨ **タッチ撮影アイコン**

⑩ **撮影可能枚数の目安**

- 保存先が本体メモリの場合は、[アイコン]が表示されます。
- 保存先がmicroSDメモリカードの場合は、[アイコン]が表示されます。

⑪ **サムネイル**

- タップすると、直前に撮影したデータが表示されます。撮影したデータをメール添付などで送信したり、Google+ などで共有できます。また、データをギャラリーで表示したり、削除することもできます。

⑫ **明るさ調整アイコン**

- タップすると、明るさ調整バーが表示されます。スライダーをドラッグすると明るさを調整できます。

⑬ **シャッター**

⑭ **ズームアイコン**

- タップすると、ズームバーが表示されます。スライダーをドラッグするとズームを調整できます。
- ズームバーが水色で表示されている部分は、デジタルズームを利用してズームインします。
- 画面をピンチアウト／ピンチインしたり、[◄☼] [►]を押しても、ズームを調整できます。

⑮ **静止画／動画切替アイコン**

- 動画撮影画面に切り替えます。

⑯ **オートフォーカス枠**

⑰ **カメラ切替アイコン**

- 内側カメラ／カメラに切り替えます。

memo

◎静止画撮影画面で[アイコン]をタップすると、アイコンの表示／非表示を切り替えられます。

ツール・アプリケーション

撮影前の設定をする

memo

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。
◎内側カメラ使用時は、利用できない設定があります。

■撮影モードを設定する

1 静止画撮影画面→撮影モードアイコンをタップ

2

標準撮影	通常の撮影をします。
クイックシャッター	短い間隔ですばやく撮影できます。
いち押しショット	1度の撮影で複数の画像を撮影します。写りの良い3枚が表示され、選択して保存できます。 • 「いち押しショット」での撮影は「VGA」サイズになります。
連写	連写の間隔と枚数を設定して連写します。 • サイズが「VGA」の場合のみ連写できます。
HDR撮影	ハイダイナミックレンジ合成撮影をします。明るい部分が白くなったり、暗い部分が黒くつぶれることを防ぐことができます。
Paper Camera	Paper Camera／PicCollage for auを起動します。 • お好みのアプリケーションを登録できます。ロングタッチすると、アプリケーションの変更／登録解除ができます。
PicCollage for au	

■サイズを設定する

1 静止画撮影画面→サイズアイコンをタップ

2

8M	横3,264×縦2,448ドットで撮影します。 • 4:3で撮影できる一番大きい撮影サイズです。
6M	横3,264×縦1,836ドットで撮影します。 • 16:9で撮影できる一番大きい撮影サイズです。
5M	横2,592×縦1,944ドットで撮影します。 • 保存先の容量を抑えながら高詳細に撮影できる撮影サイズです。
フルHD	横1,920×縦1,080ドットで撮影します。 • フルHDテレビで表示するのに適したサイズです。
2M	横1,600×縦1,200ドットで撮影します。 • L判プリントするのに適した撮影サイズです。
1.3M	横1,280×縦1,024で撮影します。 • 内側カメラで撮影可能な一番大きいサイズです。内側カメラ使用時のみ選択できます。
HD	横1,280×縦720で撮影します。 • 小型テレビで表示するのに適した撮影サイズです。
VGA	横640×縦480ドットで撮影します。 • 4:3で低容量撮影ができる撮影サイズです。

■オートフォーカスを設定する

1 静止画撮影画面→オートフォーカスアイコンをタップ

2

ノーマルAF	静止画撮影画面をタップすると、タップした位置にオートフォーカス枠が移動します。オートフォーカス枠の位置にピントを合わせて撮影します。
顔検出AF	人物の顔を検出し、顔にピントを合わせて撮影します。
センターAF	中央を測定してオートフォーカスします。
AF OFF	フォーカスを固定焦点にします。

■ 共通設定をする

1 静止画撮影画面→共通設定アイコンをタップ

2

ライト	撮影ライトの点灯を設定します。 ・撮影ライトを連続して使用した場合、電池パックのご利用可能時間は短くなります。
セルフタイマー	セルフタイマーの秒数を設定します。 設定した秒数が経過した後、撮影します。
位置情報付加	現在地の位置情報を撮影した画像に付加するかどうかを設定します。
ホワイトバランス	適切な設定を選択すると、被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にして色が調整されます。
エフェクト	フルカラー／セピア／モノトーンの画像が撮影できます。
画質	画質を設定します。
手ブレ補正	手ブレ補正機能を利用するかどうかを設定します。
SNSシェア	▶P.194「SNSシェアを設定する」
タッチ撮影設定	静止画撮影画面上の被写体をタップすることで撮影するかどうかを設定します。
ちらつき軽減	蛍光灯の近くなどで撮影する場合、現在の地域の周波数を設定します。正しく設定すると、画面のちらつき（フリッカー）などを軽減することができます。
鏡像保存	内側カメラ使用時に鏡像のまま保存するかどうかを設定します。
保存先設定	撮影したデータの保存先を本体メモリ／microSDメモリカードに設定します。
グリッド表示	静止画撮影画面にグリッドを表示するかどうかを設定します。

撮影する

1 静止画撮影画面で撮影前の設定を行う

2 ◎をタップ

シャッター音が鳴り、撮影したデータが保存されます。

memo

オートフォーカスロックについて

◎ ◎をタッチしたままにすると、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。ピントが合ってフォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が緑色に変化してロック音が鳴ります。指を離すと撮影されます。

◎「オートフォーカス」が「AF OFF」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

SNSシェアについて

◎「撮影モード」が「標準撮影」「クイックシャッター」「HDR撮影」の場合、◎をタッチした後、そのまま上下左右にフリックすると、撮影したデータをGmail で送信したり、Google+ やFacebookで共有できます。

動画を撮影する

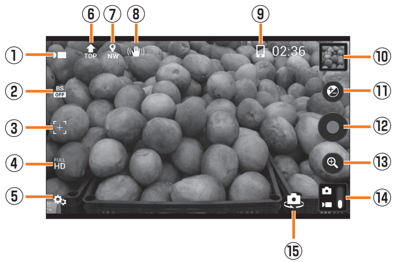
最大で横1,920×縦1,080ドットのフルHDムービーを撮影できます。撮影したデータはギャラリーなどから再生できます。

動画撮影画面の見かた

1 ホーム画面→ → [カメラ] →

動画撮影画面が表示されます。

※ 掲載されている画面は、 が右側になるように本製品の向きを縦表示から左に90°回転させた場合の表示例です。本製品の向きによってアイコンの表示位置は異なります。



《動画撮影画面》

① **撮影モードアイコン**

② **ベストショットアイコン**

- 撮影するシーンに合わせ、最適なホワイトバランス、明るさなどの撮影条件が設定されます。
  「人物」「風景」「夜景」「逆光」「人物+風景」「人物+イルミ」「人物+逆光」「料理」「ビーチ」「スノー」「OFF」
- 被写体の条件によっては、十分な効果が得られなかったり、正しく撮影がされない場合があります。

③ **オートフォーカスアイコン**

④ **サイズアイコン**

⑤ **共通設定アイコン**

⑥ **天地情報アイコン**

- 撮影したデータを表示するとき上側になる方向を確認できます。

⑦ **位置情報アイコン**

⑧ **手ブレ補正アイコン**

⑨ **保存可能時間の目安**

- 保存先が本体メモリの場合は、 が表示されます。
- 保存先がmicroSDメモリカードの場合は、 が表示されます。

⑩ **サムネイル**

- タップすると、直前に撮影したデータが表示されます。撮影したデータをメール添付などで送信したり、Google+ などで共有できます。また、データをギャラリーで再生したり、削除することもできます。

⑪ **明るさ調整アイコン**

- タップすると、明るさ調整バーが表示されます。スライダーをドラッグすると明るさを調整できます。

⑫ **撮影開始／終了ボタン**

⑬ **ズームアイコン**

- タップすると、ズームバーが表示されます。スライダーをドラッグするとズームを調整できます。
- ズームバーが水色で表示されている部分は、デジタルズームを利用してズームインします。
- 画面をピンチアウト／ピンチインしたり、 を押しても、ズームを調整できます。

⑭ **静止画／動画切替アイコン**

- 静止画撮影画面に切り替えます。

⑮ **カメラ切替アイコン**

- 内側カメラ／カメラに切り替えます。

memo

◎ 動画撮影画面で をタップすると、アイコンの表示／非表示を切り替えられます。

撮影前の設定をする

memo

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。
◎ 内側カメラ使用時は、利用できない設定があります。

■ 撮影モードを設定する

1 動画撮影画面→撮影モードアイコンをタップ

2

標準	通常の撮影をします。
アプリ登録1 アプリ登録2	お好みのアプリケーションを登録／起動できます。 • ロングタッチすると、アプリケーションの変更／登録解除ができます。

■ サイズを設定する

1 動画撮影画面→サイズアイコンをタップ

2

フルHD	横1,920×縦1,080ドットのフルHDムービーを撮影します。 • フルHDテレビで表示するのに適した録画サイズです。
1.3M	横1,280×縦1,024ドットで撮影します。 • 内側カメラで撮影可能な一番大きい録画サイズです。内側カメラ使用時のみ選択できます。
HD	横1,280×縦720ドットのHDムービーを撮影します。 • 小型テレビで表示するのに適した録画サイズです。
VGA	横640×縦480ドットで撮影します。 • 4:3で低容量な録画サイズです。
QVGA	横320×縦240ドットで撮影します。 • 4:3で最も低容量な録画サイズです。

■ オートフォーカスを設定する

1 動画撮影画面→オートフォーカスアイコンをタップ

2

顔検出AF	人物の顔を検出し、顔にピントを合わせながら撮影します。
センターAF	中央を測定してオートフォーカスします。
AF OFF	フォーカスを固定焦点にします。

■ 共通設定をする

1 動画撮影画面→共通設定アイコンをタップ

2

ライト	撮影ライトの点灯を設定します。 • 撮影ライトを連続して使用した場合、電池パックのご利用可能時間は短くなります。
セルフタイマー	セルフタイマーの秒数を設定します。 設定した秒数が経過した後、撮影を開始します。
位置情報付加	現在地の位置情報を撮影したデータに付加するかどうかを設定します。
ホワイトバランス	適切な設定を選択すると、被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にして色が調整されます。
エフェクト	フルカラー／セピア／モノトーンで撮影できます。
画質	画質を設定します。
手ブレ補正	手ブレ補正機能を利用するかどうかを設定します。
ちらつき軽減	蛍光灯の近くなどで撮影する場合、現在の地域の周波数を設定します。正しく設定することで、画面のちらつき(フリッカー)などを軽減することができます。
保存先設定	撮影したデータの保存先を本体メモリ／microSDメモリカードに設定します。
グリッド表示	動画撮影画面にグリッドを表示するかどうかを設定します。

撮影する

1 動画撮影画面で撮影前の設定を行う

2 ● をタップ

撮影開始音が鳴り、撮影が開始されます。

3 ■／保存可能時間経過

撮影終了音が鳴り、撮影したデータが保存されます。

memo

◎着信やアラームなどにより撮影が中断された場合は、中断前までのデータが保存されます。

◎「サイズ」を「フルHD」「1.3M」「HD」に設定していると、消費電力が大きいため、電池パックのご利用可能時間が短くなります。

ギャラリーを利用する

ギャラリーでは、本体メモリやmicroSDメモリカードに保存した画像や動画の表示／再生、送信やアップロード、画像の編集などの操作ができます。

memo

◎著作権保護されたデータの編集や、送信、アップロードはできません。

画像や動画を表示／再生する

1 ホーム画面→ ▦ →[ギャラリー]

アルバム選択画面が表示されます。

- 画面左上の「アルバム」をタップすると、アルバム選択画面の表示方法を変更できます。
- ☰→[アルバムを選択]／[グループの選択]と操作すると、アルバム／グループをタップすることで複数選択できます。選択すると、アクションメニューで利用可能なアイコンが変わります。（▶P.129「アクションメニューを利用する」）

2 アルバムをタップ

サムネイル表示画面が表示されます。

- サムネイルをロングタッチすると、SNSシェア画面が表示されます。上下左右のアイコンにデータをドラッグすると、Gmail で送信したり、Facebookなどにアップロードできます。画面上部の「× 削除」にドラッグすると、データを削除できます。
- ☰をタップすると、「項目を選択」「グループ化」を選択できます。（▶P.129「アクションメニューを利用する」）

ツール・アプリケーション

3 表示する画像／動画のサムネイルをタップ

選択したデータが画像表示画面に表示されます。

- 動画の場合は、▶をタップすると再生します。
- 画面下部のサムネイルをタップすると、タップしたデータが表示されます。
- アイコンやサムネイルが非表示になっている場合は、画面をタップすると表示されます。
- ☰をタップすると、データの削除や位置情報の編集などができます。（▶P.129「アクションメニューを利用する」）

アクションメニューを利用する

ギャラリーの画面上部には、アクションメニューが表示されます。

アイコン	説明
（カメラアイコン）	カメラが起動します。
（戻るアイコン）	前の画面に戻ります。
▶	スライドショー再生します。

アイコン		説明
⋮	項目を選択	アルバム／グループ／データを複数選択できます。 • アルバム／グループ／データを選択すると、アクションメニューで利用可能なアイコンが変わります。
	グループ化	場所、時刻、静止画/動画別ごとのグループでサムネイルを表示します。
	SNSシェアの設定	▶P.194「SNSシェアを設定する」
	削除	表示中のデータを削除します。
	編集	明るさ調整や、画像加工、特殊効果、トリミング、赤目処理など、画像を編集できます。
	左に回転	画像を右に回転します。
	右に回転	画像を左に回転します。
	トリミング	画像をトリミングします。
	登録	画像を壁紙や連絡先の写真として登録します。
	詳細情報	データの詳細情報を表示します。
	地図に表示	付加されている位置情報を、Google マップで表示します。
	位置情報編集	画像に位置情報を付加したり、付加されている位置情報を更新したり、削除できます。
（ゴミ箱アイコン）		データを削除します。
（共有アイコン）		Bluetooth®機能やメール添付などで送信したり、Picasa™ などにアップロードします。
（Bluetoothアイコン）など		データをBluetooth®機能で送信することなどができます。 • ロングタッチすると、Eメールなどにアイコンを変更できます。（選択したアルバム／グループ／データで利用できない機能に変更していた場合は、一時的に別のアイコンが表示されます。）

※画面やデータの選択状態などによって表示されるアイコンは異なります。

音楽を聴く

音楽ファイルを再生できます。

memo

◎パソコンからmicroSDメモリカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「パソコンと接続する」(▶P.164)をご参照ください。
音楽ファイルをmicroSDメモリカードに保存する際は、保存する場所に制限はありませんが、アルバムごとに曲を表示するために、アルバムごとにフォルダを作成して保存することをおすすめします。

■再生可能なファイル形式

ファイル形式／コーデック
AAC LC/LTP、HE-AACv1(AAC+)、HE-AACv2(enhanced AAC+)(3gp, mp4, m4a)、AMR-NB、AMR-WB(3gp)、FLAC(.flac)、MP3(mp3)、MIDI(mid, xmf, mxmf, imy, rtttl, rtx, ota)、Ogg Vorbis(ogg)、PCM/WAVE(wav)、WMA(wma, asf)

※対応するファイル形式であっても、ファイルによっては再生できない場合があります。

曲を再生する

1 ホーム画面→ ▦ →[音楽]

音楽画面が表示されます。

2 [アーティスト]／[アルバム]／[曲]／[プレイリスト]

各カテゴリーの音楽一覧画面が表示されます。

3 再生したい曲をタップ

再生画面が表示され、曲が再生されます。

memo

◎音楽画面の「曲」タブで ☰ →[すべて再生]と操作すると、「曲」タブの一覧に表示されている順番で音楽ファイルをすべて再生できます。
◎ ☰ をタップしたり、項目をロングタッチするとメニューが表示され、曲の削除、プレイリストに追加、着信音に設定するなどの操作が行えます。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用すると、好みの曲をまとめて再生できます。

プレイリストを作成する

1 曲名をロングタッチ→[プレイリストに追加]

2 追加先のプレイリストをタップ

「新規」をタップした場合は、新規のプレイリストを作成して、曲を登録できます。

プレイリストを再生する

1 音楽画面→[プレイリスト]

「プレイリスト」タブにプレイリストの一覧が表示されます。

2 プレイリストをロングタッチ→[再生]

LISMOを利用する

LISMO Playerを利用して音楽ファイルを再生できます。

1 ホーム画面→ [アイコン] →[LISMO Player]

初回起動時は、許可画面や個人情報の外部送信の設定画面が表示されますので、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

2 再生したい楽曲をタップ

再生画面が表示され、曲が再生されます。

memo

◎ LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
◎ 通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。
◎ 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページをご参照ください。
www.gracenote.com

テレビ（ワンセグ）を利用する

本製品では、地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」を楽しむことができます。

テレビ（ワンセグ）をご利用になる前に

■テレビ利用時のご注意

- テレビ（ワンセグ）の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- テレビ（ワンセグ）は日本国内の地上デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- テレビ（ワンセグ）起動中は、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はテレビ（ワンセグ）を利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスについて

「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

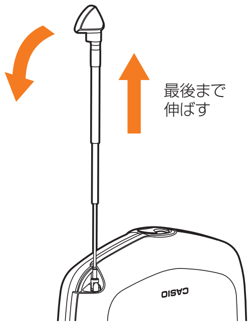
■連続視聴可能時間について

連続視聴可能時間	約6時間00分

※使用条件によって連続視聴可能時間は変わります。

TV用アンテナについて

ワンセグを視聴・録画する際は、電波を十分に受信できるようにTV用アンテナを伸ばし、受信感度の良い方向に向けてご使用ください。
アンテナの先端を引き出し、まっすぐに最後までしっかりと伸ばしてください。



memo

◎TV用アンテナに無理な力を加えないでください。また、TV用アンテナを伸ばした状態でアンテナを本体や電池フタに触れるまで曲げないでください。破損のおそれがあります。
◎TV用アンテナは確実に伸ばしてご使用ください。最後まで伸ばさないと、性能を十分に発揮できない場合があります。
◎TV用アンテナを収納するときは正しい方向で収納してください。無理に収納すると破損のおそれがあります。
◎TV用アンテナの先端部分の取り扱いには十分ご注意ください。傷害などの原因となるおそれがあります。特にTV用アンテナを伸ばした状態で、小さなお子様の手の届く場所に置かないようお願いします。
◎TV用アンテナはワンセグの視聴・録画時のみアンテナの役割をします。
◎TV用アンテナを手でおおわないでください。また、TV用アンテナに金属製のストラップなどが触れないようにしてください。電波を十分に受信できなくなります。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- TV用アンテナの向きを変えたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。
- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

テレビ(ワンセグ)の初期設定をする

初めてテレビ(ワンセグ)を起動したときは、チャンネル情報を登録する必要があります。

1 **ホーム画面→ ▦ →[テレビ]**

2

エリアを選択する	地方、都道府県、地域を選択すると、選択したエリアのチャンネル情報が登録され、テレビ視聴画面が表示されます。
自動で設定する	受信可能なチャンネルをスキャンして、チャンネル情報が登録されます。 • スキャンが終了すると、チャンネル一覧が表示されます。チャンネルをタップすると、テレビ視聴画面が表示されます。

テレビ(ワンセグ)を見る

1 **ホーム画面→ ▦ →[テレビ]**

テレビ視聴画面が表示されます。

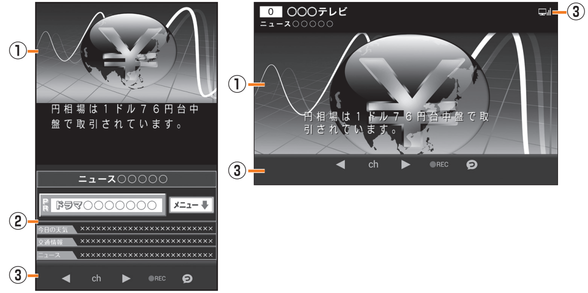
memo

◎テレビ(ワンセグ)を起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

テレビ視聴画面の見かた

縦画面表示では、データ放送が表示されます。横画面表示では、テレビ(ワンセグ)映像が全画面に表示されます。



① **テレビ(ワンセグ)映像エリア**
- 左右にフリック/スライドすると、チャンネルが切り替わります。
- ロングタッチすると、チャンネル一覧が表示されます。

② **データ放送エリア**

③ **操作・番組情報エリア**

ツイートを投稿する

Twitter(ついっぷる)を利用して、テレビ(ワンセグ)を見ながら番組の感想やおすすめの番組をほかの人と共有することなどができます。

1 **テレビ視聴画面→ ◌ →[OK]→[OK]**

視聴しているチャンネルに関連したツイートが表示されます。

2 ✎

初めてツイートの投稿、返信、リツイートをする場合は、Twitterにログインする必要があります。画面の指示に従ってログインしてください。

3 ツイートを入力→[ツイート]

memo

◎テレビ視聴画面→ ☰ →[HOT!]と操作すると、Twitterなどで盛り上がっている最新のトレンド情報をランキング形式でお届けするアプリケーションを利用できます。初めて起動したときは、アプリケーションをダウンロードする必要があります。

視聴エリアを設定する

1 テレビ視聴画面→ ☰ →[設定]→[エリア切替]

エリア切替画面が表示されます。
登録済みのエリアをタップすると、タップしたエリアに切り替えてワンセグを視聴できます。

2 エリアをロングタッチ→[エリア情報設定]

3 地方、都道府県、地域をタップ

チャンネルをスキャンし、チャンネル情報が登録されテレビ視聴画面が表示されます。

テレビ(ワンセグ)を録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画できます。
録画するには、microSDメモリカードを本体に取り付ける必要があります。

1 テレビ視聴画面→[●REC]

録画が開始されます。

2 [■RECstop]

録画が終了します。

memo

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
◎録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

番組表を利用する

テレビ番組の閲覧や、番組検索ができます。番組表からワンセグの視聴予約や録画予約もできます。

1 テレビ視聴画面→ ☰ →[番組表]

番組表画面が表示されます。
初めて番組表を表示したときは、地域を選択する必要があります。

視聴予約/録画予約をする

ワンセグの視聴予約や録画予約ができます。設定した日時になると、通知音と通知アイコンで番組や録画の開始をお知らせします。

1 番組表画面で番組をタップ →[ワンセグ視聴予約]/[ワンセグ録画予約]

予約設定が表示され、項目をタップすると変更することもできます。

2 [保存]→[はい]

memo

◎予約をした時刻に本製品の電源が切れている場合、予約は実行されません。
◎テレビ視聴画面で ☰ →[録画/視聴予約]と操作すると、視聴予約/録画予約の一覧が表示されます。予約の編集や削除や、予約をお知らせするアラームの設定の変更などができます。

録画した番組を再生する

1 テレビ視聴画面→☰→[録画番組の再生]

録画ファイル一覧画面が表示されます。

2 番組をタップ

番組が再生されます。

memo

◎録画した番組を削除するには、録画ファイル一覧画面で☰→[選択削除]／[全件削除]と操作します。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示されます。テレビリンクを登録しておくと、後で関連サイトにアクセスできます。

1 テレビ視聴画面→☰→[テレビリンク]

2 テレビリンクをタップ→[はい]

memo

◎テレビリンクを登録するには、テレビ視聴画面のデータ放送エリアでテレビリンク可能な項目をタップします。

◎テレビリンクを削除するには、テレビリンク一覧画面でテレビリンクをロングタッチ→[削除]→[1件削除]／[全件削除]→[はい]と操作します。

テレビ（ワンセグ）を設定する

1 テレビ視聴画面→☰→[設定]

2

データ放送設定	通信確認	テレビ（ワンセグ）で通信を行う際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。
	位置情報の利用	テレビ（ワンセグ）で位置情報を利用するかどうかを設定します。
	端末情報の利用	テレビ（ワンセグ）で端末情報を利用するかどうかを設定します。
	放送局メモリ削除	放送局メモリを削除します。
オフタイマー		テレビ（ワンセグ）を自動的に終了するまでの時間を設定します。
字幕/音声		字幕を表示するかどうかや、字幕の言語を選択します。また、主音声／副音声の切り替えを行います。
エリア切替		▶P.134「視聴エリアを設定する」
ついっぷる表示設定	自動スクロール	ツイート表示を自動的にスクロールさせるかどうかを設定します。
	スクロール速度設定	スクロールの速度を設定します。
	アカウントの管理	Twitterのアカウントを設定します。
	自動更新	自動更新の間隔を設定します。
	新着ツイート通知	新着のツイートを通知するかどうかを設定します。
	文字サイズ	ツイート表示の文字サイズを設定します。

DLNA対応機器を利用する

本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されている画像や動画、音楽といったコンテンツデータをDLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやNAS（ネットワーク接続HDD）のコンテンツデータを本製品で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するには、Wi-Fi®でご自宅のネットワークに接続する必要があります。接続方法については、「Wi-Fi®を利用する」（▶P.173）をご参照ください。
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご参照ください。
- 本製品とすべてのDLNA対応機器との連携を保証するものではありません。
- 本製品はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。
- 一部のコンテンツデータについては、再生できない場合があります。

DiXiM Serverを設定する

本製品のコンテンツデータを他のDLNA機器に公開するための設定を行います。

1 **ホーム画面→ ▦ →[DiXiM Player]→[設定する]**

DiXiM Server画面が表示されます。

2

DiXiM Server	チェックを付けるとDiXiM Server（DLNAサーバー）が起動します。
サーバー名	他のDLNA対応機器に表示される名前を変更します。
アクセス制御	DLNA対応機器から本製品へのアクセスの許可を設定します。 ・「アクセス権の初期設定」にチェックを付けると、新しく見つかったすべてのDLNA対応機器からのアクセスを許可します。 ・「アクセス権の初期設定」のチェックを外した場合は、「クライアント機器の一覧」でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスを許可します。
保存先設定	DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツデータの保存先を設定します。本体メモリまたはmicroSDメモリカードに保存できます。
公開フォルダ設定	他のDLNA対応機器に公開するフォルダを設定します。

本製品のコンテンツをDLNA対応機器で再生／保存する

あらかじめ本製品のDiXiM Serverを起動して、DLNA対応機器からのアクセスを許可してください。（▶P.136「DiXiM Serverを設定する」）

1 **DLNA対応機器を操作して本製品のコンテンツデータを再生／保存する**

memo

◎カメラで撮影した動画など、本製品以外のDLNA対応機器では再生できない場合があります。

本製品のコンテンツをDLNA対応機器に配信する

本製品のコンテンツデータをDLNA対応機器に配信すると、本製品から再生の操作ができます。

- あらかじめ本製品のDiXiM Serverを起動して、DLNA対応機器からのアクセスを許可してください。（▶P.136「DiXiM Serverを設定する」）
- DLNA対応機器でも本製品からのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面→ →[DiXiM Player]→[視聴する]

DiXiM Player画面が表示されます。

2 [設定]→[タップ時の動作]→[リモート機器で再生]→[リモート機器を選択]→再生先のDLNA対応機器をタップ→

3 [サーバー]→本製品のサーバー名をタップ

4 再生する種別をタップ→フォルダをタップ→コンテンツデータをタップ

再生先のDLNA対応機器でコンテンツデータが再生されます。

DLNA対応機器のコンテンツを本製品で再生する

あらかじめDLNA対応機器でコンテンツデータを公開し、本製品からのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面→ →[DiXiM Player]→[視聴する]

DiXiM Player画面が表示されます。

2 [設定]→[タップ時の動作]→[この端末で再生]→

3 [サーバー]→コンテンツデータが保存されているDLNA対応機器をタップ

4 再生する種別をタップ→フォルダをタップ

コンテンツ選択画面が表示されます。

5 コンテンツデータをタップ

本製品でコンテンツデータが再生されます。

memo

◎コンテンツ選択画面でコンテンツデータをロングタッチし、そのまま下方向にスライド／フリックすると、コンテンツデータを本製品にダウンロードできます。ただし、著作権保護されたコンテンツデータはダウンロードできません。
上方向にスライド／フリックすると、再生先一覧画面が表示され、選択したDLNA対応機器で再生できます。

DLNA対応機器のデジタル録画番組を本製品で再生する

レコーダーなどのDLNA対応機器で録画したデジタル録画番組を本製品に保存し、再生することができます。

- DLNA対応機器がコンテンツデータのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめ本製品のDiXiM Serverを起動して、DLNA対応機器からのアクセスを許可してください。（▶P.136「DiXiM Serverを設定する」）
- DLNA対応機器でも本製品からのアクセスを許可してください。
- あらかじめ「保存先設定」でコンテンツデータの保存先を設定してください。

1 DLNA対応機器を操作して本製品にコンテンツデータをアップロードする

2 ホーム画面→ ▦ →[DiXiM Player]→[視聴する]→[持ち出し番組]

本製品にアップロードされたデジタル録画番組の一覧が表示されます。

3 デジタル録画番組をタップ

本製品でデジタル録画番組が再生されます。

おサイフケータイ®を利用する

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本製品をリーダー／ライター（店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置）にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。

おサイフケータイ®をご利用になるには、サービスによってはおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「おサイフケータイ ロック設定」（▶P.140）を「ON」に設定することをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「おサイフケータイ ロック設定」（▶P.140）を「OFF」に設定したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応のアプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- 本製品の初期化を行うとおサイフケータイ®対応のアプリは削除されますが、FeliCaチップ内のデータは削除されません。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合

は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応のアプリからのFeliCaチップへのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータが破棄されます。
- 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応のアプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 機内モード設定中や充電中は、おサイフケータイ®によるデータの読み取りができません。ただし、非接触ICカード機能（電子マネーなど）は、ご利用いただけます。

おサイフケータイ®のメニューを利用する

1 **ホーム画面→ →［おサイフケータイ］**

サービス一覧画面が表示されます。
サービスによっては、各プロバイダに接続して、画面の指示に従って登録および初期設定を行います。初期設定が完了すると、対応したサービスがご利用になれます。

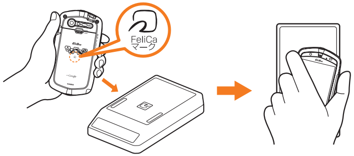
2

3

サービス表示情報更新		サービス一覧画面を最新の状態に更新します。
メモリ使用状況		おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。 最大999ブロックまで保存可能です。
サポートメニュー	おサイフケータイアプリご利用規約	おサイフケータイ®の利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能ご利用条件	電子マネー残高表示機能の利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	操作ガイド	おサイフケータイ®の操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス一覧画面の表示設定をリセットします。 • おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

リーダー／ライターとやりとりする

FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。



- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- FeliCaマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- LISMOを聴きながらリーダー／ライターにかざすと、スピーカーやイヤホンから雑音が聞こえる場合があります。

memo

◎おサイフケータイ®対応のアプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。

◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、おサイフケータイ®ロック中はご利用いただけません。

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCaデータ受信の利用を制限できます。

1 **ホーム画面→ [アプリ] →[設定]→[セキュリティ]→[おサイフケータイ ロック設定]**

2

OFF		おサイフケータイ®ロックを解除します。
ON	画面ロックと連動	画面ロック中に、おサイフケータイ®の機能をロックします。画面ロックを解除すると、おサイフケータイ®ロックも解除されます。
	常にON	おサイフケータイ®の機能を常にロックします。

memo

◎おサイフケータイ®ロック中に電池が切れると、おサイフケータイ®ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後におサイフケータイ®ロックを解除してください。

◎おサイフケータイ®ロック中は、ステータスバーに [LOCK] が表示されます。

◎本製品を紛失してしまった場合は、安心セキュリティパックの「3LM Security」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「3LM Securityを利用する」（▶P.151）をご参照ください。
遠隔操作でロックをかけた場合、「おサイフケータイ ロック設定」からは解除できません。「3LM Security」の操作で解除するか、「データの初期化」を行ってください。

Android™ アプリ

Google Play を利用する

Google が提供するGoogle Play から便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、本製品にダウンロード･インストールして利用できます。

- Google Play の利用には、パケット通信接続または無線LAN（Wi-Fi®）接続が必要です。またGoogle アカウントが必要です。詳しくは、『設定ガイド』をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play 画面→☰→[ヘルプ]と操作してGoogle Play のヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→ ▦ →[Playストア]

Google Play 画面が表示されます。

初回起動時には、利用規約などが表示されますので内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

Google Play をご利用になる前に

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションによっては、動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリケーションを検索し、インストールする

1 Google Play 画面→[アプリ]／[ゲーム]→インストールするアプリケーションをタップ

画面の表示内容を確認のうえ、画面に従ってアプリケーションをインストールしてください。

■有料のアプリケーションを購入するときは

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au Marketを利用する

au Marketは、auのサービスです。auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroid アプリをインストールできます。目的のアプリをカテゴリやキーワードから検索したり、ランキングから探すことができます。

- au Marketを利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。また、一部の機能を利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、「au IDを設定する」(▶P.40)をご参照ください。

1 ホーム画面→ ▦ →[au Market]

auスマートパスのページが表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意」をタップしてください。

memo

◎auスマートパスに対応していないアプリをダウンロードする場合には、「auポータル」→「メニューリスト」よりダウンロードしてください。
◎au Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法は各アプリケーションの配信元によって異なります。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。

Google マップ™を利用する

Google が提供するオンラインサービス「Google マップ」を利用し、地図を表示して現在地を確認したり、目的地までの経路を検索したりできます。また、航空写真や渋滞状況(データ提供エリアのみ)を地図に重ねて表示できます。

- Google マップを利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。
- Google マップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ無線ネットワーク、GPS機能を有効にする必要があります。詳しくは、「位置情報サービスを設定する」(▶P.191)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google のホームページや、Google マップ画面→ ☰ →[ヘルプ]と操作してGoogle マップのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ ▦ →[マップ]

Google マップ画面が表示されます。
現在地をすばやく検出するために、推奨される機能を有効にするかどうかの確認画面が表示される場合があります。「設定」または「スキップ」をタップしてください。「設定」をタップすると、各機能の設定画面が表示されます。

Google Latitude™ を利用する

Google が提供するオンラインサービス「Google マップ」を利用し、友人と位置を確認しあったり、メールを送信したりできます。また、友人の位置までの移動経路を検索したりすることもできます。

- Google Latitude の利用には、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。またGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.40)をご参照ください。
- 位置情報を共有するには、Latitude に参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ →[Latitude]

Latitude 画面が表示されます。

現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、通知をタップして共有リクエスト画面を表示させ、項目を選択します。

以降、Latitude 起動時にGoogle マップ画面が表示された場合は、[マップ]→[Latitude]と操作するとLatitude 画面を表示することができます。

Google トーク™を利用する

Google が提供するオンラインサービス「Google トーク」を利用して、メンバーに追加した相手とチャットをすることができます。

- Google トークの利用には、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。またGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.40)をご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ →[トーク]

Google アカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

2 ログインするアカウントをタップ

memo

◎Google トークの詳細については、Google のホームページや、Google トークの画面→ →[ヘルプ]と操作して確認してください。

友だちを追加する

Google アカウントを持っている相手の方を追加できます。

1 トーク画面→

2 追加するメンバーのメールアドレスを入力→[完了]

Google+ ローカル™を利用する

Google が提供する「Google+ ローカル」を利用して、現在地周辺の施設を、レストランや観光スポット、ガソリンスタンド、ATMなどのジャンルから選び検索することができます。またキーワードを入力して検索することもできます。

- Google+ ローカルを利用するには、あらかじめモバイルネットワークまたは無線LAN(Wi-Fi®)、GPS機能を有効にする必要があります。詳しくは、「位置情報サービスを設定をする」(▶P.191)をご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ [アプリ] →[ローカル]
検索画面が表示されます。

2 ジャンルをタップ
検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補をタップ
詳細画面が表示されます。

memo

◎ 検索結果一覧画面で「地図表示」をタップすると検索結果一覧を地図で表示します。

Google マップ ナビ™を利用する

Google が提供する「Google マップ」を利用して、現在地から目的地までのルートを検索し、ナビゲーションします。

- Google マップ ナビを利用するには、あらかじめGPS機能を有効にする必要があります。GPS機能の設定方法については、「位置情報サービスを設定する」(▶P.191)をご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ [アプリ] →[ナビ]
利用確認画面が表示されます。

2 [同意する]
ナビ画面が表示されます。

■ 音声でルートを検索する場合

3 [目的地を音声入力]
→送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

■ キーワードを入力してルートを検索する場合

3 [目的地をキーボードで入力]→キーワードを入力→実行

■ 連絡先に登録されている住所へのルートを検索する場合

3 ナビ画面を左にスライド→目的地をタップ

■ スター付きの場所へのルートを検索する場合

3 ナビ画面を右にスライド→目的地をタップ

memo

◎利用確認画面で、「このメッセージを再表示する」を選択していなければ、次回から利用確認画面は表示されません。
◎スター付きの場所は、Google マップやGoogle+ ローカルで場所や施設の情報表示時にスターアイコンをタップすると、スター付きの場所として登録できます。Google マップと同期され、Google マップ上に表示されるようになります。

YouTube™を利用する

オンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワードを入力して動画を検索したり、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

- YouTube を利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。また、Google アカウントを設定する必要があります。Google アカウントが未設定の場合は、初回YouTube 起動時に画面の指示に従って設定してください。
- 利用方法などの詳細については、Google のホームページをご覧ください。
- サービス内容は予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ ▦ →[YouTube]

YouTube 画面が表示されます。
利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 再生する動画を選択

Friends Noteを利用する

Friends Noteを利用して、電話帳の連絡先やFacebook･Twitterなど のSNSの友達リストをまとめて管理することができます。また、電話、メール、SNSなどの連絡方法を簡単に選択できたり、複数のSNSやブログにまとめて投稿することができます。

- Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定については、「au IDを設定する」(▶P.40)をご参照ください。

1 ホーム画面→ ▦ →[Friends Note]

初回起動時には許可画面と利用規約が表示されますので、[同意する]→[同意する]と操作してください。

2 au ID確認画面→[後で]

Friends Noteにリニューアルされる前のjibeアプリを利用していた場合、au IDにて以前の設定状態を継続して利用できるようID紐付けいたしますので、以前お使いのIDをご入力ください。

3 SNSアカウント登録画面→[今すぐ]／[後で]

Facebookを利用する

Facebookを利用すると、Facebookを利用している友達や同僚、同級生、仲間たちとつながりを深められます。
アカウントの作成や利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
http://facebook.com/

1 ホーム画面→ ▦ →[Facebook]

エンドユーザーライセンス契約の画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ「同意します」をタップしてください。
Facebookのアカウントをお持ちでない場合は、ログイン画面からアカウントを新規登録してください。

2 ログインメールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]

Quickoffice® を利用する

Quickoffice では、Microsoft® Wordファイル、Microsoft® Excelファイル、Microsoft® PowerPoint®ファイル、PDFファイルの閲覧ができます。
Quickoffice では、次のファイル形式を表示または編集できます。

ドキュメントの種類	拡張子
Microsoft Word: Word97～Word2010	.doc、.docx、.dot、.dotx、.docm、.dotm
Microsoft Excel: Excel97～Excel2010	.xls、.xlsx、.xlsm、.xla、.xlam、.xlt、.xltm、.xltx
Microsoft PowerPoint: Power Point97～ Power Point2010	.ppt、.pptx、.pot、.potx、.potm、.pptm、.ppa、.ppam、.ppsx、.ppsm
Adobe Acrobat: Acrobat5-9	.pdf
テキスト	.txt

1 ホーム画面→ → [Quickoffice]

初回起動時は、ソフトウェアの登録画面が表示されます。登録する場合は、電子メールアドレスを入力して「今すぐ登録」をタップしてください。
登録を完了すると、Quickoffice のメニューが表示されます。

memo

◎ データの内容によっては、パソコンなど他の機器で表示した内容と異なって表示される場合があります。
◎ Quickoffice に対応していない形式や複雑なデザインなどを含むデータの場合、正しく表示されない場合があります。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 ホーム画面→ →[au災害対策]

au災害対策メニューが表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方の他、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。
詳しくは、auホームページの、「災害用伝言板サービス」をご覧ください。

1 au災害対策メニュー→[災害用伝言板]

画面に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定について、詳しくは「アドレスの変更やその他の設定をする」（▶P.93）をご参照ください。
◎ 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。
お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。
津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー→［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

削除		受信したメールを削除します。
設定	受信設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報を受信するかどうかを設定します。
	通知設定	**音量**：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	受信音／バイブ確認	**緊急地震速報**：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒〜数十秒前に、可能な限り素早くお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ 津波警報とは、気象庁から配信される津波警報（大津波、津波）を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/（パソコン用）
◎ 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎ SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー→[災害用音声お届けサービス]

■ 音声を送る(送信)

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択※」→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。

※お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

※受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
※SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎音声メッセージの送受信は、LTE／3Gネットワークのみで利用可能です。無線LAN(Wi-Fi®)通信などは無効にしてご利用ください。
◎音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎au携帯電話間のみ、音声メッセージのやりとりが可能です(他通信事業者の携帯電話との相互利用は2013年春以降を予定しています)。
◎メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

auお客さまサポートアプリを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[MENU]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→ ▦ →[auお客さまサポート]

- 初回起動時は設定メニューが表示され、アカウント設定および自動更新設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「「サポートID」を設定せずに利用する」をタップします。
- サポートIDの新規取得は、auお客さまサポートウェブサイト(http://cs.kddi.com/)にて取得することができます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況等を簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
サポート&サービス	▶P.150「安心セキュリティパックを利用する」
調べる	よくあるご質問の確認やauお客さまサポートウェブサイトへの接続などができます。

memo

◎画面下部の「MENU」をタップすると、各種お問い合わせ窓口や設定メニュー、ヘルプが表示されます。「MENU」が表示されていない場合は ☰ をタップします。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™ モバイル for au」の3種類のアプリケーションを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料サービスです。

memo

◎ 安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と、「ウイルスバスター™ モバイル for au」のセットアップを行ってください。

■ 3LM Security

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 画面ロックの暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の変更、初期化ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品内のデータを削除する場合には、お客さまセンターにご連絡ください。
- 「3LM Security」を起動したときや本製品が遠隔ロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■ リモートサポート

- 携帯電話の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のG'zOneの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、オペレータが直接問題を解決します。

■ ウイルスバスター™ モバイル for au

■ 不正アプリ対策

アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。

■ Webフィルタ

ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。

■ Web脅威対策

ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。

■ 着信ブロック／SMSブロック

迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。

■ 安心セキュリティパックの位置検索をご利用いただくにあたって

- 当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上の注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- 「位置情報サービス」メニューの「GPS機能」をOFFに設定していると位置情報が通知されません。
- ご契約いただいているau Micro IC Card（LTE）の情報と利用開始設定時のau Micro IC Card（LTE）の情報が一致している端末の検索ができます。

- auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
  - 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
  - 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
  - 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。
    また、お客さまのau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

3LM Securityを利用する

1 ホーム画面→ [アイコン] →[3LM Security]→[個人向け設定]

初回起動時には3LM Securityの利用規約画面が表示されます。内容をご確認のうえ、[同意します]と操作してください。
利用規約画面→[詳細はこちら]と操作すると、安心セキュリティパックの詳細情報を確認できます。

2 [有効にする]

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

2 ホーム画面→ [アイコン] →[リモートサポート]

起動時には、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

3 オペレータの指示に従って操作

ウイルスバスター™ モバイル for auを利用する

1 ホーム画面→ [アイコン] →[ウイルスバスター]

アプリケーションをダウンロードしていない場合は、画面の指示に従ってダウンロードしてください。
初回起動時には使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

- ホーム画面→ [アイコン] →[auお客さまサポート]→[サポート&サービス]→[安心セキュリティパック]→[ウイルスバスター モバイル for au]と操作しても起動できます。

2 項目をタップ

3 画面の指示に従って操作

memo

◎ Webフィルタは、Android 標準ブラウザのみ有効です。

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額390円（税込）で、500本以上のアプリケーション取り放題、auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼント、大切な静止画や動画・電話帳のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。

- 利用方法などの詳細については、auスマートパストップページから「ヘルプ」をタップしてヘルプをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。

1 ホーム画面→ →[auスマートパス]

auスマートパスにご登録いただいていない場合は、ページトップにある「非会員の方 新規登録」を選択し、au IDとパスワードを入力後、利用規約の内容をご確認のうえ、「利用規約に同意」をタップしてください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

2

アプリ取り放題	500本以上のアプリケーションからお好きなアプリケーションを好きなだけダウンロードいただくことができるサービスです。
クーポン＆プレゼント	auスマートパス会員様限定のお得なクーポンやプレゼントなどを紹介しています。
データお預かり	大切な静止画や動画、電話帳を簡単・安心に預けることができるサービスです。
安心・セキュリティ	大切な情報をしっかりとガードする、安心の強力セキュリティアプリです。

memo

◎画面下部の「お問い合わせ」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口を表示できます。
◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリケーションについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎アプリケーションなどによりお客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ご利用になれるコンテンツは、機種によって異なる場合があります。
◎各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ハンドミラーを利用する

本製品を手鏡のように利用できます。

1 ホーム画面→ →[ハンドミラー]

画面に内側カメラの映像が表示されます。

2 画面をタップ

明るさ調整バーが表示されます。
明るさ調整バーのスライダーをドラッグすると、明るさを調整できます。
もう一度、画面をタップすると明るさ調整バーが非表示になります。

カレンダーを利用する

カレンダーを1ヶ月、1週間、1日で表示することができます。

- カレンダーの利用にはExchangeアカウントまたはGoogle アカウントが必要です。アカウント追加画面でExchangeアカウントの場合は「コーポレート」、Google アカウントの場合は「Google」をタップします。
  Exchangeアカウントの設定については、画面に従って操作してください。
  Google アカウントの設定については、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.40)をご参照ください。
- 「アカウントと同期」(▶P.190)を利用して、サーバに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期できます。

1 ホーム画面→ ▦ →[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

- 画面左上の年月日表示をタップすると、1日表示/1週間表示/1ヶ月表示/予定リストに表示を切り替えられます。
- ▦をタップすると、今日の日付が表示されます。

予定を新規登録する

1 カレンダー画面で日付/時間をロングタッチ→[新しい予定]

2 各項目をタップして編集

項目	説明
(登録したアカウント名)	予定を登録するアカウント名が表示されます。 • 複数のアカウントを設定している場合は、アカウント名をタップすることで予定を登録するアカウントを選択できます。
タイトル	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始 終了 終日 タイムゾーン	開始日時と終了日時、タイムゾーンを設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。 • 予定を終日に設定するには「終日」をタップします。
ゲスト	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 複数入力することもできます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
説明	予定の内容を入力します。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。 • 「通知を追加」/✕をタップすると、通知設定を追加/削除できます。通知しない場合は通知設定を削除してください。
外部向け表示	外部向け表示を設定します。
公開設定	予定を公開する範囲を設定します。

3 [完了]

登録した予定を確認／編集する

1 **1ヶ月表示のカレンダー画面で予定の入っている日付をタップ**

2 **予定をタップ**

予定詳細画面が表示されます。

- をタップすると、予定を編集できます。
- をタップすると、予定を削除します。
- 通知設定を変更できます。また「通知を追加」／✕をタップすると、通知設定を追加／削除できます。

カレンダー画面のオプションメニューを利用する

1 **カレンダー画面→**

2

予定を作成		▶P.153「予定を新規登録する」
更新		カレンダーを更新します。
検索		予定を検索します。
表示するカレンダー		表示するカレンダーを設定します。 ・「同期するカレンダー」をタップすると、同期するカレンダーを設定できます。
設定	全般設定	▶P.154「カレンダーを設定する」
	（登録したアカウント名）	登録したアカウント名が表示されます。 ・タップすると、同期の設定を変更できます。
	カレンダーについて	カレンダーのビルドバージョンを表示します。

カレンダーを設定する

1 **カレンダー画面→→[設定]→[全般設定]**

2

辞退した予定を非表示	辞退した予定を非表示するかどうかを設定します。
第何週かを表示	現在表示している週が第何週かを表示するかどうかを設定します。
週の開始日	週の開始日を設定します。
自宅タイムゾーン	渡航先でも自宅のタイムゾーンでカレンダーと予定時間を表示するかどうかを設定します。
自宅タイムゾーン	自宅のタイムゾーンを設定します。
検索履歴を消去	検索履歴を消去します。
通知	予定を通知するかどうかを設定します。
着信音の選択	通知の着信音を選択します。
バイブレーション	通知時のバイブレータの動作を設定します。
ポップアップ通知	ポップアップで通知するかどうかを設定します。
デフォルトの通知時間	予定の新規作成時や、通知を追加する際に、あらかじめ入力される時間を設定します。

memo

◎全般設定画面右上の「アカウントを追加」をタップすると、カレンダーに予定を表示するアカウントを追加できます。

時計を利用する

1 ホーム画面→ →[時計]

時計画面が表示されます。時計画面には、日付や曜日が表示されます。時計画面をタップすると、バックライトが暗くなり、電池の消耗を抑制します。再度時計画面をタップすると、バックライトが明るくなります。

アラームで指定した時刻をお知らせする

1 時計画面→

アラーム一覧画面が表示されます。

- ホーム画面→ →[アラーム]と操作しても、アラーム一覧画面が表示されます。

2 [アラームの設定]

3

アラームをONにする	アラームを有効にするかどうかを設定します。
時刻	設定時刻を変更できます。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームが鳴るように設定できます。
アラーム音	アラーム設定時刻に鳴る音を設定できます。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
ラベル	設定したアラームにラベルを付けることができます。

4 [OK]

設定したアラームがアラーム画面の一覧に追加されます。

memo

◎アラームの設定時刻になると、アラームが動作し、メニューが表示されます。「停止」をタップすると、アラームを停止できます。「スヌーズ」をタップすると、「スヌーズ間隔」で設定した時間が経過した後で再びアラームが動作します。

アラームの動作を設定する

1 時計画面→

アラーム一覧画面が表示されます。

2 →[設定]

3

マナーモード中のアラーム	マナーモード中にアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
自動消音	設定した時間になると自動で消音するかどうかを設定します。
ボリュームキーの動作	アラームが鳴っているときに[◄ ☼]／[►]を押した場合の動作を設定します。
デフォルトのアラーム音を設定	アラーム設定時刻に鳴る音を設定できます。

電卓で計算する

1 ホーム画面→ [アプリ] →[電卓]

電卓画面が表示されます。

数式や計算結果をロングタッチすると、切り取り／コピー／貼り付けなどができます。

計算の途中で「削除」をタップすると、文字が消去されます。ロングタッチすると、表示されている内容がすべて消去されます。

「＝」をタップして計算結果を表示した後で「削除」をタップすると、計算結果が消去されます。

[▲]／[▼]をタップすると、入力内容の履歴を確認できます。

ボタンが表示されている部分を左右にフリック／ドラッグすると、ボタンを関数機能／標準機能に切り替えることができます。

[メニュー]→［履歴消去］と操作すると、入力内容の履歴を消去できます。

G'zGEAR®を利用する

G'zGEAR®はG'zOneのために開発されたマルチツールです。アウトドアや街中のさまざまなシーンによって使い分けができます。

1 ホーム画面→ [アプリ] →[G'zGEAR]

G'zGEAR®のHOME画面が表示されます。

2

EARTH COMPASS	内蔵の電子コンパスで計測した16方位(N～NNW)と方位の角度を表示します。また、本体を向けた方向にある名山や登録したポイントなどを画面上に表示できます。
THERMOMETER	TEMPERATURE COMPARISONモードでは、温度センサーで計測した現在の気温と、西暦2009年の同日の最高気温･最低気温を表示できます。過去の気温を表示するポイントは、全国47箇所から選択できます。 TEMPERATURE TRIPモードでは、世界30都市から現在の気温が最も近い都市を探すことができます。その都市の2009年の同日の平均気温／最高気温／最低気温のうち、いずれかが最も近い都市に気球が移動してフラッグを立てます。
TIDES	潮名、満潮時間、干潮時間などの潮汐情報と、日の出、日の入りの時刻を表示できます。潮汐情報を表示するポイントは、日本全国の100港から選択できます。 ONE-DAY VIEWモードでは、1日の潮位の目安がグラフで表示されます。 CURRENT VIEWモードでは、現在の潮位の目安と、満潮に向かっているのか、干潮に向かっているのかがグラフで表示されます。

SUN / MOON	SUNRISE SUNSETモードでは、GPSで取得した現在地、または全国47箇所の県庁所在地の日の出、日の入りの時刻、太陽の高度の目安などを表示できます。 MOONRISE MOONSETモードでは、GPSで取得した現在地、または全国47箇所の県庁所在地の月の出、月の入りの時刻、月の高度の目安などを表示できます。
STAR GAZER	現在地から見ることができる星座の位置や名前などを確認できます。また、特定の星座を探すこともできます。
WALKING COUNTER	VIRTUAL TREKモードでは、世界7つの地域のトレイルを歩くことができます。 PEDOMETERモードでは、歩数、距離、消費カロリーの目安を計ることができます。日別、週別、月別にデータを表示することができます。 • 歩数のカウントに関する注意事項については、「加速度センサーを使用するアプリケーションについて」(▶P.228)をご参照ください。
BAROMETER	PRESSURE TENDENCYモードでは、過去の気圧をロギングできます。定点観測すると、過去12時間の気圧傾向から天気の傾向を知ることができます。 PRESSURE CHARTモードでは、LIVE Gを通じてG'zGEAR®ユーザーの気圧傾向を共有することができます。
SETTINGS	▶P.157「G'zGEAR®を設定する」
HOW TO USE	G'zGEAR®の使用方法や注意事項を表示します。

memo

◎ 運転中は使用しないでください。
◎ 日本国内のみでご使用ください。
◎ 命の危険性に関わるスポーツでのご使用は避けてください。
◎ 使用上の注意事項については、「HOW TO USE」をご確認ください。

G'zGEAR®を設定する

1 G'zGEAR®のHOME画面→[SETTINGS]

2

キャリブレーション	電子コンパスを調整します。 ▶P.225「方位センサーについて」
GPS自動取得	GPSで自動的に現在地を取得するかどうかを設定します。 • 有効にすると、約15分間隔で自動的に取得します。
G_SWITCH	G_SWITCH(加速度センサー)を使用してツールを切り替えるかどうかを設定します。
前回モードを記憶	各ツールの表示モードを記録しておき、ツール起動時に前回表示していたモードを表示するかどうかを設定します。
PEDOMETER	歩数をカウントするかどうかを設定します。
使用感表示	使用した回数が多いツールのアイコンを、HOME画面上で使い込んだ感じで表示するかどうかを設定します。
温度単位	温度を摂氏(℃)で表示するか、華氏(℉)で表示するかを設定します。

距離/長さの単位		距離／長さの単位距離をキロメートル(km)で表示するか、マイル(mile)で表示するかを設定します。
身体設定		歩数から距離、消費カロリーを計算するための身長、体重、年齢、性別を設定します。 •「自動計算」にチェックを付けた場合は、歩幅が自動的に計算されます。 •「自動計算」のチェックを外した場合は、「歩幅設定」をタップすることで歩幅を入力できます。
Walking Counterデータの削除		WALKING COUNTERのデータをすべて削除します。
Star Gazerディスプレイ設定	星座線	STAR GAZERで星座線を表示するかどうかを設定します。
	恒星名	STAR GAZERで恒星名を表示するかどうかを設定します。
	時間別の背景色	STAR GAZERで朝、昼、夕方、夜に応じた背景色を表示するかどうかを設定します。
	バックライトの明るさ	STAR GAZER使用時のバックライトの明るさを設定します。
Widget設定		G'zGEAR VIRTUAL TREKウィジェットとG'zGEAR PEDOMETERウィジェットの更新頻度を設定します。
Temperature Trip履歴削除		THERMOMETERのTEMPERATURE TRIPモードのフラッグをすべて削除します。
Barometer設定	気圧センサー自動取得	気圧を自動的に取得するかどうかを設定します。
	気圧の自動送信間隔	気圧をLIVE Gに送信する間隔を設定します。
	BLE時計連携設定	Bluetooth® low energy technology対応時計に気圧の変化情報を通知するかどうかを設定します。
	Bluetooth設定	▶P.177「Bluetooth®機能を利用する」
初期設定に戻す		G'zGEAR®のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

ツール・アプリケーション

G'zWORLDを利用する

G'zWORLDでは、フィールドアクティビティを手軽に記録して、LIVE Gを通じて世界中の仲間と共有することができます。また、自分だけのオリジナルマップとしても利用できます。

- G'zWORLDで現在地の確認を行うには、あらかじめGPS機能を有効にする必要があります。GPS機能の設定方法については、「位置情報サービスを設定する」(▶P.191)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、マップ画面→[メニュー]→[How to use]と操作してHow to useをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ ▦ →[G'zWORLD]

マップ画面が表示されます。

- 初回起動時には、スタートアップガイドが表示されます。左右にフリック／スライドすると、ページが切り替わります。「Close」をタップすると、マップ画面が表示されます。

memo

◎LIVE Gは、自然情報の配信やセンサー情報、フィールドアクティビティの記録･共有を通じてアウトドアやレジャーをより楽しんでもらうためのサービスです。

ファイル管理

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)を本製品に取り付けて、データを保存することができます。また、メールやブラウザのブックマークなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。その場合は、ホーム画面→ [アプリ一覧アイコン] →[設定]→[ストレージ]→[SDカード内データを消去]を実行してください。なお、「SDカード内データを消去」を実行すると、microSDメモリカード内のすべてのデータが消去されますのでご注意ください。
◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。

■取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動/コピーしているときに、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、本製品や機器の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
  本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。
- 本製品にmicroSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- microSDメモリカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDメモリカードを利用することができません。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。また、端子付近の本体背面を強く押さないでください。端子が破損することがあります。
- 爪ではじいたりするとmicroSDメモリカードが勢いよく飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- microSDメモリカードによっては初期化しないと使えないものがあります。本製品で初期化してからご使用ください。

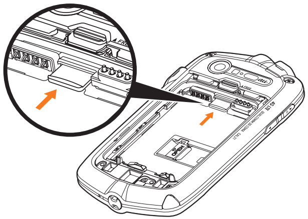
microSDメモリカードを取り付ける

1 本製品の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」（▶P.33）をご参照ください。

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



（表面）



3 電池パックを取り付け、電池フタを装着する

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

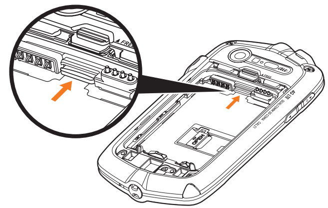
microSDメモリカードを取り外す

1 本製品の電源を切り、電池フタと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」（▶P.33）をご参照ください。

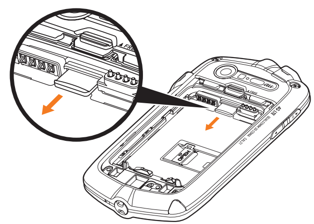
2 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



3 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。



4 電池パックを取り付け、電池フタを装着する

memo

◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

パソコンと接続する

microSDメモリカードを取り付けた本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続して、本製品に取り付けたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。
パソコンに本製品のUSBドライバがインストールされている場合は、パソコンの充電可能なUSBポートに接続することで本製品を充電できます。

- USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
  auのホームページ：http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html

memo

◎microSDメモリカード内のデータについては、「microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する」（▶P.166）をご参照ください。
◎USBドライバがインストールされていない状態で、パソコンに本製品を接続すると、正常に動作しない場合があります。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）を本製品に接続

お買い上げ時の設定では、外部メモリ転送モードでパソコンと接続されます。

■USB接続時の動作を変更する場合

3 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

4 ［外部メモリ転送モードとして接続］

USB接続時の動作を変更していた場合は、「USBテザリングモードとして接続」、「USB PC Linkモードとして接続」、「メディアデバイスとして接続」、「カメラとして接続」のいずれかが通知パネルに表示されますので、タップしてください。

5

外部メモリ転送モード	外部メモリ転送モードでパソコンと接続します。
USBテザリング	▶P.176「テザリングを利用する」
USB PC Link	USB PC Linkモードでパソコンと接続します。 ▶P.166「PC Linkを利用する」
メディアデバイス(MTP)	WindowsまたはMacでAndroid File Transferを使用して、メディアファイルを転送できるようにします。
カメラ(PTP)	カメラソフトやMTP非対応のパソコンからファイルを転送できるようにします。

memo

◎Windows XP／Windows Vista／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。
◎USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01（別売）を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
◎通信中に電池パックやmicroSDメモリカードを取り外さないでください。
◎パソコンに本製品のUSBドライバがインストールされている場合は、パソコンの充電可能なUSBポートに接続すると、本製品のLEDランプが点灯し、充電されます。充電が完了すると、LEDランプが消灯します。

■外部メモリ転送モードでパソコンと接続する

本製品をリムーバブルディスクとして利用することができます。
あらかじめパソコンと本製品を接続し、外部メモリ転送モードにしてください。

1 外部メモリ転送モードでパソコンと接続

2 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 ［USB接続］→［USBストレージをONにする］

本製品に取り付けたmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。
パソコンを操作することで、本製品をリムーバブルディスクとして利用できるようになります。

4 パソコンを操作してデータを転送

5 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、本製品を停止

6 microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す

microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

memo

◎マウント中は、本製品のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作すると再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、外部メモリ転送モードを解除してから再度操作してください。
◎マウント中は、microSDメモリカードにインストールしたアプリケーションを起動することはできません。

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する

microSDメモリカードの内容をパソコンで確認する方法は、次の2つがあります。

- 本製品にmicroSDメモリカードを取り付けたまま、本製品とパソコンを接続する方法（▶P.164「パソコンと接続する」）
- microSDメモリカードを本製品から外し、パソコンのmicroSDメモリカードリーダーに取り付ける方法

パソコンでmicroSDメモリカードの内容を表示した場合のフォルダ構成例は、次の通りです。

- リムーバブル ディスク(E)
  - android_secure ― アプリケーション
  - Android ― 各種アプリケーションのデータを保存
  - DCIM ― 本製品のカメラで撮影したデータを保存
  - LOST.DIR ― 破損したデータ
  - private
    - PV ― 著作権保護機能対応データを保存
  - LISMO ― LISMO関連
  - SD_VIDEO ― 本製品のカメラで撮影した動画データなどを保存

memo

◎ご使用状況によって、microSDメモリカードの内容は異なる場合があります。

PV／LISMOフォルダについて

◎本製品から操作するためのフォルダです。これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。本製品でデータを正常に表示できなくなる可能性があります。

PC Linkを利用する

microUSBケーブル01（別売）またはWi-Fi®でパソコンと本製品を接続すると、パソコン上にインストールした専用ソフトや、パソコンのWEBブラウザから本製品のデータを操作することができます。

■専用ソフトでできる操作

- パソコンと本製品との間でのファイルのコピー
- 本製品の画像、動画をパソコンにバックアップ（おまかせコピー）
- 本製品の連絡先、メール、ブックマークのインポート／エクスポート
- 指定したWEBサイトを本製品で開く
- アプリケーションを本製品で検索

■WEBブラウザでできる操作

- 本製品の連絡先、ブックマークの閲覧／編集
- 本製品のギャラリーの閲覧

接続の準備をする

■microUSBケーブル01（別売）で接続する場合

1 USB PC Linkモードでパソコンと接続

接続方法については、「パソコンと接続する」（▶P.164）をご参照ください。

2 ホーム画面→ →［設定］→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→［PC Link］

ホスト名が表示されます。ホスト名は変更することができます。

3 ［OK］

PC LinkがONになります。

4 ［PC Link設定］→［USB PC Link］

USB接続での利用を開始します。

■ Wi-Fi®で接続する場合

1 Wi-Fi®でパソコンと接続可能な状態にする

Wi-Fi®については、「Wi-Fi®を利用する」(▶P.173)をご参照ください。

2 ホーム画面→ →[設定]→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→[PC Link]

ホスト名が表示されます。ホスト名は変更することができます。

3 [OK]

PC LinkがONになります。

専用ソフトでPC Linkを利用する

専用ソフトをご利用になる場合は、あらかじめパソコンに専用ソフトをインストールしてください。専用ソフトは下記のホームページからダウンロードできます。

http://k-tai.casio.jp/support/

1 接続の準備をする

「接続の準備をする」(▶P.166)をご参照ください。

2 パソコン上で専用ソフトを起動

3 専用ソフトを操作してホスト名を入力→ユーザー名/パスワードを設定

ホスト名は、ホーム画面→ →[設定]→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→[PC Link設定]→[ホスト名変更]と操作すると確認できます。

4 ステータスバーを下向きにフリック/ドラッグ

通知パネルが表示されます。

5 [ユーザ登録通知]

6 本製品に表示されたIDと、パソコンで入力したユーザー名が同じか確認→[はい]→[OK]

専用ソフトから本製品のデータを操作できるようになります。

パソコンのWEBブラウザでPC Linkを利用する

1 接続の準備をする

「接続の準備をする」(▶P.166)をご参照ください。

2 パソコン上でWEBブラウザを起動

3 WEBブラウザを操作して接続URLにアクセス→ユーザー名/パスワードを設定

接続URLは、ホーム画面→ →[設定]→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→[PC Link設定]と操作すると、「接続URL表示」欄に表示されます。

4 ステータスバーを下向きにフリック/ドラッグ

通知パネルが表示されます。

5 [ユーザ登録通知]

6 本製品に表示されたユーザー名と、パソコンで入力したIDが同じか確認→[はい]→[OK]

WEBブラウザから本製品のデータを操作できるようになります。

PC Link設定をする

1 **ホーム画面→ ▦ →[設定]→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→[PC Link設定]**

2

PC Link	PC LinkのON／OFFを切り替えます。
USB PC Link	USB接続でのPC LinkのON／OFFを切り替えます。
接続URL表示	PC LinkでパソコンのWEBブラウザから本製品にアクセスする際に使用するURLが表示されています。
ホスト名変更	本製品のホスト名を変更します。
ユーザー名/Password初期化	PC Linkでパソコンから本製品にアクセスする際のユーザー名とパスワードを削除します。

ファイルマネージャーを利用する

本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されているファイルをファイルマネージャーから利用できます。また、ファイルやフォルダのコピー、移動、削除などができます。

1 **ホーム画面→ ▦ →[ファイルマネージャー]**

ファイルマネージャー画面が表示されます。

- 「/mnt/sdcard」フォルダは、本体メモリのトップフォルダです。
- 「/mnt/sdcard」フォルダで「external_sd」フォルダをタップすると、microSDメモリカードの内容を表示できます。

2 **フォルダをタップ**

- 🏠をタップすると、「/mnt/sdcard」フォルダに戻ります。
- ⬆をタップすると、1つ上のフォルダに戻ります。

3 **ファイルをタップ**

対応するアプリケーションが起動して、画像ファイルや動画ファイルの場合は表示／再生されます。

memo

◎一部のファイルについては利用できない場合があります。その場合は、対応するアプリケーションでファイルを利用してください。

◎ファイルマネージャー画面で ☰ をタップすると、フォルダの作成、複数のフォルダ／ファイルを選択してコピー、移動、削除、名前の変更、詳細情報の表示ができます。

◎ファイルマネージャー画面でフォルダ／ファイルをロングタッチすると、フォルダ／ファイルのコピー、移動、削除、名前の変更、詳細情報の表示ができます。

メモリの使用量を確認する

本体メモリとmicroSDメモリカードの容量の確認や、microSDメモリカードのデータの消去などを行うことができます。

1 **ホーム画面→ →[設定]→[ストレージ]**

ストレージ画面が表示されます。

2

項目	説明
内部ストレージ	本体メモリの使用状況、合計容量、使用内訳、空き容量が表示されます。
SDカード	microSDメモリカードの使用状況、合計容量、使用内訳、空き容量が表示されます。 • メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
SDカードをマウント／SDカードのマウント解除	microSDメモリカードのマウント／マウント解除を行います。 • マウントを解除すると、本製品からmicroSDメモリカードを利用できなくなります。 • microSDメモリカードにデータを保存中は、マウントを解除できません。
SDカード内データを消去	microSDメモリカード内のすべてのデータを消去します。 • データの消去は充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。 • データを消去することで、microSDメモリカードは初期化されます。

memo

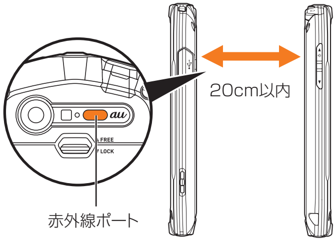
◎ストレージ画面で →[USBでパソコンに接続]と操作すると、本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続したときの動作を設定できます。（▶P.164「パソコンと接続する」）

データ通信

赤外線通信を利用する

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、本製品の赤外線ポート部分を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま、動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



memo

◎ 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎ 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎ 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎ 送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎ 赤外線通信中に着信、アラームなど、他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。

赤外線でデータを送信する

連絡先をvCard形式で全件送信できます。また、JPEG、GIF、PNG、WEBP形式の静止画を送信できます。

■ 連絡先を全件送信する

1 ホーム画面→ [アプリ] →[ユーザー]

連絡先一覧画面が表示されます。

2 [メニュー] →[インポート／エクスポート]→[表示可能な連絡先を共有]→[赤外線]→[OK]

■ 画像を送信する

1 ホーム画面→ [アプリ] →[ギャラリー]

2 アルバムを選択→送信する画像をタップ

3 [共有] →[すべて見る...]→[赤外線]→[OK]

赤外線でデータを受信する

vCard形式の連絡先を受信できます。また、JPEG、GIF、PNG、WEBP形式の静止画を受信できます。受信した静止画はギャラリーで閲覧できます。

1 **ホーム画面→ ▦ →[赤外線受信]→[OK]**

連絡先の登録先アカウントを選択する画面が表示された場合は、タップして選択してください。

2 **[OK]→[OK]**

memo

◎データによっては、受信しても登録や再生、保存ができない場合があります。

Wi-Fi®を利用する

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

無線LAN(Wi-Fi®)を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。



memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。

◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。

◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。

◎無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®をONにする

1 ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→「Wi-Fi」の「OFF」をタップして「ON」に切り替える

確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

アクセスポイントに接続する

1 ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→[Wi-Fi]

Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-Fi®がONになっている場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 接続したいアクセスポイントをタップ

3 パスワードを入力→[接続]

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。
接続が完了すると、ステータスバーに [アイコン] が表示されます。

memo

◎アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。
◎アクセスポイントに接続する際の優先順位を変更する場合は、Wi-Fi設定画面→[アイコン]→[優先順位変更]→アクセスポイントを上下にドラッグして移動→[OK]と操作します。

アクセスポイントを登録する

ご自宅などのアクセスポイントを登録する

■AOSSマークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[接続簡単設定]→[AOSS方式]

初回起動時には、ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。
内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 [AOSS™]

アクセスポイント機器(無線LAN親機)のAOSSボタンを長押しすると登録されます。
登録が終了すると、確認画面が表示されます。

3 [OK]

■WPSマークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[接続簡単設定]→[WPS(プッシュボタン)]

アクセスポイント機器(無線LAN親機)の専用ボタンを押すと登録されます。
登録が終了すると、確認画面が表示されます。

2 [OK]

■Wi-Fi HOME SPOTのアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[接続簡単設定]→[かんたん接続(宅内)]

アクセスポイント機器(無線LAN親機)のボタンを点滅するまで押すと登録されます。
登録が終了すると、確認画面が表示されます。

2 [OK]

memo

◎アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器（無線LAN親機）側の取扱説明書や設定をご確認ください。
◎接続簡単設定で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面→［ネットワークを追加］

2 ネットワークSSIDを入力

3 「セキュリティ」欄をタップ

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

4 ［保存］

■ セキュリティを「WEP」、「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

4 パスワードを入力

「パスワードを表示する」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

5 ［保存］

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

4 必要な項目を設定／入力

5 ［保存］

memo

◎手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
◎Wi-Fi設定画面→アクセスポイントをロングタッチ→［ネットワークを変更］と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

Wi-Fi®を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のアクセスポイントをタップ

2 ［切断］

memo

◎切断すると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®の詳細設定をする

1 Wi-Fi設定画面→ ☰ →［詳細設定］

2

ネットワークの通知	Wi-Fi®のオープンネットワークを検出したとき、通知するかどうかを設定します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	スリープ時にWi-Fi®接続を維持するかどうかを設定します。 • 「使用しない（データ使用量が増加）」を選択すると、パケット通信のデータ量が増加する可能性があります。
ハンドオーバー	ハンドオーバーを有効にするかどうかを設定します。 • 有効にすると、ネットワークSSID、セキュリティのタイプ、パスワードが同一のアクセスポイントを移動中に切り替えながら利用できます。

Wi-Fi周波数帯域	Wi-Fi®の周波数帯を設定します。 • 海外では、5GHzはご利用になれません。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	現在使用しているIPアドレスを表示します。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応機器と本製品を接続して、データのやりとりができます。

1 ホーム画面→ → [設定]
→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ
→[Wi-Fi Direct]

確認画面が表示された場合は、「OK」をタップします。
Wi-Fi DirectがONになります。

2 [Wi-Fi Direct設定]

使用可能なWi-Fi Direct対応機器が表示されます。

memo

◎ Wi-Fi Directでは、「Wi-Fi」の「Wi-Fi周波数帯域」の設定にかかわらず2.4GHzが使用されます。

テザリングを利用する

USBテザリングをONにすると、本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続することで、パソコンからインターネットにアクセスできます。
Wi-FiテザリングをONにすると、本製品をWi-Fi®のアクセスポイント（無線LAN親機）として利用できます。最大10台の無線LAN機器を本製品に接続して、無線LAN機器からインターネットにアクセスできます。

1 ホーム画面→ → [設定]
→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ
→[テザリング]

テザリング設定画面が表示されます。

2

USBテザリング		USBテザリングのON／OFFを切り替えます。
Wi-Fiテザリング		Wi-FiテザリングのON／OFFを切り替えます。
Wi-Fiテザリングの設定	アクセスポイント接続簡単設定	WPSに対応した無線LAN機器を本製品に接続させます。
	アクセスポイントを設定	本製品をWi-Fi®のアクセスポイントとして利用する場合のネットワークSSID、セキュリティのタイプ、パスワードを設定します。 • 無線LAN機器に割り当てるIPアドレスを設定することもできます。 • セキュリティを「Open」に設定すると、意図しない機器から接続されるおそれがありますので、ご注意ください。

Wi-Fiテザリングの設定	自動切断設定	本製品に接続している無線LAN機器がない場合に、Wi-FiテザリングをOFFにするまでの時間を設定します。
ヘルプ		テザリングに関するヘルプを表示します。

memo

◎USBテザリングを利用する場合は、あらかじめパソコンに本製品のUSBドライバをインストールしてください。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
auのホームページ：**http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html**

◎USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（対応OS）は、次の通りです。
- Windows XP
- Windows Vista（32bit／64bit）
- Windows 7（32bit／64bit）

◎Wi-Fiテザリングでは、「Wi-Fi」の「Wi-Fi周波数帯域」の設定にかかわらず2.4GHzが使用されます。

◎Wi-Fiテザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

※Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

Bluetooth®機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽などを聴くことができます。

memo

◎SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

連絡先、カメラで撮影したデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

■Bluetooth® low energy対応機器との連携

Bluetooth® low energy対応のG-SHOCKなどに、電話の着信やメール受信を通知することなどができます。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証するものではありません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎microUSBケーブル01(別売)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中(ペアリング中)」、「データ送受信中」、「接続相手の検索中や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器と本製品の間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器と本製品の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、応答することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合はBluetooth®通信が終了します。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

■Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN機能を搭載した機器の電源を切ってください。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®　v4.0
出力	Bluetooth®　Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内

データ通信

対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) Ver.1.3 OPP(Object Push Profile) SPP(Serial Port Profile) PBAP(Phone Book Access Profile)※3 Bluetooth® low energy (ANP, PASP, FMP, TIP, PXP) HID(Human Interface Device Profile)
使用周波数帯	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 連絡先データの内容によっては、相手の機器で正しく表示されない場合があります。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
Bluetooth® low energy	Bluetooth® low energy対応機器と省電力で通信するための規格です。
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス(12桁の英数字)です。 登録した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP (Headset Profile)	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP (Hands-Free Profile)	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
OPP (Object Push Profile)	カーナビ、パソコンなどと連絡先データなどを送受信するためのプロファイルです。
SPP (Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
PBAP (Phone Book Access Profile)	連絡先データを転送するためのプロファイルです。
OBEX (Object Exchange)	画像データや連絡先データのファイル交換を行うための規格です。
HID(Human Interface Device Profile)	Bluetooth®対応のキーボードやマウスなどで本製品を操作するためのプロファイルです。
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。本製品では、4桁の数字を入力できます。
パスキー	パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリです。
オーディオ出力対応機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。 本製品では、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®機能をONにする

1 ホーム画面→ ▦ →[設定]→「Bluetooth」の「OFF」をタップして「ON」に切り替える

memo

◎ Bluetooth®通信を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をOFFにしてください。
◎ Bluetooth®機能のON／OFFは、電源を切っても変更されません。
◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では使用できません。

Bluetooth®対応機器と接続する

Bluetooth®対応機器とペア設定を行う

本製品と初めて接続するBluetooth®対応機器の場合は、ペア設定を行ってください。一度ペア設定を行うと、設定は本製品に記憶されます。
ペア設定は、あらかじめ次の準備を行った後で実行してください。

- 本製品のBluetooth®機能をONにしてください。
- ペア設定をするBluetooth®対応機器のBluetooth®機能をONにして、検出可能な設定にしてください。
- Bluetooth®対応機器を本製品から10m以内に設置してください。

1 ホーム画面→ ▦ →[設定]→[Bluetooth]

Bluetooth設定画面が表示されます。

- 「使用可能なデバイス」の一覧に、接続したい機器が表示されているときは操作3に進みます。
- Bluetooth® low energy対応機器とペア設定を行う場合は、「Bluetoothデバイスの切替」をタップして「Bluetooth low energy」に切り替えます。

2 [デバイスの検索]

ペア設定済みの機器と、新たに検出された機器がBluetooth設定画面の一覧に表示されます。

3 ペア設定を行いたい機器をタップ

4 本製品とBluetooth®対応機器で、それぞれ画面の指示に従って操作する

Bluetooth®対応機器との接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続中の機器をタップ→[OK]

ペア設定を残したまま接続が解除されます。

memo

◎ ペア設定を解除する場合は、ペア設定済みの機器の右にある ☷ をタップ→[ペアを解除]と操作してください。

Bluetooth設定画面のメニューを利用する

1 Bluetooth設定画面→☰

2

端末の名前を変更	他のBluetooth®対応機器に表示される本製品の端末名を変更できます。
表示のタイムアウト	他のBluetooth®対応機器から検出可能な時間を設定できます。 ・「タイムアウトしない」に設定すると、自動的に検出不可になりません。
受信済みファイルを表示	Bluetooth®通信で受信したファイルを確認できます。

Bluetooth®通信でファイルを送受信する

Bluetooth®通信でファイルを送信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をONにしてください。また、送信先のBluetooth®対応機器とペア設定を行ってください。

■ ギャラリーから本製品で撮影したデータを送信する場合

1 ホーム画面→ ▦ →[ギャラリー]

アルバム選択画面が表示されます。

2 アルバムを選択→送信したいデータをタップ

3 ≺ →[すべて見る...]→[Bluetooth]

4 ペアリングされたデバイスの一覧で送信先のBluetooth®対応機器をタップ

相手のBluetooth®対応機器によっては、受信を許可するなどの操作が必要な場合があります。

送信を完了するとステータスバーに ⬆ が表示されます。

Bluetooth®通信でファイルを受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をONにしてください。また、送信先のBluetooth®対応機器とペア設定を行ってください。

1 送信側のBluetooth®対応機器からファイルを送信する

ステータスバーにファイル着信を知らせる ✱ が表示されます。

2 ステータスバーを下向きにフリック/ドラッグ

3 [Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

受信を完了するとステータスバーに ⬇ が表示されます。

Bluetooth® low energyを設定する

Bluetooth® low energy対応機器への電話着信通知やメール受信通知、時刻の同期などを設定できます。

memo

◎ Bluetooth® low energy対応機器とあらかじめペア設定済みの場合のみ設定できます。

1 Bluetooth設定画面→「Bluetoothデバイスの切替」をタップして「Bluetooth low energy」に切り替える

2 ☰ →[詳細設定]

3

Alert Notification	電話着信通知	電話の着信と不在着信件数をBluetooth® low energy対応機器に通知するかどうかを設定します。 • 通知対象を「連絡先登録有りのみ」「指定連絡先のみ」に限定することもできます。
	メール受信通知	メール受信をBluetooth® low energy対応機器に通知するかどうかを設定します。 • 通知対象を「連絡先登録有りのみ」「指定連絡先のみ」に限定したり、メールアプリケーションごとに通知のON／OFFを設定することもできます。
	アラーム鳴動通知	アラームをBluetooth® low energy対応機器に通知するかどうかを設定します。
	スケジュール鳴動通知	スケジュールアラームをBluetooth® low energy対応機器に通知するかどうかを設定します。
Find Me		本製品を探すためのアラーム音を設定します。
Proximity		Bluetooth®通信切断時の通知レベルを設定します。
Time		本製品の時刻にBluetooth® low energy対応機器の時刻を同期させるかどうかを設定します。

memo

◎ Bluetooth® low energy対応機器によっては、本製品の通知パネルに表示されている情報と差異が生じる場合があります。

端末設定

設定メニューを表示する

1 ホーム画面→ → [設定]

設定メニュー画面が表示されます。

■設定メニュー項目一覧

項目		説明
無線とネットワーク		
Wi-Fi		Wi-Fi®（無線LAN）機能を設定します。 ▶P.173「Wi-Fi®を利用する」
Bluetooth		Bluetooth®機能を設定します。 ▶P.177「Bluetooth®機能を利用する」
データ使用		データ通信量の記録が表示されます。データ通信の有効／無効や、通信量の制限を設定できます。☰をタップすると、データローミングの有効／無効、バックグラウンドでのデータ通信の制限なども設定できます。
通話設定		留守番電話や伝言メモの設定など、通話に関する設定を行います。 ▶P.185「通話関連機能の設定をする」
その他...	機内モード	通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。 ▶P.186「機内モードを設定する」
	VPN	VPNを設定します。 ▶P.186「VPNを設定する」
	テザリング	パソコンなどからインターネットに接続するためのテザリングを設定します。 ▶P.176「テザリングを利用する」
	Wi-Fi Direct	Wi-Fi DirectのON／OFFを切り替えます。
	Wi-Fi Direct設定	Wi-Fi Direct対応機器と本製品を接続するための設定をします。 ▶P.176「Wi-Fi Directを設定する」
	モバイルネットワーク	データ通信やローミングなどの設定をします。 ▶P.186「モバイルネットワーク設定をする」
	PC Link	PC LinkのON／OFFを切り替えます。
	PC Link設定	PC Linkでパソコンから本製品のデータを操作するための設定をします。 ▶P.166「PC Linkを利用する」
端末		
音/バイブレーション		マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレータに関する設定を行います。 ▶P.187「音・バイブレータを設定する」
ディスプレイ		画面の明るさや、画面の自動回転、フォントサイズなどの設定を行います。 ▶P.188「画面・ランプを設定する」
ecoモード		ecoモードを設定します。 ▶P.189「ecoモードを設定する」
ストレージ		本体メモリとmicroSDメモリカードの容量の確認や、microSDメモリカードのデータの消去などを行います。 ▶P.169「メモリの使用量を確認する」
電池		電池残量や、電池の使用状況を表示します。
アプリ		本製品にインストールされたアプリケーションの管理などを行います。 ▶P.189「アプリケーションを管理する」
ユーザー設定		
au ID設定		au IDを設定します。 ▶P.40「au IDを設定する」
アカウントと同期		アカウントの追加や、データの自動同期を設定します。 ▶P.190「アカウントと同期を設定する」
位置情報サービス		位置情報サービスの利用について設定します。 ▶P.191「位置情報サービスを設定する」

セキュリティ		ロック解除セキュリティの設定や、おサイフケータイロックの設定など、セキュリティに関する設定を行います。 ▶P.191「セキュリティを設定する」
言語と入力		本製品で使用する言語や文字入力の設定を行います。 ▶P.193「使用する言語や入力の設定をする」
バックアップとリセット		バックアップと復元の設定や、本製品の初期化を行います。 ▶P.194「バックアップ・リセットする」
その他...	SNSシェア	SNSシェアの設定を行います。 ▶P.194「SNSシェアを設定する」
システム		
日付と時刻		日付や時刻の設定を行います。 ▶P.194「日付と時刻を設定する」
ユーザー補助		ユーザー補助の設定を行います。 ▶P.194「ユーザー補助を設定する」
開発者向けオプション		USBデバッグなど開発者向けの機能の設定を行います。
端末情報		本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、本製品のアップデートを行います。 ▶P.195「端末情報の確認・アップデートをする」

通話関連機能の設定をする

1 **設定メニュー画面→[通話設定]**

2

電源キーで通話を終了	通話中に[⏻]を押した場合、通話を終了するかどうかを設定します。

伝言メモ	伝言メモ	伝言メモのON／OFFを切り替えます。 • 一定の時間が経過しても電話に出られなかったときに、伝言メモで応答して相手の方の伝言を録音できます。
	伝言メモ再生	伝言メモの一覧が表示されます。 • 伝言メモをタップすると再生されます。 • 伝言メモをロングタッチ→[削除]→[OK]と操作すると削除できます。
	伝言メモ設定	伝言メモで応答するまでの時間と応答メッセージを設定します。
着信拒否	連絡先登録外番号	連絡先に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
	通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
	公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
	非通知設定	電話番号を通知しない着信を拒否します。
	指定電話番号	着信拒否リストに登録した電話番号からの着信を拒否するかどうかを設定します。 • 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。
	着信拒否リスト	着信拒否リストを表示します。 • 電話番号を登録するには、[電話番号を追加]→電話番号を入力→[OK]と操作します。をタップすると、連絡先／通話履歴の電話番号を登録できます。
国際ダイヤルアシスト設定		▶P.216「国際ダイヤルアシスト設定をする」

留守番電話		▶P.203「お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）」
転送電話		▶P.198「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」
その他	ガイダンス言語設定	auのネットワークサービスの音声ガイダンスを英語／日本語に切り替えます。
	割込通話サービス開始	▶P.201「割込通話サービスを開始する」
	割込通話サービス停止	▶P.201「割込通話サービスを停止する」
	お客さまセンター	auのお客さまセンター（通話料無料）に電話をかけます。

機内モードを設定する

電話、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能など通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。

1 設定メニュー画面→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→［機内モード］

memo

◎ ⏻（2秒以上長押し）→［機内モード］と操作しても機内モードに設定できます。
◎ 携帯電話の使用が禁止されている場所（航空機内、医療機器や電子機器のそばなど）では、電源をOFFにしてください。
◎ 機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。
※電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。

VPNを設定する

VPN（Virtual Private Network）は、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

1 設定メニュー画面→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→［VPN］

VPN画面が表示されます。

2 ［VPNネットワークの追加］→VPN管理者の指示に従い各項目を設定→［保存］

memo

◎ VPNに接続するには、VPN画面でVPN名をタップ→必要に応じてユーザー名とパスワードを入力→［接続］と操作します。

モバイルネットワーク設定をする

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

1 設定メニュー画面→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→［モバイルネットワーク］

2

データ通信を有効にする	データ通信を有効にするかどうかを設定します。 •「データ通信を有効にする」のチェックを外すとデータ通信が無効になり、CDMA 1XWIN（国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む）／LTE通信でのパケット通信ができなくなります。
データローミング	▶P.215「データローミングを設定する」

ローミング設定		▶P.214「海外利用に関する設定を行う」
auネットワーク設定	高度な設定	接続モードと、CPAアクセスポイントを設定します。 • 通常は「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にすると、データ通信を行えなくなる場合があります。 • CPAアクセスポイントの設定には、ユーザー名やパスワードなどの情報が必要です。
	LTE利用	LTEを利用するかどうかを設定します。 • フェムトセルをご利用の際は、チェックを外してください。

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

音・バイブレータを設定する

1 **設定メニュー画面→[音/バイブレーション]**

2

音量	音楽や動画などメディア再生時の音量、着信音と通知音の音量、アラームの音量をそれぞれ設定します。
マナーモード	マナーモードを設定します。 • ⏻（2秒以上長押し）→ （ミュート）／ （バイブレーションあり）／ （マナーモードOFF）をタップしてもマナーモードを設定できます。 • マナーモード中でも、カメラのシャッター音や撮影開始／終了音は鳴動します。
マナー中のメディア音	マナーモード中に「音楽、動画、ゲーム、その他のメディア」の音量に従って音を鳴らすかどうかを設定します。
着信音	着信音を設定します。
デフォルトの通知音	デフォルトの通知音を設定します。
バイブレータ	着信時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。

受信リマインダー設定	受信リマインダーを有効にする	受信リマインダーを有効にするかどうかを設定します。 • 受信リマインダーを有効にすると、アプリからの通知がある場合、本製品をお持ちの方が立ち止まったときに再通知します。 なお、着信中、通話中、画面点灯中は、再通知しません。
	起動中アイコンを表示する	ステータスバーに受信リマインダー起動中アイコンを表示するかどうかを設定します。
	オプション設定	受信リマインダーによる再通知の回数、通知対象のアプリ、通知方法を設定します。
ダイヤルのタッチ操作音		ダイヤルパッドのタッチ操作音の音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作音		タッチ操作音の音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音		画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ		タッチパネル操作時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
サラウンド		メディア再生時のサラウンド効果を設定します。
イヤホン補正		メディア再生時のイヤホン補正を設定します。

画面・ランプを設定する

1 **設定メニュー画面→［ディスプレイ］**

2

画面の明るさ		画面の明るさを設定します。 • 「自動調整」を有効にすると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。 • 「自動調整」を有効にすると、「屋外最適化」を有効にするかどうかを設定できます。「屋外最適化」を有効にすると、昼間の野外など明るい場所でさらに画面を見やすくするため自動的に画面が調整されます。
壁紙		ホーム画面の壁紙を設定します。
ディスプレイを高画質化		映像に応じて画質を自動的に最適化するかどうかを設定します。
画面の自動回転		本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
スリープ		スリープモードに入るまでの時間を設定します。
フォント選択		画面表示で使用する文字の種類を設定します。
フォントサイズ		画面表示で使用する文字のサイズを設定します。
タッチパネル設定	高感度タッチ	タッチパネルを高感度にするかどうかを設定します。 • 感度の感じかたには個人差があります。
卓上ホルダメニュー利用		卓上ホルダに本製品をセットしたとき、卓上ホルダメニューを表示するかどうかを設定します。

機能スイッチ設定	機能スイッチに表示するアイコンを変更したり、アイコンの表示順を変更します。
着信ランプ	LEDランプの点灯パターン・点灯色を設定します。
お知らせランプ	不在着信や新着メールがある場合にLEDランプを点滅させるかどうかを設定します。

ecoモードを設定する

1 設定メニュー画面→[ecoモード]

2

ecoモード	OFF	ecoモードをOFFにします。
	オート	「オート設定」で設定した電池残量や時間設定に応じて、自動的に「お好みecoモード」または「しっかりecoモード」にします。
	お好みecoモード	「お好みecoモード設定」の内容でecoモードにします。
	しっかりecoモード	電池の消費を極力抑えたecoモードにします。
お好みecoモード設定	画面を暗くする	画面を暗くするかどうかを設定します。
	画面の自動回転停止	画面の自動回転をOFFにするかどうかを設定します。
	スリープ	スリープモードに入るまでの時間を設定します。
	BluetoothをOFF	Bluetooth®機能をOFFにするかどうかを設定します。
	Wi-FiをOFF	Wi-Fi®をOFFにするかどうかを設定します。
	GPS機能をOFF	GPS機能をOFFにするかどうかを設定します。
	同期を停止	自動同期を停止するかどうかを設定します。
	ライブ壁紙を停止	ライブ壁紙を停止するかどうかを設定します。 • ホーム画面にライブ壁紙を表示していた場合、静止画の壁紙が表示されます。
オート設定	電池残量	「ecoモード」を「オート」にしたとき、自動で「お好みecoモード」または「しっかりecoモード」をONにする電池残量を設定します。
	時間設定	「ecoモード」を「オート」にしたとき、自動で「お好みecoモード」または「しっかりecoモード」をONにする時間を設定します。
節電のすすめ		電池の消費を抑えるコツを表示します。

アプリケーションを管理する

1 設定メニュー画面→[アプリ]

アプリ画面が表示されます。

画面上部のタブを左右にスライド/フリックすると、タブをスクロールさせることができます。

2

ダウンロード済み	ダウンロードしたアプリケーションの一覧が表示されます。
SDカード上	microSDメモリカードに移動可能なアプリケーションの一覧が表示されます。 • microSDメモリカードに移動されているアプリケーションには、一覧のチェックボックスにチェックが表示されます。

実行中	実行中のサービス／キャッシュしたプロセスの一覧が表示されます。 • 画面下部の「キャッシュしたプロセスを表示」／「実行中のサービスを表示」をタップすると、表示を切り替えられます。
すべて	本製品にインストールされているすべてのアプリケーションの一覧が表示されます。

memo

◎アプリ画面でアプリケーション名をタップすると、アプリ情報画面が表示されます。アプリ情報画面では、アプリケーションの強制停止や、無効化、アンインストール、データの消去、アプリケーションのmicroSDメモリカード／内部ストレージへの移動、キャッシュの消去、設定の消去などができます。

◎アプリケーションを強制停止すると、アプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

アプリケーションの無効化について

◎アプリケーションを無効にすると、アプリトレイに表示されなくなり、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスを無効にできます。

◎アプリケーションを無効にすると、無効にしたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリケーションを有効にすると正しく動作します。

インストールされたアプリケーションを削除する

1 設定メニュー画面→［アプリ］→［ダウンロード済み］

ダウンロードしたアプリケーションの一覧が表示されます。

2 削除するアプリケーションをタップ→［アンインストール］→［OK］→［OK］

memo

◎アプリケーションによっては削除できないものもあります。

アカウントと同期を設定する

memo

◎Exchangeサーバと同期する場合、グループが設定されている連絡先は同期されません。

アカウントのデータを自動同期する

1 設定メニュー画面→［アカウントと同期］

2 「OFF」をタップして「ON」に切り替える

手動で同期する

自動同期がOFFの場合は、手動でアカウントのデータを同期できます。

1 設定メニュー画面→［アカウントと同期］

2 同期するアカウントをタップ

3 同期する項目をタップ

アカウントを追加／削除する

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面→［アカウントと同期］→［アカウントを追加］

2 追加するアカウントをタップ

3 画面の指示に従って操作する

■ アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→削除するアカウントをタップ

2 ☰→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、本製品を初期化する必要があります。(▶P.194「バックアップ･リセットする」)

位置情報サービスを設定する

1 設定メニュー画面→[位置情報サービス]

2

Googleの位置情報サービス	Wi-Fi®またはモバイルネットワークを使用して位置情報を取得するかどうかを設定します。
GPS機能	GPS機能を使用して位置情報を取得するかどうかを設定します。 • 電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。 • 電波が良好な場所でご利用ください。
位置情報とGoogle検索	現在地情報をGoogle の検索結果やサービスで利用するかどうかを設定します。

セキュリティを設定する

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]

2

ロック解除セキュリティの設定	なし	ロック解除セキュリティを無効にします。 • 「なし」に設定すると、「ロック解除セキュリティの設定」で登録したロックNo.などの情報は削除されます。
	タッチ	アイコンをダブルタップすることでロックを解除できるようにします。
	フェイスアンロック	顔認識で、ロックを解除できるようにします。
	パターン	ロック解除パターンを入力することで、ロックを解除できるようにします。
	ロックNo.	ロックNo.を入力することで、ロックを解除できるようにします。 • 4～16桁のお好みの数字に設定できます。
	パスワード	パスワードを入力することで、ロックを解除できるようにします。 • 4～16桁のお好みの英数字･記号に設定できます。
顔認識の精度を改善		フェイスアンロックのための顔を撮影し、顔認識の精度を改善します。
パターンを表示する		ロック解除パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック		スリープモードに入ってから画面をロックするまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする		⏻ を押したとき、すぐに画面をロックするかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ		ロック解除操作時にバイブレータを振動させるかどうかを設定します。

所有者情報		ロック解除画面に所有者情報を表示するかどうかを設定します。 • 所有者情報を表示する場合は、所有者情報を入力します。
画面ロックセキュリティ		スリープモードに入ったとき、画面をロックするかどうかを設定します。
おサイフケータイロック設定		▶P.140「おサイフケータイ®の機能をロックする」
指定番号通知設定	連絡先の名前を表示しない	指定番号リストの電話番号から着信があった場合の動作を設定します。
	着信ランプを点灯しない	
	着信音を鳴らさない	
	履歴を残さない	
	指定番号リスト	指定番号リストを表示します。 • 電話番号を登録するには、[電話番号を追加]→名前と電話番号または、電話番号のみを入力→[OK]と操作します。をタップすると、連絡先／通話履歴の電話番号を登録できます。
SIMカードロック設定		▶P.192「SIMカードロックを設定する」
パスワードを表示する		パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者		端末管理者を表示または無効にします。
提供元不明のアプリ		ブラウザでダウンロードしたアプリケーションなど、提供元が不明な場合でもインストールを許可するかどうかを設定します。
セキュリティポリシーの設定		本製品のセキュリティポリシーを設定します。 ※ログ設定で取得可能なURL履歴は、標準ブラウザの履歴となります。
信頼できる認証情報		信頼できるCA証明書を表示します。
SDカードからインストール		証明書をmicroSDメモリカードからインストールします。
認証ストレージの消去		認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

※「ロック解除セキュリティの設定」によっては、設定できない項目があります。

SIMカードロックを設定する

第三者によるau Micro IC Card（LTE）の無断使用を防止するために、au Micro IC Card（LTE）にはPINコード機能があります。

1 **設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]**

2

SIMカードをロック	本製品の起動時にPIN1コードを入力するかどうかを設定します。 **PIN1コードを入力→[OK]**
PIN 1コード変更	PIN1コードを変更します。PIN1コードを変更する場合は、あらかじめ「SIMカードをロック」を有効に設定してください。 **現在のPIN1コードを入力→[OK]→新しいPIN1コードを入力→[OK]→確認のためもう一度新しいPIN1コードを入力→[OK]**

■PINコードが一致しなかった場合

PINコードを3回連続で間違えると、コードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

1 8桁のPINロック解除コードを入力→新しいPIN1コードを入力→確認のためもう一度新しいPIN1コードを入力→[OK]

memo

◎PINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.25)をご参照ください。

使用する言語や入力の設定をする

1 設定メニュー画面→[言語と入力]

2

言語	本製品で表示する言語を選択します。
スペルチェッカー	入力時にスペルチェックをするかどうかを設定します。 • をタップすると、スペルチェッカーの設定を変更できます。
デフォルト	デフォルトで利用するキーボードを選択します。
Androidキーボード	Android キーボード／ATOK／Google 音声入力を有効にするかどうかを設定します。 • をタップすると、設定を変更できます。
ATOK	
Google音声入力	

音声検索	言語	音声検索する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声入力で検索する場合に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのWEBページを規制するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声検索の際、不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	Pico TTS	をタップすると、設定を変更できます。 • 他のテキスト読み上げアプリケーションをインストールした場合は、「優先するエンジン」に表示されます。タップすると、優先して使用するテキスト読み上げアプリケーションを変更できます。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。

memo

◎microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、メジャーアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

バックアップ･リセットする

1 **設定メニュー画面→[バックアップとリセット]**

2

データのバックアップ	アプリケーションデータ、Wi-Fi®パスワード、その他の設定をGoogle のサーバにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	バックアップ先のGoogle アカウントが表示されます。
自動復元	バックアップ済みの設定やその他のデータをアプリケーションの再インストール時に復元するかどうかを設定します。
データの初期化	本体メモリのデータをすべて削除し、本製品をお買い上げ時の状態に戻します。 ・「SDカード内データを消去」にチェックを付けると、microSDメモリカード内のすべてのデータも同時に削除されます。

SNSシェアを設定する

1 **設定メニュー画面→「ユーザー設定」の「その他...」をタップ→[SNSシェア]**

2

カメラ	カメラの静止画撮影画面でSNSシェアを利用するかどうかを設定します。
ギャラリー	ギャラリーでSNSシェアを利用するかどうかを設定します。
共有先の設定	静止画／動画についてSNSシェアを利用する際の選択肢を設定します。

日付と時刻を設定する

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]**

2

日付と時刻の自動設定	ネットワークから通知される日付･時刻情報をもとに自動設定するかどうかを設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワークから通知されるタイムゾーンをもとに自動設定するかどうかを設定します。
日付設定※1	日付を設定します。
時刻設定※1	時刻を設定します。
タイムゾーンの選択※2	タイムゾーンを設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。

※1「日付と時刻の自動設定」のチェックを外すと設定できます。
※2「タイムゾーンを自動設定」のチェックを外すと設定できます。

ユーザー補助を設定する

1 **設定メニュー画面→[ユーザー補助]**

2

（インストールされているサービス）	お買い上げ時は、ユーザー補助アプリケーションは登録されていません。利用する場合は、Google Play などからダウンロードする必要があります。
大きい文字サイズ	画面表示で使用する文字を大きいサイズにするかどうかを設定します。
電源キーで通話を終了	通話中に[⏻]を押した場合、通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。

パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するかどうかを設定します。
押し続ける時間	ロングタッチに必要な時間を設定します。
ウェブスクリプトをインストール	Google からのウェブスクリプトのインストールを許可するかどうかを設定します。

端末情報の確認・アップデートをする

1 設定メニュー画面→[端末情報]

端末情報画面が表示されます。

2

メジャーアップデート	▶P.195「メジャーアップデートをする」
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。

memo

◎端末情報画面では、上記以外にモデル番号やソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

メジャーアップデートをする

メジャーアップデートでは、本製品のソフトウェアを更新できます。本製品のアップデート情報をネットワークに接続して確認し、アップデートが必要な場合にはソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新します。

1 設定メニュー画面→[端末情報]→[メジャーアップデート]

2

更新を開始する	ネットワークを利用して更新	ネットワークを利用してアップデートを行います。
	SDカードを利用して更新	microSDメモリカードを利用してアップデートを行います。
更新の確認		手動でアップデートの有無を確認します。 • 新しいバージョンがリリースされている旨のメッセージが表示された場合は、「OK」を選択するとブラウザが起動してメジャーアップデートの方法が表示されます。内容をご確認ください。
更新を定期的に確認する		アップデートの有無を定期的に自動で確認するかどうかを設定します。
自動ダウンロード		アップデートを自動でダウンロードをするかどうかを設定します。

■ ご利用上の注意

- メジャーアップデートをLTE／3Gネットワークを利用して行う場合は、パケット通信料がかかります。高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。（無線LAN（Wi-Fi®）を利用して通信する場合は、パケット通信料はかかりません。）
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（１５７／通話料無料）までお問い合わせください。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとメジャーアップデートに失敗します。
- 「ネットワークを利用して更新」で更新する場合は、電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、メジャーアップデートに失敗することがあります。

- アップデートしても、本製品に登録された各種データ(連絡先、メール、画像、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- アップデートに失敗したときや中止されたときは「更新を開始する」よりメジャーアップデートを実行し直してください。
- 「自動ダウンロード」は、無線LAN(Wi-Fi®)のみで利用できます。無線LAN(Wi-Fi®)を利用していないお客様は、手動でメジャーアップデートを行ってください。
- アップデートの際、本製品の端末情報(機種名やIMEIなど)が自動的にサーバー(当社が管理するソフトウェア更新用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報を本製品アップデート以外の目的には使用いたしません。

メジャーアップデート中は、次のことを行わないでください

- アップデート中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すとアップデートに失敗することがあります。
- アップデート中は他の機能を起動しないでください。
- アップデート中は移動しないでください。

メジャーアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェア書き換え中は一切の操作ができません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。またアラームなども動作しません。
  ただしダウンロード中は音声着信などが可能です。

メジャーアップデートが実行できない場合などについて

- アップデートに失敗すると、「メジャーアップデート　書換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなる場合があります。このメッセージが表示された場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.99
	着信お知らせサービス	P.198
	着信転送サービス	P.198
	割込通話サービス	P.201
	発信番号表示サービス	P.202
	番号通知リクエストサービス	P.203
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.203
	三者通話サービス	P.209
	迷惑電話撃退サービス	P.210
	通話明細分計サービス	P.211

※有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
　お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

着信お知らせサービスは、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。

電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。

◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。

◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。

◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。

電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。

◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.203）を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。

◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.203）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。

◎無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
　①話中転送　②選択転送　③無応答転送

◎無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」〜「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からG'zOneまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
G'zOneから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面→📞→[1][4][2][2]＋転送先電話番号を入力→📞

ホーム画面→▦→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [終話]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→📞→[1][4][2][1][2]→📞と操作して設定できます。
◎着信転送サービスの応答時間は変更できません。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
◎国際ローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、本製品の電源が入っていないときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面→📞→[1][4][2][3]＋転送先電話番号を入力→📞

ホーム画面→▦→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [終話]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→📞→[1][4][2][1][3]→📞と操作して設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス（▶P.201）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎国際ローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面→📞→[1][4][2][4]＋転送先電話番号を入力→📞

ホーム画面→▦→[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [終話]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→📞→[1][4][2][1][4]→📞と操作して設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のG'zOneは呼び出されません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 ホーム画面→ →[1][4][2][5]+転送先電話番号を入力→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[選択転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→ →[1][4][2][1][5]→ と操作して設定できます。
◎ 着信中に →[着信転送]と操作すると、転送先電話番号に転送します。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例:アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面→ →転送の種類によって、それぞれの番号を入力→

[1][4][2][2]:無応答転送　[1][4][2][4]:フル転送
[1][4][2][3]:話中転送　[1][4][2][5]:選択転送

2 →転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセス番号から入力します。

国際アクセス番号	→	国番号(アメリカ)	→	市外局番	→	転送先電話番号
001010または010		1		212		123XXXX

3 [閉じる]→

memo

◎ au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する(転送停止)

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面→ →[1][4][2][0]→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のG'zOne以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始(無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送)、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 **ご利用のG'zOneの電話番号を入力**

3 **暗証番号(4桁)を入力**

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.25)をご参照ください。

4 **ガイダンスに従って操作**

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Micro IC Card(LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 **ホーム画面→📞→[1][4][5][1]→📞**

2 [終話]

memo

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.203)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.210)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 **ホーム画面→📞→[1][4][5][0]→📞**

2 [終話]

memo

◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。
◎ 割込通話サービスを「停止」に設定しても、パケット通信中に着信を受けられます。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 をタップ

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
をタップするたびにAさん·Bさんとの通話を切り替えることができます。
をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面→ →[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のG'zOneのディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号（お客様の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」（ID Unsent）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Pay Phone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。

表示	説明
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス（▶P.203）、着信転送サービス（▶P.198）、割込通話サービス（▶P.201）、三者通話サービス（▶P.209）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.210）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **ホーム画面→ →[1][4][8][1]→**

2

memo

◎電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **ホーム画面→ →[1][4][8][0]→**

2

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■お留守番サービスEXをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービスは同時に開始できません。

- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.206)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ご利用料金について

月額使用料	315円(税込)
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

■お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

1 ホーム画面→📞→[1][4][1]→📞

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合(留守番開始1)

1 ホーム画面→📞→[1][4][1][1]→📞

ホーム画面→▦→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [終話]

■通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合(留守番開始2)

1 ホーム画面→📞→[1][4][1][3]→📞

ホーム画面→▦→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [終話]

■お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)

• 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)
• 着信中に転送操作をした場合(選択転送)

memo

◎お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。
◎お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.198)を同時に開始することはできません。お留守番サービスの設定中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
◎国際ローミング中は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面→📞→[1][4][1][0]→📞

ホーム画面→▦→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2 ☎

memo

◎お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。
◎お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音/確認/変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、応答メッセージで応答します。

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作 2 に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作 3 へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」: 録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す
「¥」: 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面→📞→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→📞

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。
伝言お知らせは、SMSに保存されます。
お知らせする内容は、お預かりした時間と相手の方の電話番号となります。

memo

◎同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。
◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は20件です。
◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面→📞→[1][4][1][7]→📞

ホーム画面→▦→[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番伝言再生]→[はい]でも同様に操作できます。
ホーム画面→📞→「1」をロングタッチしても同様に操作できます。

2 ▦→ガイダンスに従ってキー操作

「1」：同じ伝言をもう一度聞く
「2」：伝言を保存
「4」：5秒間巻き戻して聞き直す
「5」：伝言を一時停止（20秒間）※
「6」：5秒間早送りして聞く
「9」：伝言を消去
「0」：伝言再生中の操作方法を聞く
「#」：次の伝言を聞く
「＊」：前の伝言を聞く
※「閉じる」以外をタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [閉じる]→☎

memo

◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.206）も同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面→📞→[1][4][1][4]→📞

ホーム画面→ ▦ →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[はい]でも同様に操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 ▦ →[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[閉じる]→ ☎

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

2 ▦ →[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[閉じる]→ ☎

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 ▦ →[3]→応答メッセージを確認→[閉じる]→ ☎

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

2 ▦ →[7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[閉じる]→ ☎

memo

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
(▶P.207「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

1 ホーム画面→📞→[1][6][1][0]→📞

2 ☎

memo

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

蓄積停止を解除する

1 ホーム画面→📞→[1][6][1][1]→📞

2 ガイダンスを確認→ [終話]

memo

◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のG'zOne以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のG'zOneの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.25)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面→📞→[1][4][1][9][1]→📞

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [終話]

memo

◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面→📞→[1][4][1][9][0]→📞

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [終話]

memo

◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう１人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中→ →Bさんの電話番号を入力

通話中に連絡先や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、 → と操作するとAさんとの通話に戻ります。

4

3人で通話できます。

をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。

をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう１人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話中は、SMSを送ることはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎お留守番サービス、着信転送サービス、割込通話サービス、三者通話サービス、番号通知リクエストサービスのそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 **ホーム画面→📞→[1][4][4][2]→📞**

2 [終話]

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎国際ローミング中や、次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎国際ローミング中は、受信拒否リストへの登録／削除ができません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 **ホーム画面→📞→[1][4][4][8]→📞**

2 [終話]

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
◎国際ローミング中はご利用になれません。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 **ホーム画面→📞→[1][4][4][9]→📞**

2 [終話]

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先･通話時間･通話料」が記載されます。

1 **ホーム画面→📞→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→📞**

memo

◎分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）などの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

グローバルパスポート

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のG'zOneをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。G'zOneは渡航先に合わせてGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークのいずれでもご利用になれます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワーク、UMTSネットワーク、CDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。
- 海外ではLTEネットワークはご利用になれません。

memo

◎GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略です。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAと適合はしていません。

◎UMTSとは、Universal Mobile Telecommunicationsの略です。ヨーロッパを中心とした第3世代移動通信システムの規格です。日本で使われているW-CDMAや、ヨーロッパで使われているTD-CDMAなどと適合しています。

◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声電話などをご利用いただくサービスです。

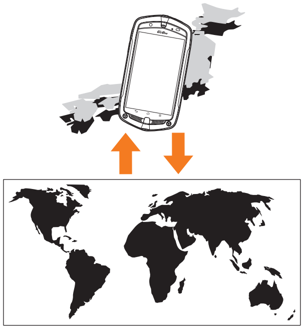
■ご利用イメージ

国内では、auのネットワークでご利用になれます。また、海外でも世界のGSM/UMTS/CDMAネットワークでいつもの番号で話せます。

memo

◎海外ダブル定額などを使用する場合で、特定のキャリアに接続したい場合は、「システム設定」(▶P.214)を「自動」以外に変更してください。

◎「システム設定」を変更した場合は、帰国後「自動」に戻してください。



海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSM、グローバルパスポートCDMAをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.214)、「システムを設定する」(▶P.214)に従い、各種設定を行ってください。

新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■ 本製品を盗難･紛失したら

- 海外で本製品を盗難･紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難･紛失された後に発生した通話料･パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Micro IC Card(LTE)を盗難･紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。(▶P.192「SIMカードロックを設定する」)

■ 海外での通話･通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国･地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国･地域によっては、📞 をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外でご利用できるサービス

本製品は､｢グローバルパスポートGSM｣､｢グローバルパスポートCDMA｣に対応していますので、特別な手続きなしで海外の対応エリアでそのままご利用になれます。ただし、一部の機能についてはご利用になれません。また、海外でのご利用は国内パケット通信料定額／割引サービスの対象外となるため、通信料が高額となる可能性があります。
海外で利用できる通信サービスは次の通りです。

通信サービス	説明
音声通話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、日本や滞在国外への国際電話発信が可能です。三者通話サービスおよび割込通話サービスはご利用になれません。
インターネット	海外でもインターネット接続が可能です。
Eメール(@ezweb.ne.jp)／PCメール／Gmail／au one メール／SMS	海外でもご利用になれます。
GPSの現在地確認※	海外でもGPS機能を利用して現在地確認ができます。

※あらかじめ日付･時刻を正しく設定しておいてください。

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は、日本国内とは異なります。詳しくは｢パケットサービス･メッセージサービスの通信料｣(▶P.219)をご参照ください。

memo

◎ SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。

海外利用に関する設定を行う

海外で本製品を利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。

PRL(ローミングエリア情報)を取得する

PRL(ローミングエリア情報)とは、KDDI(au)と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

1 **ホーム画面→ [アプリ] →[設定]→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[PRL設定]**

2 **[PRLバージョンを更新する]**

接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。
電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

memo

◎ PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
◎ エリアによっては更新できない場合があります。
◎ 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

現在地時刻を設定する

1 **ホーム画面→ [アプリ] →[設定]→[日付と時刻]→「日付と時刻の自動設定」にチェックを付ける**

「日付と時刻の自動設定」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本製品の時計の時刻や時差が補正されます。
「日付と時刻の自動設定」のチェックを外して「日付設定」「時刻設定」を手動で設定することができます(▶P.194)。

memo

◎ 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。
◎ 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
◎ サマータイムがある国は、現地時間と本製品の表示時間のずれがないかご確認ください。接続した海外通信事業者によっては利用できないことがあります。
◎ 日付と時刻の設定については、「日付と時刻を設定する」(▶P.194)をご参照ください。

システムを設定する

本製品を使用する通信ネットワークのシステムを設定します。

1 **ホーム画面→ [アプリ] →[設定]→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[システム設定]**

2

自動	利用できるネットワークを自動設定します。
CDMA(自動)	CDMAネットワークをご利用になる場合に設定します。 ・接続先のネットワークは自動で選択されます。
GSM/UMTS(マニュアル)	利用可能なGSM/UMTSネットワークを選択できます。 ・「自動選択」を選択すると、接続先のGSM/UMTSネットワークは自動で選択されます。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→「無線とネットワーク」の「その他...」をタップ→[モバイルネットワーク]→[データローミング]

「OK」をタップすると、データローミングが有効になります。

memo

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面→ [電話アイコン]

電話番号入力画面が表示されます。

2 +(「0」をロングタッチ)→国番号・地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力→ [電話アイコン]

例：渡航先からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

+(「0」をロングタッチ)	➡	国番号(アメリカ)	➡	市外局番※	➡	相手の電話番号
		1		212		123XXXX

※市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください(イタリア、モスクワの固定電話など一部例外もあります)。

memo

◎ 電話をかける相手が日本の携帯事業者を利用している場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

■国際ダイヤルアシスト設定をする

あらかじめ「国際ダイヤルアシスト設定」の「国番号設定」で付加する国番号を選択して、「自動変換機能設定」を有効にすると、渡航先から電話をかけるときに自動的に「+」と国番号を付加できます。
例えば、「国番号設定」で「日本(+81)」を選択しておけば、渡航先から簡単に日本に国際電話をかけることができます。

1 ホーム画面→ [アプリ] →[設定]→[通話設定]→[国際ダイヤルアシスト設定]

2

自動変換機能設定	海外での発信時に国際電話番号に変換するかどうかを設定します。
国番号設定	国番号の一覧から、自動変換機能で付加する国番号を選択します。 • 国番号をロングタッチすると、国番号を編集したり、削除できます。 • 国番号の一覧を表示中に [≡] をタップすると、国番号を追加したり、国番号の一覧を初期設定に戻すことができます。

■自動変換機能を利用して電話をかける

1 ホーム画面→ [電話]

電話番号入力画面が表示されます。

2 地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力→ [電話]

3 [変換後の番号で発信]

「国番号設定」で設定した国番号が付加されて電話がかかります。

memo

◎ 自動変換機能は、市外局番が「0」で始まる場合のみ有効になります。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面→ [電話]

電話番号入力画面が表示されます。

■ CDMAネットワークをご利用の場合

2 電話番号を入力→ [電話]

CDMAネットワークをご利用の場合は、渡航先によって操作が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」+市外局番+相手先電話番号
韓国、中国、香港、マカオ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、バミューダ諸島、バングラデシュ、バハマ、ベネズエラ	市外局番+相手先電話番号
メキシコ(市内通話)	相手先電話番号
メキシコ(市外通話)	「01」+市外局番+相手先電話番号

■ GSM/UMTSネットワークをご利用の場合

2 地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力→ [電話]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→📞

国際アクセス番号(アメリカ)	➡	日本の国番号	➡	au電話の電話番号(最初の0は省略する)
011		81		901234XXXX

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

＋(「0」をロングタッチ) ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

北米・中南米	アメリカ(本土)	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
	ブラジル	0021-800-00777113
アジア	韓国	002-800-00777113
	中国／マカオ／台湾	00-800-00777113
	香港／タイ	001-800-00777113
	インドネシア	001-803-81-0235
	ベトナム	120-81-003
	インド	000800-810-1134
ヨーロッパ	イギリス／イタリア／ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
オセアニア	ハワイ	1-877-532-6223
	サイパン	1-866-333-7129
	ニュージーランド	00-800-00777113

受付時間：24時間(通話料無料)

memo

◎ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
◎地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
◎携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金課金のケースがありますのでご了承ください。
◎記載の国は、主な例となります。最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■一般電話からのお問い合わせ方法2

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

渡航先の国際アクセス番号 ＋ 81 ＋ 3 ＋ 6670 ＋ 6944

受付時間：24時間（国際通話料がかかります）

日本国内からのお問い合わせ

au電話から　（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

地域	国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

◎各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎海外で着信した場合でも通話料がかかります。
◎発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
◎渡航先でコレクトコール･フリーダイヤルなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
◎アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国･地域内通話料金（120円／分（免税）または80円／分（免税））となります。
◎ニュージーランドで情報提供ダイヤルをご利用になると一律600円／分（免税）の料金がかかりますのでご注意ください。
◎韓国で情報提供ダイヤルをご利用になると一律500円／分（免税）の料金がかかりますのでご注意ください。
◎中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「日本以外への国際通話」料金（265円／分（免税））となります。
◎国･地域によっては、📞をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
◎2012年10月現在の情報です。
◎最新情報についてはauホームページをご参照ください。

パケットサービス･メッセージサービスの通信料

海外でご利用できるサービスについては「海外でご利用できるサービス」（▶P.213）をご参照ください。

■パケットサービス･メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■海外ダブル定額

対象となる海外事業者に接続した場合、1日あたり1,980円で約24.4MBまで、24.4MB以上でも1日あたり最大2,980円でご利用いただけます。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

◎海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます。
◎渡航先でのパケット通信料は、各種割引サービス･パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■国際アクセス番号

国･地域名	番号
アメリカ、カナダ、ハワイ、グアム、サイパン	011
中国、フィリピン、ベトナム、インド、マレーシア、マカオ、ニュージーランド、メキシコ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、オランダ	00
タイ、インドネシア、香港、シンガポール	001
韓国	00700（002）
台湾	005（002）
オーストラリア	0011
ブラジル	0021
ロシア	810

■国番号(カントリーコード)

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アイルランド(IRL)	353	デンマーク(DNK)	45
アメリカ合衆国(USA)	1	ドイツ(DEU)	49
アラブ首長国連邦(ARE)	971	日本(JPN)	81
イギリス(GBR)	44	ニュージーランド(NZL)	64
イスラエル(ISR)	972	ノルウェー(NOR)	47
イタリア(ITA)	39	バミューダ諸島(BMU)	1
インド(IND)	91	ハンガリー(HUN)	36
インドネシア(IDN)	62	バングラデシュ(BGD)	880
オーストリア(AUT)	43	フィリピン(PHL)	63
オランダ(NLD)	31	フィンランド(FIN)	358
カナダ(CAN)	1	ブラジル(BRA)	55
韓国(KOR)	82	フランス(FRA)	33
ギリシャ(GRC)	30	ベトナム(VNM)	84
ジャマイカ(JAM)	1	ベルギー(BEL)	32
シンガポール(SGP)	65	ポルトガル(PRT)	351
スイス(CHE)	41	香港(HKG)	852
スウェーデン(SWE)	46	マカオ(MAC)	853
スペイン(ESP)	34	マレーシア(MYS)	60
タイ(THA)	66	メキシコ(MEX)	52
台湾(TWN)	886	ルクセンブルグ(LUX)	352
中国(CHN)	86	ロシア(RUS)	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国(USA)「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上のご注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、📞をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関する注意

- 渡航先でのご利用料金は、国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■その他ご利用上の注意

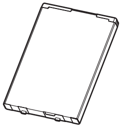
- 渡航先での通話料・パケット通信料は、各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かない所ではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の国内通話は発信規制となります。また国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、日本以外の国から着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オンすることでご利用可能となる場合があります。

付録・索引

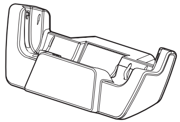
付録

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（CAL21UAA）

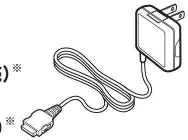


■ 卓上ホルダ（CAL21PUA）



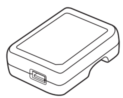
■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）※

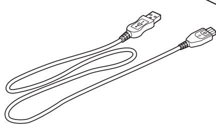
■ 共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）※
AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）※
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）※
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）※
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）※
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）※
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）※
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）※
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）※
AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）※
AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）※



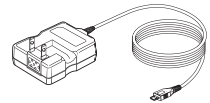
※充電する際は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）が必要です。

■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）



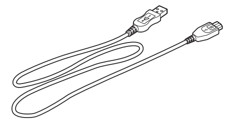


■ 共通ACアダプタ04（0401PWA）（別売）

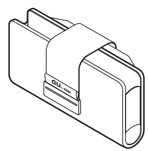


- お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
- 共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、上記（共通ACアダプタ01以外）の海外で使用可能なACアダプタを必ずご使用ください。

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）



■ auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）



■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）
■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）
■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）
■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）
■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com

市販品のステレオイヤホンを使用する

本製品のイヤホン端子に市販品のステレオイヤホンを接続すると、音楽や動作の再生音や、通話中の相手の声をステレオイヤホンで聞くことができます。

1 イヤホン端子キャップを開き、ステレオイヤホンのプラグをイヤホン端子に差し込む

イヤホン端子キャップの開閉については、「外部接続端子キャップ／イヤホン端子キャップを開閉する」（▶P.32）をご参照ください。

memo

◎マイク付きステレオイヤホンを接続した場合は、自動的に本体の送話口（マイク）が無効になり、マイク付きステレオイヤホンのマイクが有効になります。

方位センサーについて

方位センサーを利用するアプリケーションを使用するときに、微小な地球の地磁気を感知して方位を算出します。方位センサーを調整すると、より高い精度で方位を表示できます。5秒～10秒間、手首を返しながら本体を大きく8の字を描くように動かしてください。



memo

◎方位センサーの起動直後や急激な温度変化があった場合に正しい方位を表示できないことがあります。測定精度を保つため方位センサーの調整を行ってください。
◎バイブレータが振動したり、スピーカーから音が出ているときは正しい方位を表示できないことがあります。
◎磁気に影響を与える場所や物の近くでは正しい方位を表示できないことがあります。次のような場所や物からはできるだけ離れて方位センサーを使用してください。
- 建物、乗り物、金属製の施設（エレベーターなど）の中や近く
- 金属製の設備（ガードレール・歩道橋など）、高圧線、架線などの近く
- 金属（鉄製の机・ロッカーなど）、磁石（磁気ネックレスなど）、家庭用電化製品（テレビ・パソコン・スピーカーなど）の近く

◎方位センサーを使用する際は、本体を水平にしてください。本体が傾いていると、方位の計測誤差が大きくなります。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
⏻ を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.36
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.17
	⏻ を5秒以上長押ししていますか？	P.39
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.36
電源起動時のアニメーション表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.36
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.39
	au Micro IC Card（LTE）が挿入されていますか？	P.36
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.68
	電話番号入力後、📞 をタップしていますか？	P.68
	「システム設定」が間違っていませんか？	P.214
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.186
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.51
	サービスエリア外にいませんか？	P.51
	電源は入っていますか？	P.39
	au Micro IC Card（LTE）が挿入されていますか？	P.36
	「システム設定」が間違っていませんか？	P.214
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.185
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.186
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.198
（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.51
	内蔵アンテナ部付近を指などでおおっていませんか？	P.31
	「システム設定」が間違っていませんか？	P.214
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.52
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.173
ディスプレイ、LEDランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.187
	マナーモードに設定されていませんか？	P.187
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.37
	USBドライバがインストールされたパソコンで充電していますか？	P.38
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.34
	卓上ホルダや充電端子などが汚れていませんか？	P.17
タッチパネルで意図した通りに操作できない	手袋などをしたままで操作していませんか？	P.42
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？	P.42
	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.42
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.39
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.39
	「画面ロックセキュリティ」が設定されていませんか？	P.192
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.39
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか？	P.36
	「おサイフケータイ ロック設定」が設定されていませんか？	P.140
	本製品のFeliCaマークがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.140
SIMカードが挿入されていませんと表示される	au Micro IC Card（LTE）が挿入されていますか？	P.36

こんなときは	ご確認ください	参照
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.36
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ※LEDランプが消灯するまで、充電してください。	P.36
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.14
	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.51
	ecoモードを利用してください。	P.189
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.51
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	－
ディスプレイの照明がすぐに消える	スリープモードに入るまでの時間が短く設定されていませんか？	P.188 P.189
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.188
相手の方の声が聞こえない	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.68
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.31
画面が動かなくなり、どのキーをタップしても操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.39
連絡先の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、連絡先に登録された画像は表示されず、連絡先に設定された着信音も鳴りません。	－
	同じ電話番号が2件以上連絡先に登録されていませんか？	P.118
WEBページに画像が表示されない	WEBページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.116
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.104
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.163
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.169

こんなときは	ご確認ください	参照
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.36 P.122
	本体の温度が高くなっていませんか？	P.122
テレビ（ワンセグ）が映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.132
	TV用アンテナを伸ばしていますか？	P.132
	視聴している場所が視聴エリアの設定と合っていますか？	P.134

さらに詳しい内容については、お客さまセンターにお問い合わせください。

一般電話から フリーコール **0077-7-111**

au電話から　局番なしの**157**

■加速度センサーを使用するアプリケーションについて

加速度センサーを使用するアプリケーションは、バイブレータが振動しているときやスピーカーから音が出ているときは、正常に動作しない可能性があります。

加速度センサーで歩数をカウントするアプリケーションは、歩行／ランニングに伴う微小な振動を検出し、それを歩数と見立ててカウントしています。歩数を正常に検出できない場合や、歩行／ランニング以外の振動を検出すると、カウントの誤差が大きくなります。

memo

◎次のような不規則な歩行／ランニングをすると、歩数を正確にカウントできない場合があります。
- すり足のような歩き方(雪道など)
- サンダル、下駄、ぞうりなどの履物での歩行
- 混雑した街中を歩くときなどの歩行の乱れ
- より高速で走ったとき
- 極端にゆっくり歩いたとき

◎次のように上下運動や振動が多い場合は、歩数を正確にカウントできない場合があります。
- 歩行やランニング以外のスポーツ
- 乗り物に乗車中の上下運動または横ブレがあるとき
- 階段や急斜面での昇り降り
- 本製品を操作しているとき
- 立ったり、座ったりする動作
- スピーカーから音が出ているとき

◎次の場合は、歩数がカウントされません。
- バイブレータが振動しているとき

◎誤測定防止のため、歩き始めた直後の歩数はカウントされません。歩行が継続されると、それまでの歩数をまとめてカウントします。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化･消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

◎交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのG'zOne本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています（月額399円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。
◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Micro IC Card（LTE）について

au Micro IC Card（LTE）は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続き・操作方法について）

一般電話からは　フリーコール**0077-7-113**（通話料無料）
au電話からは　局番なしの**113**（通話料無料）

安心ケータイサポートセンター（紛失・盗難・故障について）

一般電話／au電話からは　フリーコール**0120-925-919**（通話料無料）
受付時間　9:00～21:00（年中無休）

■auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラス	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料（3年保証）	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,250円	
	水濡れ、全損、盗難、紛失		補償なし	補償なし （機種変更対応）

※金額はすべて税込

memo

交換用携帯電話機お届けサービス
◎au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色、新品電池含む）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
◎本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理
◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。
◎お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

項目		仕様
ディスプレイ		約4.0インチ、最大約1,677万色、IPS液晶
		480×800ドット(ワイドVGA)
質量		約181g(電池パック含む)
メモリ(内蔵(ROM))		約8GB ※データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。
連続通話時間	国内	約630分
	海外(GSM)	約610分
	海外(CDMA)	約660分:アメリカ本土/中国本土/ハワイ ※対象国は2012年9月時点
連続待受時間	国内(3Gエリア)	約460時間
	国内(LTEエリア)	約350時間
	海外(GSM)	約530時間
	海外(CDMA)	約390時間:アメリカ本土/中国本土 約490時間:ハワイ ※対象国は2012年9月時点
連続Wi-Fiテザリング時間	国内(3G)	約410分
	国内(LTE)	約230分
充電時間		約110分(共通ACアダプタ04(別売)と卓上ホルダ使用時) 約150分(共通ACアダプタ04(別売)使用時) 約260分(共通DCアダプタ03(別売)使用時)
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約69mm×134mm×14.7mm (最厚部15.9mm)
カメラ		撮影素子:CMOS 有効画素数:約808万画素(内側カメラは約136万画素) 静止画(最大撮影サイズ):8M(横3,264×縦2,448ドット) 動画(最大撮影サイズ):フルHD(横1,920×縦1,080ドット)

memo

◎連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種G'zOneの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.706W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。

KDDI推奨のauキャリングケースFブラック(0105FCA)(別売)をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

- ○ 総務省のホームページ:
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- ○ 一般社団法人電波産業会のホームページ:
  http://www.arib-emf.org/index02.html
- ○ auのホームページ:
  http://www.au.kddi.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human exposure to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

Specific Absorption Rate (SAR) for Wireless Phones

The highest SAR value for this device when tested at the ear is 1.19 W/kg, and when worn on the body, 0.86 W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID TYK-EYC4287.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) web-site at http://www.ctia.org.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.

The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg, and when tested at the ear, the highest SAR value for this device was 0.796 W/kg*.

As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: http://www.who.int/emf.

* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity for CDMA CAL21

The product "CAL21" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://k-tai.casio.jp/ (Japanese only).

CE0168

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Google および Google ロゴ、Android、Google Play および Google Play ロゴ、Gmail および Gmail ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google マップおよび Google マップ ロゴ、Google 検索および Google 検索 ロゴ、Google 音声検索および Google 音声検索 ロゴ、Google Latitude および Google Latitude ロゴ、Google+ ローカルおよび Google+ ローカル ロゴ、Google+ および Google+ ロゴ、Google トークおよび Google トーク ロゴ、Picasa、Chrome、Quickoffice は、Google Inc.の商標または登録商標です。

FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、次のWebサイトをご覧ください: www.gracenote.com
GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright © 2000 - present Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000 - present Gracenote.
この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe,Inc.から提供されました。
GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
www.gracenote.com/corporate

BluetoothとそのロゴマークはBluetooth SIG, INCの登録商標で、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

Wi-Fi®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Direct™はWi-Fi Allianceの商標です。

AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

らくらく無線スタートはＮＥＣアクセステクニカ株式会社の登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

Copyright © 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

「ついっぷる」はNECビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。

T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。

Copyright © 2010 FUJISOFT Inc. All rights reserved

DigiOnおよびDiXiMは、株式会社デジオンの商標です。

SRS WOW HD とSRS CS Headphone は、SRS Labs, Inc.の商標です。WOW HDとCS Headphone技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
SRS WOW HD™は、再生音質を著しく改善し、奥行き感のある豊かな重低音再生、高域の音の抜けの良さと共に迫力ある立体的な3Dエンタテインメント体験を実現します。
SRS CS Headphone™は、DVD映画などマルチチャンネルコンテンツを標準ヘッドフォンまたはイヤフォンで楽しむ際に、5.1サラウンドサウンド体験を実現します。

G-SHOCKはカシオ計算機株式会社の登録商標です。

「G'zOne」はカシオ計算機株式会社の登録商標です。

「PictMagic／ピクトマジック」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

著作権を含む知的財産権を保護するため、コンテンツ権利者はMicrosoft PlayReady™を採用しています。PlayReadyで保護されたコンテンツまたはWMDRM(Windows Media Digital RightsManagement)で保護されたコンテンツにアクセスするため、本製品はPlayReadyを使用します。
コンテンツ使用に対する適切なアクセス制限を本製品が施していない場合、PlayReadyで保護されたコンテンツを使用する機能を無効にするようコンテンツ権利者はMicrosoftに対し要求することができます。この無効化によって何も保護されていないコンテンツまたはPlayReady/WMDRM以外の保護技術で保護されたコンテンツが影響を受けることはありません。PlayReadyをアップグレードするよう、コンテンツ権利者はお客様に要求することができます。PlayReadyのアップグレードをお客様が拒否した場合、そのアップグレードを必要とするコンテンツにお客様はアクセスできません。

MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseについて
本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio LicenseおよびAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
- MPEG-4 Visual規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)およびAVC規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合
- MPEG-4 VideoおよびAVC Videoを提供することについてMPEG-LAよりライセンスを受けた者から提供されるMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合

上記以外の使用についてのライセンスは付与されていません。プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。(http://www.mpegla.com参照)

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

Windowsの表記について
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

GPL/LGPL適用ソフトウェアについて
本製品には、GNU General Public License(GPL)またはGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
GPLおよびLGPLの詳細は、ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法
ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。
http://k-tai.casio.jp/support/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ''AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ''AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenoteソフトウェアや Gracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアと Gracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来 Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意の Gracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

© Gracenote, Inc. 2000-present

『au Wi-Fi SPOT』利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ･アンド･ワイヤレス（以下「当社」といいます。）は、この利用規約（以下「本規約」といいます。）に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI･沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者（以下「KDDI等」といいます。）の通信サービスの契約者（以下の（3）項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。）に対して、『au Wi-Fi SPOT 』（以下「本サービス」といいます）を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

（1）当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線ＬＡＮサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。
また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの（以下「お客さま」といいます。）はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

（2）当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

（3）本サービスの提供対象者は、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。

（4）本サービスの提供は（3）項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

（5）本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。
お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。

（6）国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
①お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。

②お客さま、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。

③当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。

④お客さま、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等 (知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。

⑤お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。

(7) 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。

1)利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。

2)通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。

3)国際ローミングサービスの通信料金は、KDDI等から請求します。

(8) 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。

(9) お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。

(10) 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。

(11) 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
・サービスの紹介、提案、および申込受付のため
・サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
・サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
・サービスの提供に関する妥当性の判断のため
・他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
・お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
・市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
・ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
・サービスの終了後の管理のため
・その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため

(12) 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本規約は、2011年6月30日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年3月1日から実施します。

附則 本改訂規約は、2012年7月20日から実施します。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

■ ご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて
    1. おサイフケータイ®対応サービスとは、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを利用したサービスです。
    2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
    3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。
2. FeliCaチップ内のデータの取扱い等について
    1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップへのデータの書き込み及び書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
    2. FeliCaチップ内のデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
    3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
    4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
    5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内のデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
    6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内のデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップへの移し替え等を行うことはできません。"
3. FeliCaチップの固有の番号等の通知について
    1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップを特定するために、当該FeliCaチップ固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
    2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ固有の番号と、FeliCaチップ内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
    3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客様の電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内のデータについて当該SPに問い合わせる場合があります。
4. 不正利用について
    1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
    2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。但し、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
    3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。
    4. 機種変更や廃棄等によりおサイフケータイ®のご利用を中止される場合には、不正に利用されることを防ぐため、必ずFeliCaチップ内のデータを全て

削除してください。なお、かかるデータの削除の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

5. **その他**

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCa チップ内のデータの削除ができなくなることがあります。
   なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内のデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店により当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。

索引

数字／アルファベット

た

な

は

ま

や

ら

わ

文字入力の詳細情報

記号一覧

一般	#(半角)	&	@(半角)	：	?(半角)	～	/(半角)	；	…	©	°	¶	☆	●	◑	◆	△
	＃	*(半角)	＠	!(半角)	？	_(半角)	／	・	―	®	†	§	★	◎	○	□	▲
	&(半角)	＊	:(半角)	！	~(半角)	＿	;(半角)	‥	¦	ª	‡	※	◯	◐	◇	■	▽
	▼	◁	♠	♡	♣	♨	◿	〓	♬								
	▷	◀	♢	♥	〒	☞	°	♩	♯								
	▶	♤	◆	♧	☎	√	・	♪	♭								
矢印	→	↓	↖	⇨	⇩												
	←	↗	↙	⇦													
	↑	↘	⇆	⇧													
括弧	‘	”	[(半角)	］	}(半角)	〉	«	」	【	〗							
	’	〔	［	{(半角)	｝	《	»	『	】								
	“	〕	](半角)	｛	〈	》	「	』	〖								
罫線	─	┐	├	┴	┃	┛	┳	╋	┨	┝	┸						
	│	┘	┬	┼	┏	┗	┫	┠	┷	┰	╂						
	┌	└	┤	━	┓	┣	┻	┯	┿	┥							
学術	+(半角)	－	±	≠	≈	＜	≦	≫	⊂	⊅	∈	∪	⊗	⇒	∠	¬(半角)	∽
	＋	×	=(半角)	≒	≡	>(半角)	≧	∧	⊃	⊆	∋	∩	∅	⇔	⊥	¬	∝
	-(半角)	÷	＝	≅	<(半角)	＞	≪	∨	⊄	⊇	∉	⊕	‖	↔	∟	⌒	∞
	♂	∬	∴	∀	∇												
	♀	∮	∵	∃	ℵ												
	∫	∑	√	∂													
単位	°	℃	$(半角)	¢	€	％	ℓ	㌢	㌧	㍑	㌦	㍊	㎝	㎏	㎠	㎣	㎦
	′	¥(半角)	＄	£(半角)	¤	‰	㍉	㍍	㌃	㍗	㌣	㌻	㎞	㏄	㎡	㎤	
	″	￥	¢(半角)	￡	%(半角)	Å	㌔	㌘	㌶	㌍	㌫	㎜	㎎	㎟	㎢	㎥	

文字	A	D	G	J	M	P	S	V	Y	b	e	h	n	q	t	w	z	Γ	
	B	E	H	K	N	Q	T	W	Z	c	f	i	o	r	u	x	Α	Δ	
	C	F	I	L	O	R	U	X	a	d	g	j	p	s	v	y	Β	Ε	
	Ζ	Ι	Μ	Ο	Σ	Φ	Ω	γ	ζ	ι	μ	ο	σ	φ	ω	В	Е	З	
	Η	Κ	Ν	Π	Τ	Χ	α	δ	η	κ	ν	π	τ	χ	А	Г	Ё	И	
	Θ	Λ	Ξ	Ρ	Υ	Ψ	β	ε	θ	λ	ξ	ρ	υ	ψ	Б	Д	Ж	Й	
	К	Н	Р	У	Ц	Щ	Ь	Я	в	е	з	к	н	р	у	ц	щ	ь	я
	Л	О	С	Ф	Ч	Ъ	Э	а	г	ё	и	л	о	с	ф	ч	ъ	э	
	М	П	Т	Х	Ш	Ы	Ю	б	д	ж	й	м	п	т	х	ш	ы	ю	
他	№	™	㈹	㍼	⅓	¾	③	⑥	⑨	⑫	⑮	⑱							
	K.K.	㈱	㍾	㍻	⅔	①	④	⑦	⑩	⑬	⑯	⑲							
	TEL	㈲	㍽	½	¼	②	⑤	⑧	⑪	⑭	⑰	⑳							

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

顔文字一覧

笑	(^-^)	(^o^)	(^^)/	(^O^)	(*^^*)	(^-^*)	(^—^)	(*^o^*)	(^_^)V	o(^o^)o	ヽ(^o^)丿	(^｡^)	(*^^)v	(o^^o)
	(^_^)	(*^_^*)	(^_-)	(~o~)	(*⌒▽⌒*)	(^.^)	o(^-^)o	(^^)v	(^_^)ゞ	ヾ(＾v＾)k	ヽ(^｡^)ノ	(●＾o＾●)	>^_^<	(´艸｀)
	(^^)	(^_^)/	(^_^)v	!(^^)!	(*^▽^*)	(^O^)v	(#^_^#)	(*^｡^*)	(^◯^)	ヽ(^0^)ﾉ	(^_^)ﾉ	(^・^)	(^_^)b	(^^)/
	(^o^)ﾉ	(^0^)	ヾ(^^)	(*^—^)	(*^—ﾟ)	ヾ(≧▽≦)	(oﾟ▽ﾟ)o	＼(^_^)	(o^-^)	(*´∀｀)	(^^)	(^-^)	(●´∀｀●)	
	(*^-^*)	(^^*)	(≧▽≦)	(ﾉ^^)ﾉ	(*´▽｀*)	＼(^^)	(^—^*)	(@^▽^@)	(￣▽￣)	(^^)	o(^▽^)o	(^_^)	o(^-^)	
	(*^O^*)	(´－｀)	(*'▽'*)	(≧∀≦)	(*ﾟ▽ﾟ)ﾉ	(○´∀｀○)	(・∀・)	(*^^)	(≧∇≦*)	(´▽｀)	(〃'▽'〃)	(^o^)	(●´ω｀●)	
汗	(^｡^;)	(@_@)	(^-^;	(*_*;	(ﾟoﾟ;	(>_<)ヽ	(>_<)ゞ	(;_・)	(v_v)	(^o^;	(^^ゞ	σ(^◇^;)	(ﾟ〇ﾟ;)	(ﾟ◇ﾟ)
	(^_^;)	(+_;)	(/_;)	(^-^;)	(;O;)	(^.^;	(^0^;)	(^_^;	;^_^)	(^◇^;)	(・_・;)	(◎-◎;)	^^;	(・・;)
	(^^;)	(*_*)	(>_<)	σ(^_^;	(+_+)	(;_;)	(・_・;)	(~｡~;)?	(?_?;	(・_;)	(..;)	(><@)	^_^;	(・ ・;)
	(ﾟДﾟ)	(ﾟДﾟ;)	(°°)	(≧◇≦)	(ﾟДﾟ)	(*ﾟ口ﾟ)								
	(ﾟoﾟ;)	(ﾟ∀ﾟ)	(ﾟ口ﾟ)	(；´Д｀)	(ﾟ∀ﾟゞ)	(o・д・)								
	(ﾟωﾟ)	(°°;)	(￣｡￣;)	(´Д｀)	(*ﾟдﾟ*)									
泣	(T_T)	(;_;)	(;_;)/~~~	(:_;)	>_<	(ToT)/~~~	(+_+)	(×_×)	(ToT)	(｡・・)	(≧Д≦)	_｜￣｜○		
	(>_<)	(/_;)	(>.<)	(+o+)	(; ;)	(T.T)	(・_;)	(T-T)	(´・ω・`)	(>_<)	(｡・ω・｡)	(ﾉД`)		
	(>o<)	(*_*)	(x_x)	(>｡<)	(;.;)	(T^T)	(・_・、)	(´д｀)	(>_<)	(｡・・｡)	orz	｡ﾟ(ﾟ´Д｀ﾟ)ﾟ｡		

怒									
(-_-#)	(-.-;)	(-.-)	(￣0￣)	-_-#	(｀´)	(--)	(--;)	(-_-)	(￣△￣)
(-_-)	(-.-#)	(-_-;)	(￣^￣)	(-｡-;)	(｀ε´)	(｀Д´)	(ﾟДﾟ)	ヽ(ﾟДﾟ)ﾉ	(-｡-)
(--;)	(-_-#) ﾋﾟｸｯ	(--#)	(-o-;)	(｀_´)	｀_´	(-o-)	(-.-)	(*｀Д´*)	(-_-)o

他													
(-_-)zzz	m(_ _)m	_(_^_)_	(@_@)	(_ _)/ﾊﾝｾｲ	(☆｡☆)	■D＼(^^	(-.-)y-ﾟﾟ	(-.-)y-ﾟﾟﾟ	(__)	φ(..)ﾒﾓﾒﾓ	(^.^)/~~~	(;￢_￢)	<m(__)m>
(^x^)	<(_ _)>	(^^)/~~~	(^-^)_旦~	(-.-)y-~~	(p_-)	▽・w・▽	(-_-)ｼﾞｯ	(^_-)-☆	(+｡+)ｱﾁｬｰ｡	o(^-^)oﾜｸﾜｸ	(^3^)-☆	(^3^)-☆Chu!!	m(__)m
(ﾟ◇ﾟ)ｶﾞｰﾝ	_(._.)_	(^_^)/~	(._.)φ	(>_<)	(^∧^)	σ(^_^)	(=^..^=)ﾐｬｰ	φ(..)	(-｡-)y-ﾟﾟﾟ	(^｡^)y-ﾟﾟﾟ	(^^)＼(ﾟﾟ)	(^_^)ﾉ	(^o^)/~~~

(^.^/)))~~~bye!!	(__ __)	(o_ _)o	(*´Д｀*)	(・∀・)	_|￣|○
(_ _)	(*・ω・)ﾉ	(・ω・)	(・д・)	(ﾟДﾟ)	(￣○￣)
☆彡	(-.-)	(・_・)	(｀・ω・´)	orz	(´д｀)

横								
:-)	:)	:-<	:-#	:-O	:-V	;^)	[:-)	8-O
:-/	:-]	:-<>	:-*	:-P	:-X	(:-)	{:-)	｡-)
:-(	:-{}	:->	:-@	:-Q	:^D	):-(	8->	•-)

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

■絵文字一覧

入力できる絵文字一覧（表示順）

顔・表情



気持ち・からだ



生き物・星座



食べ物・飲み物



自然・季節



ファッション・遊び



乗物・建物・地図



道具



記号



●異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

●他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。

パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html

※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

お客様各位

このたびは、G' zOne TYPE-Lをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。2013年2月のケータイアップデートに伴い、取扱説明書詳細版の内容を変更させていただきます。

●電話が改善されました。

・ 伝言メモのON／OFFを電話番号入力画面で切り替えられるように改善されました。

・ 通話履歴の表示を全履歴表示／発信履歴表示／着信履歴表示から選べるように改善されました。

・ 画面切替タブのデザインが改善されました。

該当箇所

「アイコンの見かた」P.50～P.52

「電話をかける」P.68～P.70

●ユーザーの画面切替タブのデザインが改善されました。

該当箇所

「メニューを表示する」P.53～P.54

「連絡先の登録内容を利用する」P.119～P.120

●設定メニューの文言が改善されました。

設定メニューの「音/バイブレーション」の項目「マナーモード中のメディア音量」が「マナー中のメディア音」へ変更されました。

該当箇所

「音･バイブレーションを設定する」P.187

「索引」P.242

以上

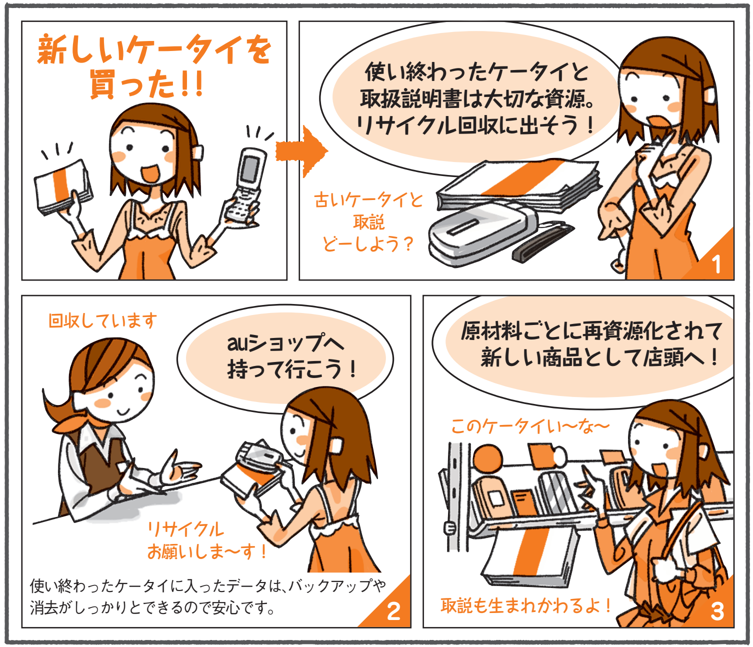
ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について（通話料無料）

一般電話からは
0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）

0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話 ／ au電話から

0120-925-919 受付時間 9:00～21:00（年中無休）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話•PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2013年2月第1.3版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：カシオ計算機株式会社